第五次太宰府市総合計画策定のための
市民意識調査

報　告　書

平成21年3月

太　宰　府　市

目　次

第１章　調査の概要 ･････････････ 1

第１節　調査の目的･･････････････････････ 1

第２節　市民意識調査の概要･･････････････ 1

第３節　調査項目････････････････････････ 2

第４節　調査結果利用上の注意････････････ 3

第２章　調査結果の概略 ･･････････ 4

1．属性･････4
2．住みやすさについて･････5
3．各種施策に対する考え方･････6
4．生活環境について･････7
5．市・地区の将来について･････8
6．地域活動や行政活動への参加について･･･9
7．行政について･････10

第３章　詳細調査結果 ･････････ 11

第１節　回答者の属性･･････････････････ 11

1．性別（問1）･････11
2．年齢（問2）･････12
3．世帯構成（問3）･････13
4．職業（問4）･････14
5．通勤・通学先（問4付問）･････15
6．行政区（問5）･････16
7．小学校区（問6）･････17
8．居住年数（問7）･････18
9．住まいの形態（問8）･････19

第２節　住みやすさについて･･････････････ 20

1．太宰府市の住みやすさ（問9）･････20
2．継続居住意向（問10）･････21
3．住み続けたい理由（問10付問1）･････22
4．住み続けたくない理由（問10付問2）･････24

第３節　総合計画に掲げた施策の
　　　　優先度（問11）･････････････････ 25

第４節　生活環境について（問12）･････ 28

1．全体的な傾向･････28
2．校区別に見た傾向･････30

第５節　市・地区の将来について････････ 37

1．太宰府市のイメージ（問13）･････37
2．太宰府市の将来像（問14）･････38
3．住んでいる地区の現在の土地利用状況
　と、将来望ましい土地利用（問15）･････39
4．生活環境改善・充実に必要なこと
　（問16）･････42

第６節　地域活動や行政活動への参加に
　　　　ついて･････････････････････････ 45

1．地域活動や行政活動の参加状況
　（問17）･････45
2．市役所と話し合ったり、考えたりする
　機会があれば参加するか（問18）･････47
3．参加したくない理由（問18付問1）･････48

第７節　行政について･･････････････････ 49

1．太宰府市の市政への関心度（問19）･････49
2．市役所の仕事内容を知る方法（問20）･････50
3．最も知りたい市役所の仕事内容や
　計画（問21）･････51
4．今の市政に市民の意見が反映されて
　いると思うか（問22）･････53
5．自由意見･････54

（資料）使用した調査票･･･････56

第１章　調査の概要

第1節　調査の目的

平成 20 年度から 22 年度にかけて第五次総合計画（計画期間：平成 23～32 年度）を策定するにあたって、市民を対象にした意識調査を行い、市民意識の把握と客観的な解析を行うことを目的とする。

第2節　市民意識調査の概要

市民意識調査の調査対象は、本市在住の 20 歳以上の男女を、住民基本台帳より無作為で 2,000 人抽出した。

なお、第四次総合計画策定の基礎調査として平成 10 年に行われた「市民意識調査」（以下、前回という）では、18 歳以上の男女 2,000 人を調査対象としており、これに「まちづくり百人委員会」委員も調査対象に加えた結果を使用している。そこで今回調査では、平成 19 年度に実施した「住みよか太宰府まちづくり市民意識調査」（以下、H19 年度調査という）との結果とも比較検討できるよう設問設計を行っている。

これらの市民意識調査の概要を整理すると、下表の通りとなっている。

表 1-2-1　市民意識調査の概要

	【今　回】 「第五次太宰府市総合計画策定のための市民意識調査」	【前　回】 「平成 10 年度 第四次太宰府市総合計画策定業務市民意識調査」	【H19 年度調査】 「平成 19 年度 住みよか太宰府まちづくり市民意識調査」
対　　　象	20 歳以上の市民 2,000 人	18 歳以上の市民 2,000 人 および「まちづくり委員会」 委員 93 人	20 歳以上の市民 1,000 人
配布方法	郵送 （H20.11.28 発送）	市民：郵送（H10.9.3 発送） 委員：郵送（H10.10.10 発送）	郵送
回収方法	郵送 （H20.12.19 締め切り）	市民：郵送（H10.9.22 締切） 委員：委員会時持参(H10.11)	郵送 （H20.4.7 締め切り）
（督促方法）	ハガキの送付（１回）	市民：ハガキの送付（２回） 委員：会議開催時に連絡	ハガキの送付（1 回）
有効回収数（率）	1,294（64.7%）	1,466[市民:1,405/委員:61] （70.0%）	536（53.6%）

第3節　調査項目

問１．性別
問２．年齢
問３．世帯構成
問４．職業
問４付問．通勤・通学先
問５．行政区
問６．小学校区
問７．太宰府市の居住年数
問８．住まいの形態

問９．太宰府市の住みやすさ
問10．太宰府市に住み続けたいか
問10付問１．「住み続けたい」理由
問10付問２．「住み続けたくない」理由

問11．各種施策に対する考え方（全15項目）

問12．生活環境について（全29項目）

問13．太宰府市のイメージ
問14．太宰府市が将来なってほしいまち
問15．地区の現在の土地利用状況
問15．望ましい地区の土地利用
問16．生活環境を改善し、充実させるために必要なこと

問17．地域活動や行政活動の参加状況（全12項目）
問18．市役所と話し合ったり、考えたりする機会があれば参加するか
問18付問１．参加したくない理由

問19．太宰府市の市政への関心度
問20．市役所の仕事内容を知る方法
問21．最も知りたい市役所の仕事内容や計画
問22．今の市政に市民の意見が反映されていると思うか

第4節　調査結果利用上の注意

（1）集計は原則として小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

（2）２つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。

（3）数表、図表、文中に示す「ｎ」は、比率算出上の基数（標本数）である。

（4）付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。

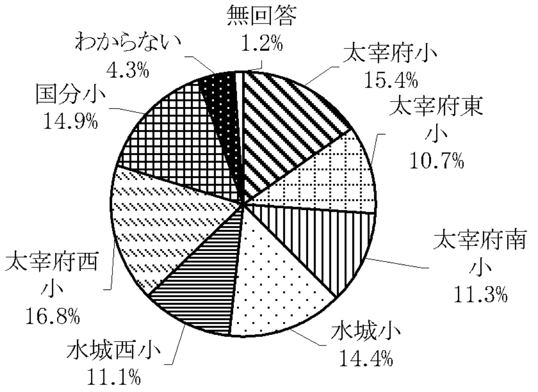
（5）平成10年に実施した前回調査と比較検討が可能な設問については前回結果も掲載しているが、実際に比較検討する際には、前回調査と今回調査では調査対象が若干異なっていることを留意する必要がある。また、一部の質問文や選択肢では、前回と若干文言が変更になっているものもある。

第２章　調査結果の概略

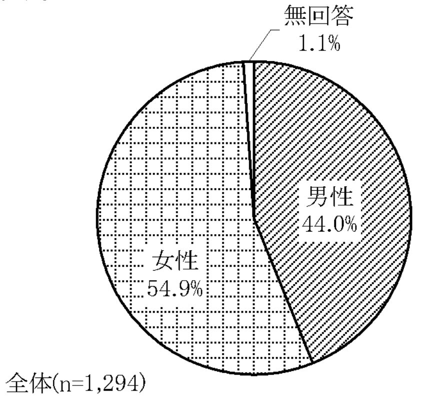
１．属性

- 回答者の属性を見ると、性別では男性よりも女性の方が、年代では 60 歳代が比較的大きな比率を占めている。なお校区別で見ると、水城小・国分小では 50 歳代が、太宰府小では 40 歳代の比率がそれぞれ最も高くなっている。
- 居住年数別では、「25 年以上」という回答者が約半数を占めている。
- 住まいの形態は 8 割以上が「持ち家・分譲マンション」である。

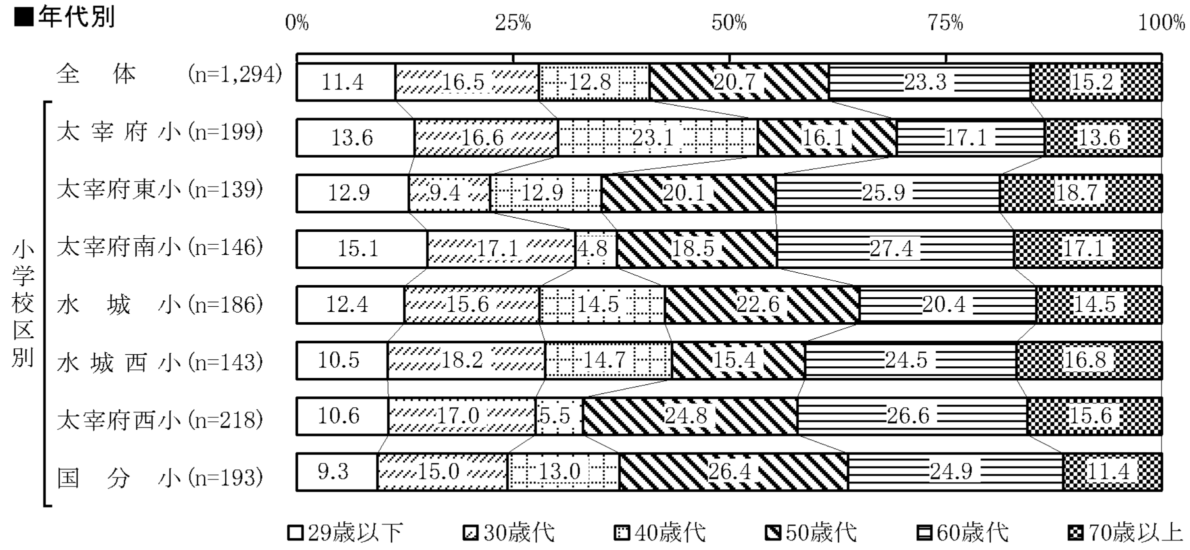
■居住校区別



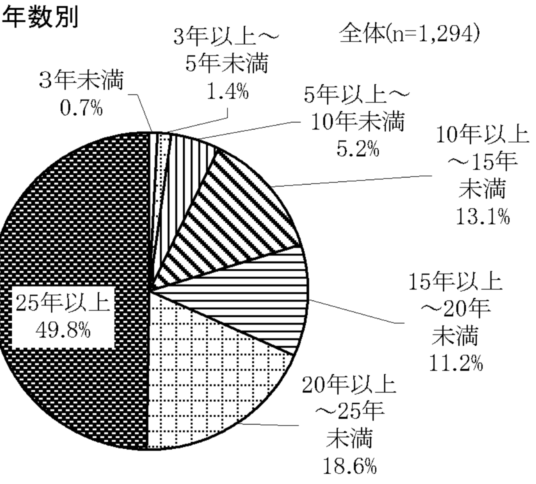
■性別



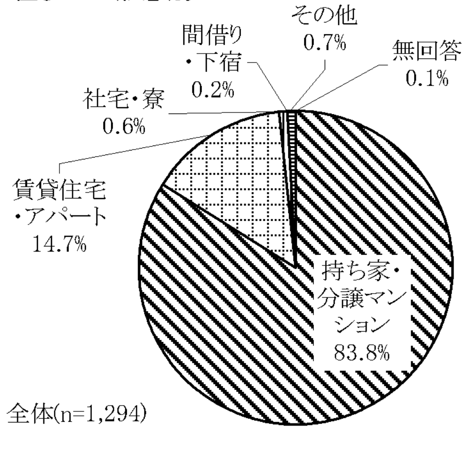
■年代別



■居住年数別



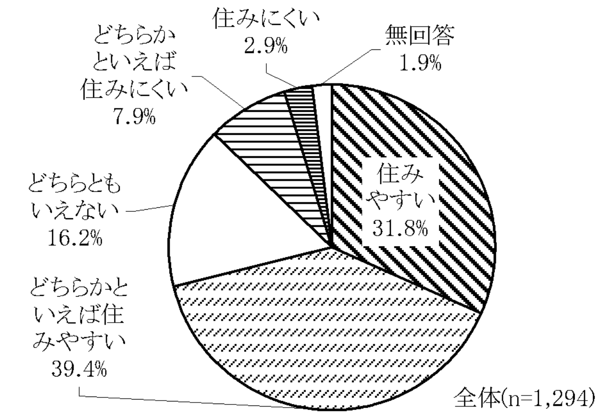
■住まいの形態別



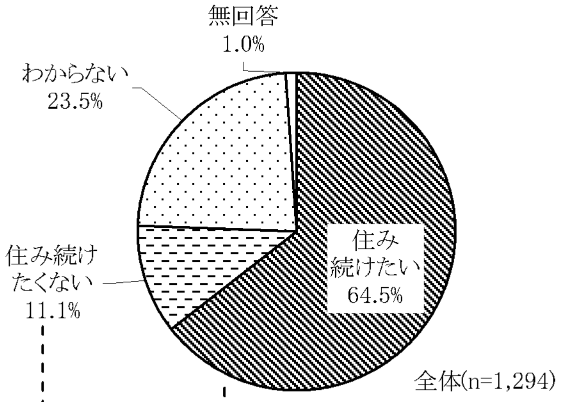
２．住みやすさについて

- 太宰府市の住みやすさは満足派（「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計）が 71.2%と 7 割を超え、平成 19 年度調査結果（62.7%）を上回っている。一方、不満派（「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」の合計）は 10.8%（平成 19 年調査では 18.3%）と全体の約 1 割にとどまっている。
- 今後の居住意向は「住み続けたい」が 64.5%（平成 19 年調査では 54.9%）が全体の約３分の２を占め、その理由としては「自宅周辺の環境がよい」という声が最も多い。一方、「住み続けたくない」は 11.1%（平成 19 年度調査では 17.2%）で、その理由としては「税金や公共料金が高い」という声が最も多い。

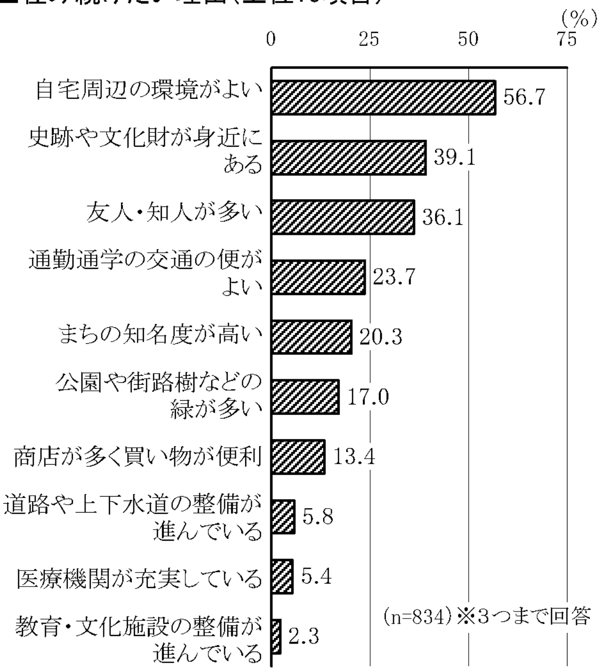
■太宰府市は住みやすいまちだと思うか



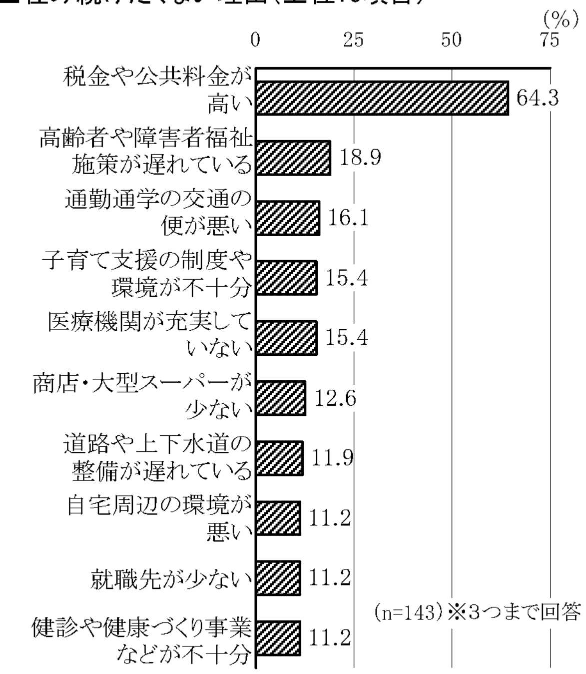
■これからも太宰府市に住み続けたいか



■住み続けたい理由（上位10項目）



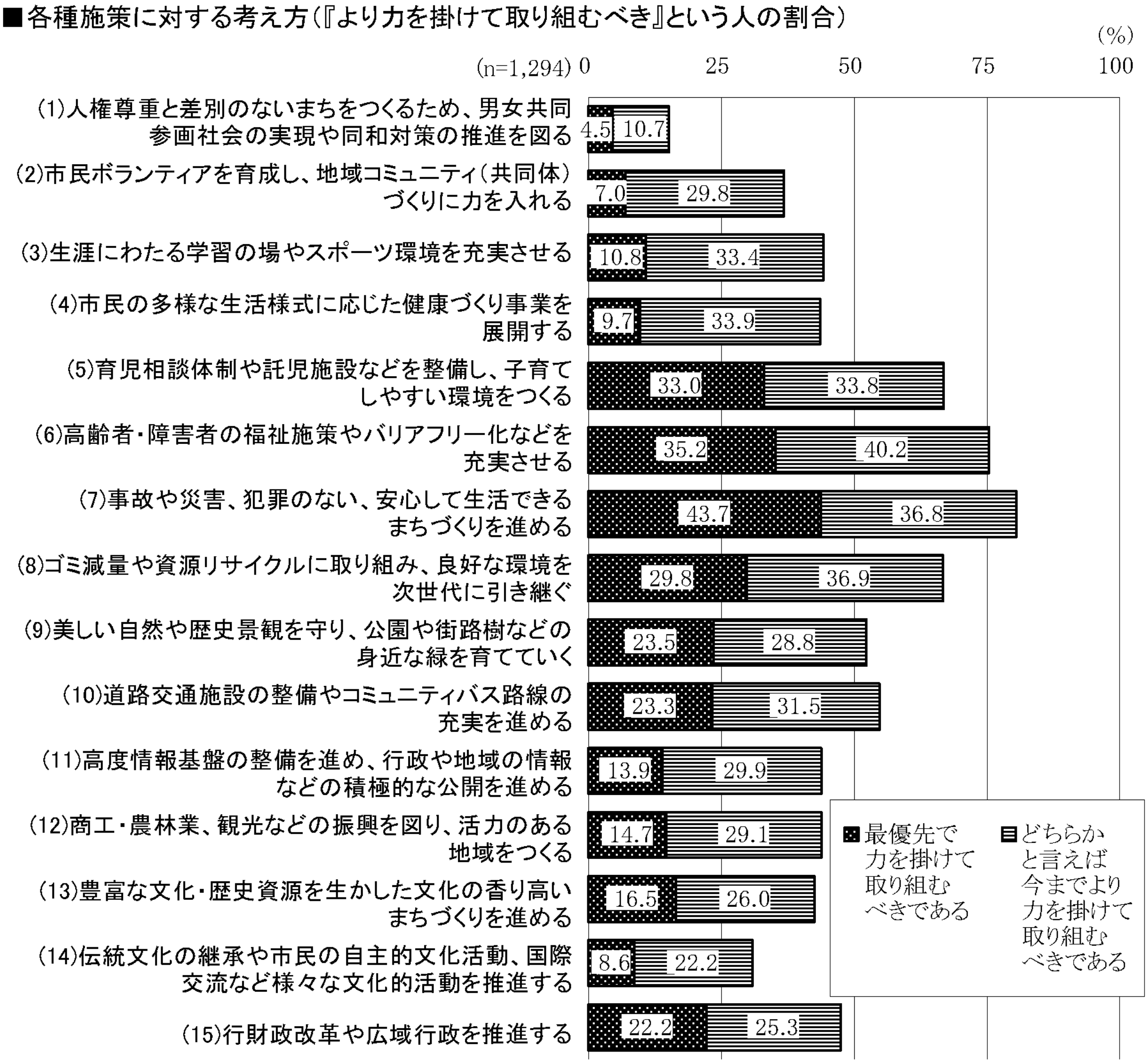
■住み続けたくない理由（上位10項目）



３．各種施策に対する考え方

- 第四次太宰府市総合計画後期計画の中に掲げた 15 の施策に対する考え方をそれぞれ聞いたところ、「最優先で力を掛けて取り組むべき」という割合が最も高かったのは「事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりをすすめる」の 43.7%で、「どちらかといえば」も含めると 80.5%の回答者がより力を入れて取り組むことを望んでいる。
- 「最優先で力を掛けて取り組むべき」という割合が２番目に高いのは「高齢者・障害者の福祉施設やバリアフリー化などを充実させる」で、３番目に高い「育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境を作る」は 30 歳代では最も割合が高い項目となっている。

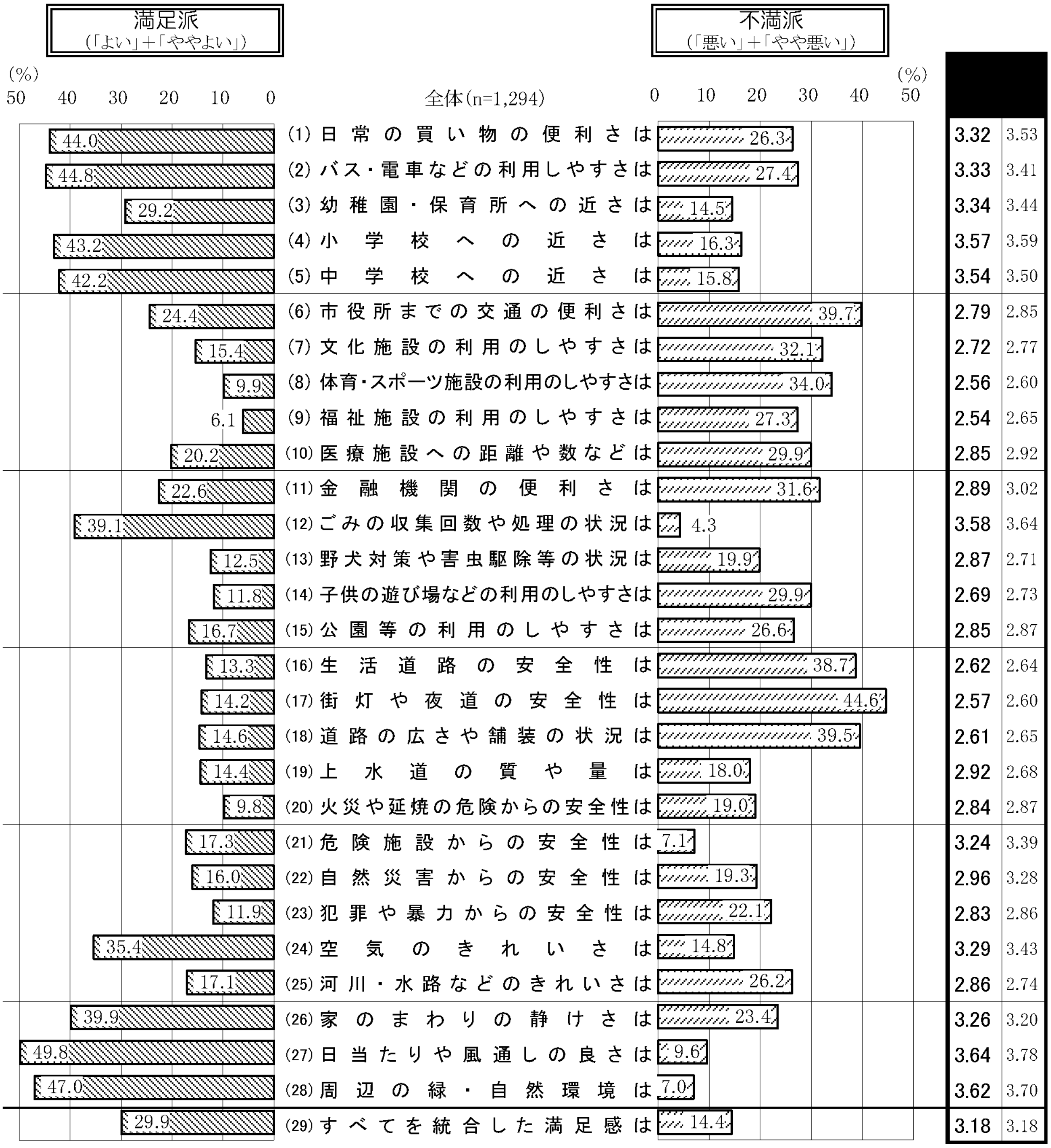
■各種施策に対する考え方（『より力を掛けて取り組むべき』という人の割合）



４．生活環境について

- 生活環境についてたずねたところ、満足派（「よい」、「ややよい」という評価の合計）の割合が最も高かったのは「日当たりや風通しの良さ」で、不満派（「悪い」、「やや悪い」という評価の合計）の割合が最も高かったのは「街灯や夜道の安全性」となっている。
- 28 項目すべてを統合した満足度については、満足派 29.9％に対し不満派はその約半分の14.4％となっている。また、「よい」から「悪い」まで５点～１点を割り当てて算出した満足度スコアは 3.18 で、平成 10 年に実施した前回調査結果（3.18）と同じ値を示している。
- なお、前回調査と比べて満足度スコア平均値が最も上昇したのは「上水道の質や量」（+0.24）で、逆に最も低下したのは「自然災害からの安全性」（-0.32）である。

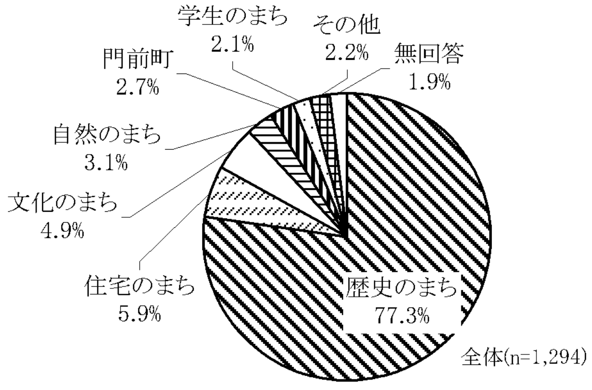
■生活環境について



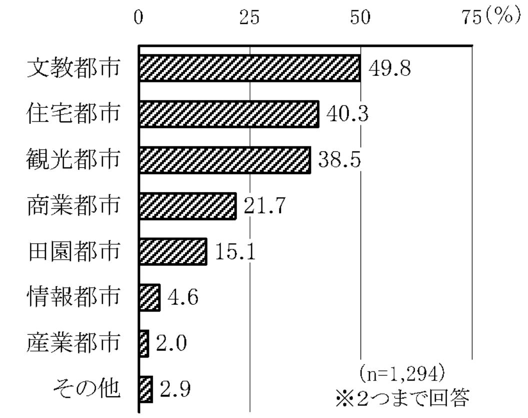
５．市・地区の将来について

- 太宰府のまちのイメージを一言でいうと、「歴史のまち」（77.3%）という声が圧倒的。
- 太宰府市が将来どんなまちになってほしいかという設問に対し、最も割合が高かったのは「文教都市」（49.8%）。これに「住宅都市」（40.3%）、「観光都市」（38.5%）が続いている。
- 現在住んでいる地区の土地利用状況としては「低層居住型」が 6 割を占めているが、将来望ましい土地利用では「低層居住型」は約 4 割で、「商業居住共存型」が 2 割を超えている。
- 居住地区の生活環境改善・充実のために必要な取り組みとしては、「防犯灯や街灯の数を増やす」（39.2%）を挙げる声が最も多い。

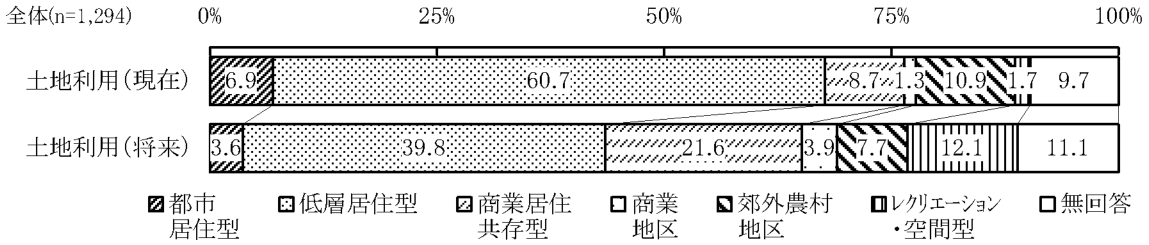
■太宰府市のイメージ



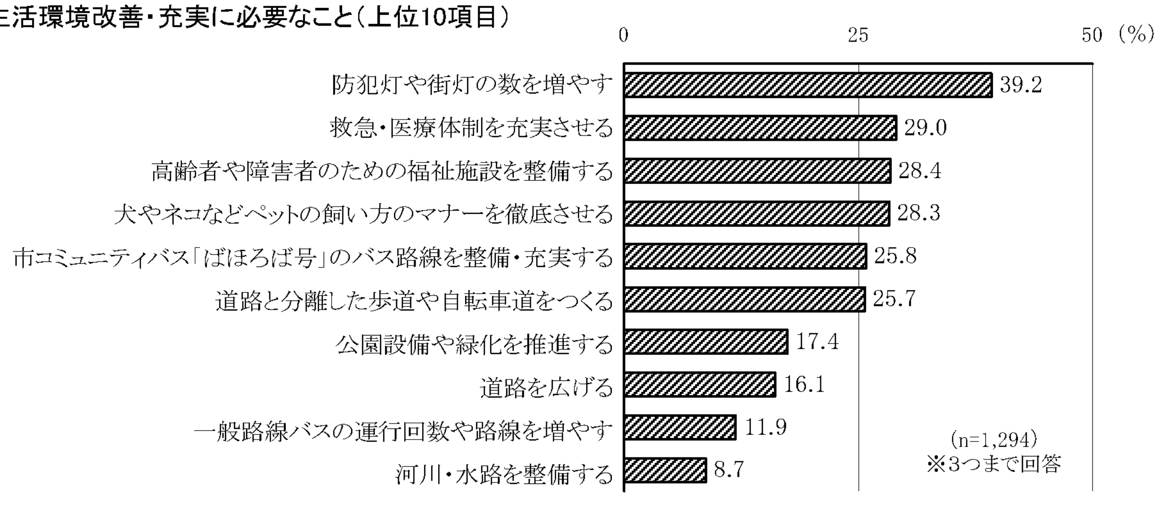
■太宰府市の将来像



■住んでいる地区の現在の土地利用状況／将来望ましい土地利用



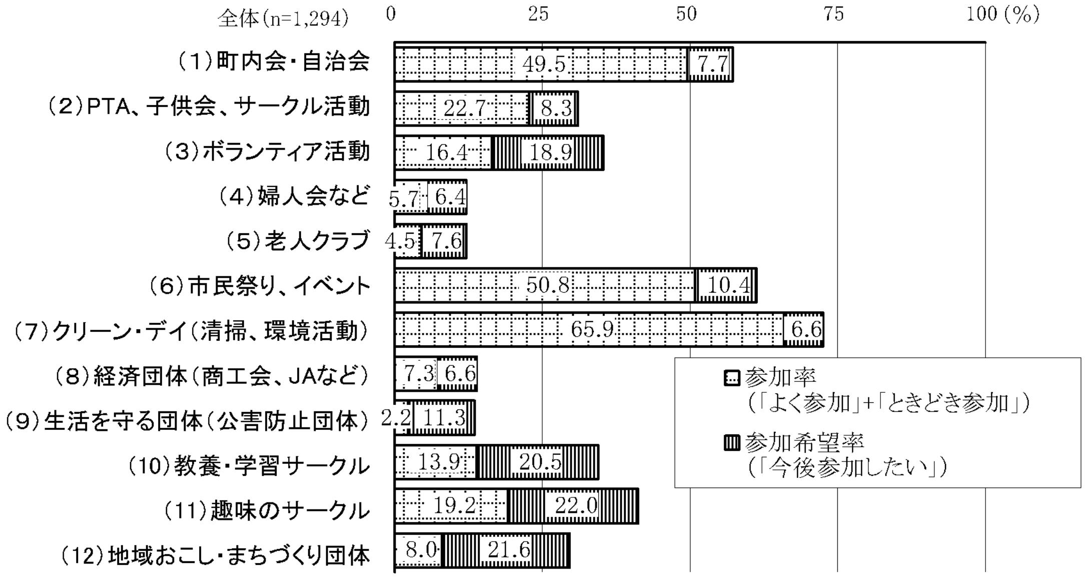
■生活環境改善・充実に必要なこと（上位10項目）



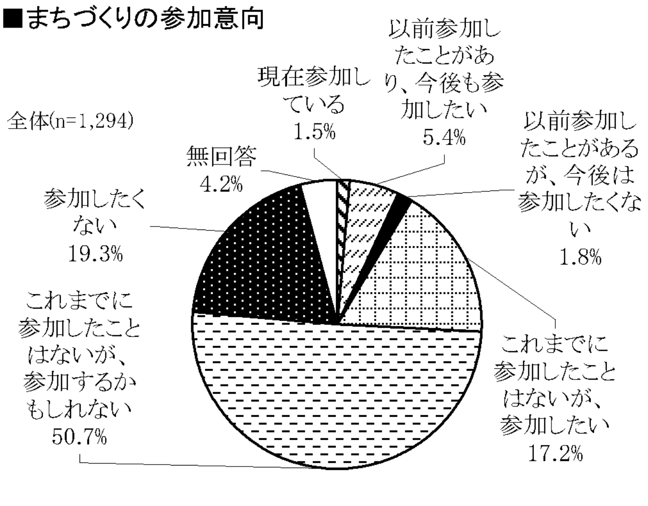
６．地域活動や行政活動への参加について

- 居住している地区で日常的に活動のある町内会などへの参加状況については、「クリーン・デイ（清掃、環境活動）」(65.9%)、「市民祭り、イベント」(50.8%)、「町内会・自治会」(49.5%)で比較的参加率（「よく参加」、「ときどき参加」の合計）が高い。
- 「趣味のサークル」、「地域おこし・まちづくり団体」、「教養・学習サークル」、「ボランティア活動」に「今後参加したい」という割合は、それぞれの現在の参加率より高くなっている。
- 地区のまちづくりについて、市役所と話し合ったり、考えたりすることについて、「これまで参加したことはないが、参加するかもしれない」という意見が半数を占めている。
- 地区のまちづくりについて「参加したくない」という人にその理由をたずねたところ、「皆の前で意見を言うのが苦手である」(38.1%) という声が最も多くあがっている。

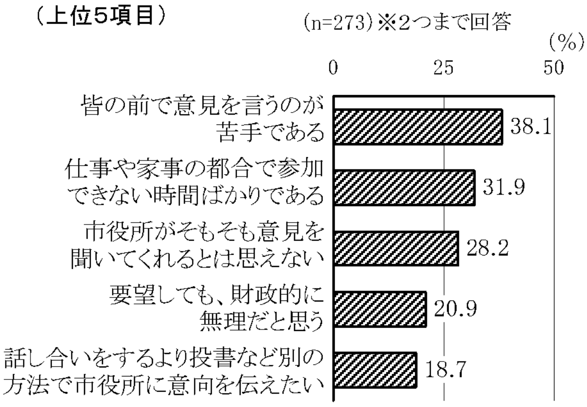
■地域活動などの参加状況



■まちづくりの参加意向



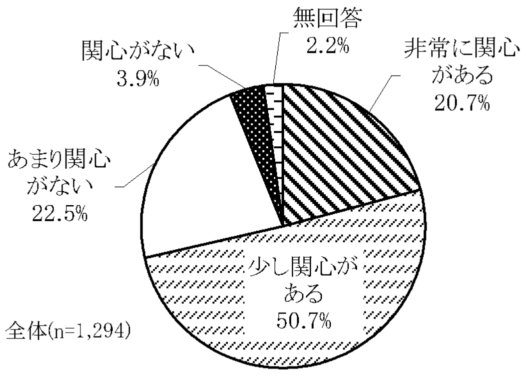
■（まちづくりの参加意向で「参加したくない」という人に）参加したくない理由（上位5項目）



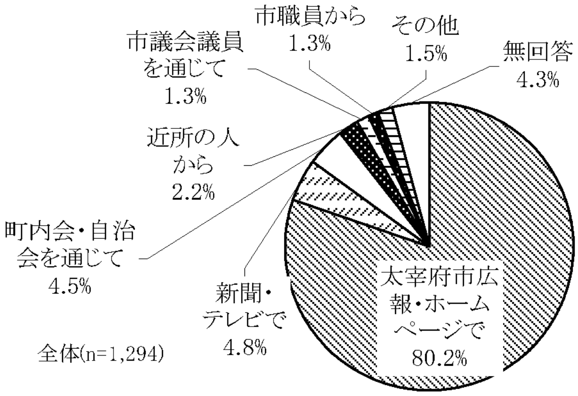
7．行政について

- 太宰府市の市政に関心を持っている割合は、「非常に関心がある」(20.7%)と「少し関心がある」（50.7%）とを合計すると 71.4%で、平成 10 年の前回調査結果（71.7%）とほぼ同じ。
- 市役所の仕事内容を知る方法を一つ挙げるとすると、「太宰府市広報・ホームページで」が 80.2%を占めている。
- 最も知りたい市役所の仕事内容や計画としては、「市がこれから進めようとしている仕事やその計画」（54.6%）、「市の予算の使い方」（50.5%）といった項目の割合が高くなっている。
- 今の市政には市民の意見が反映されているかどうかについて、『反映されている』（「よく反映されている」、「ある程度反映されている」の合計）が 24.6%なのに対し、『反映されていない』（「あまり反映されていない」、「全く反映されていない」の合計）は 39.5%と、『反映されている』を約 15 ポイント上回っている。なお、『反映されている』の割合は、平成 10 年の前回調査結果（29.0%）と比べても 4.4 ポイント下落している。

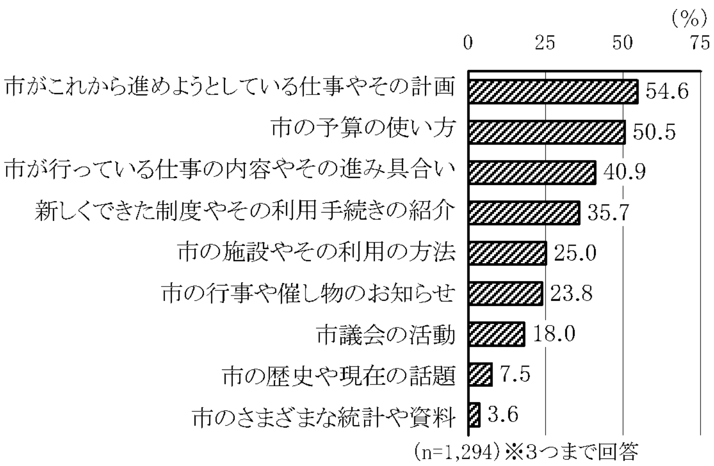
■太宰府市政への関心度



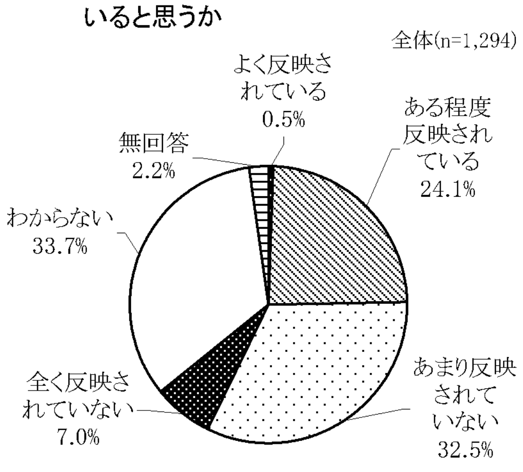
■市役所の仕事内容を知る方法



■最も知りたい市役所の仕事内容や計画



■今の市政に市民の意見が反映されていると思うか



第３章　詳細調査結果

第1節　回答者の属性

１．性別（問１）

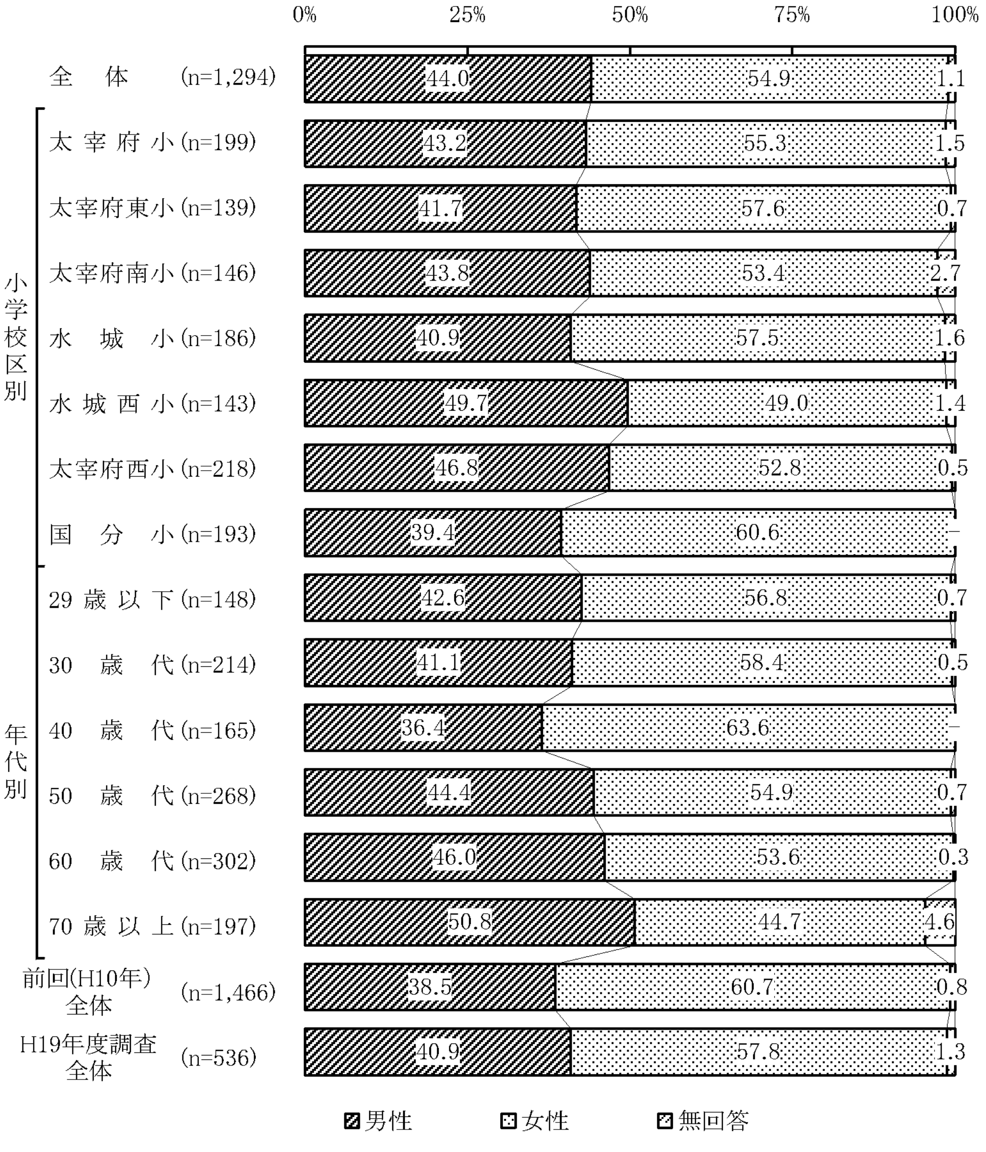
●回答者の性別は、男性 44.0%に対し女性が 54.9%。70 歳以上では男性がやや多い。

回答者の性別は「男性」が 44.0%に対し、「女性」は 54.9%となっている。

校区別に見ると、水城西小を除く各地区で「女性」が「男性」を上回っている。

年代別に見ると、70 歳以上では「男性」が「女性」を上回っている。40 歳代は男性の回答者が３割台にとどまっている。

図 3-1-1　回答者の性別



２．年齢（問２）

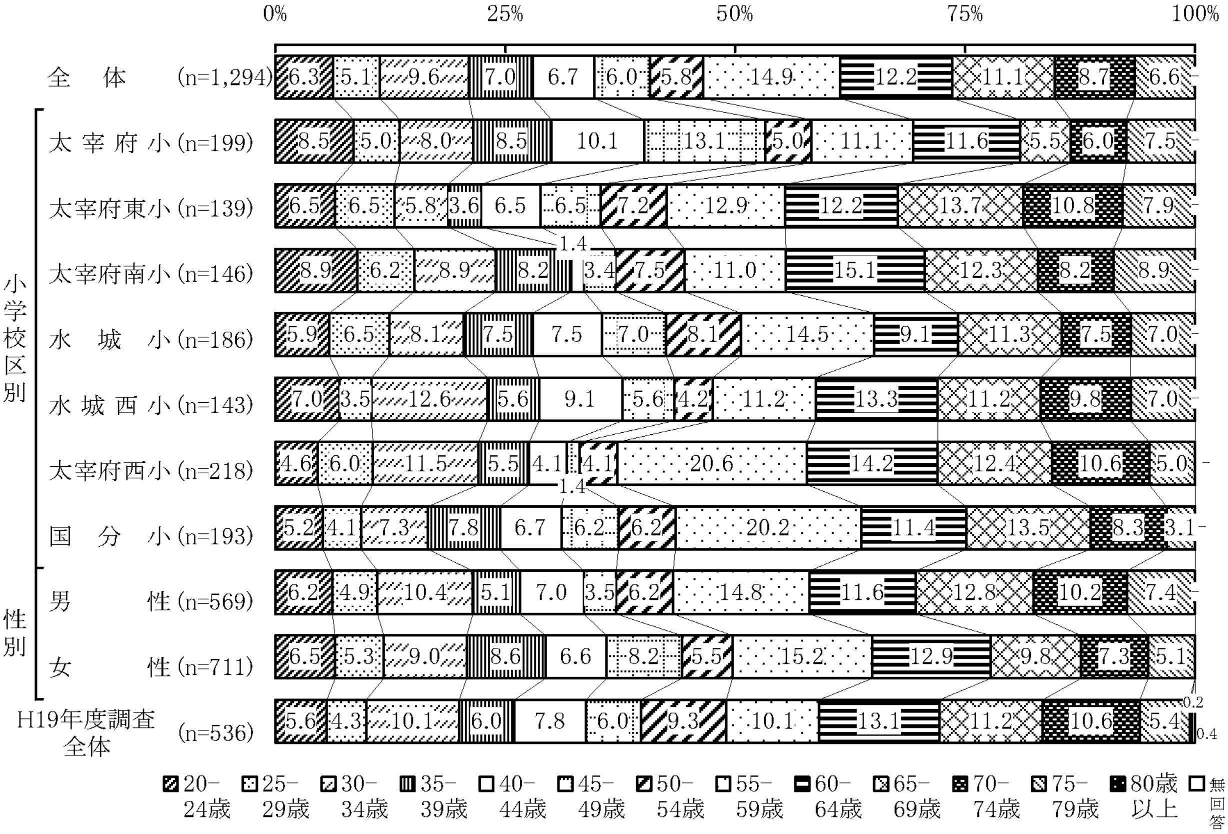
●回答者の年齢は、60 歳代、50 歳代でやや多く、20 歳代はやや少ない。

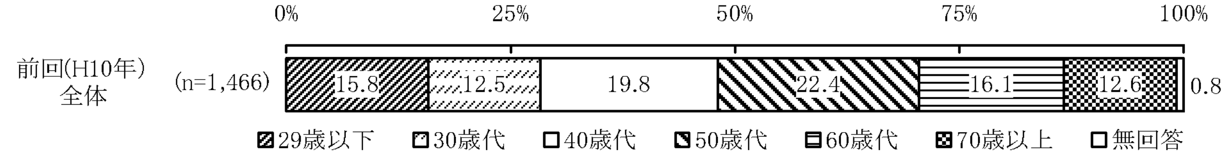
回答者の年齢を 5 歳刻みで見ると、「55-59 歳」が 14.9%、「60-64 歳」が 12.2%と高く、50 歳代は 20.7%、60 歳代は 23.3%と全体の約 4 割を占めている。前回、H19 年度と比べても、この傾向は変わらない。

校区別に見ると、太宰府小は他の地区に比べて 49 歳以下の回答者が多い。

性別に見ると、49 歳以下の回答者の割合は男性（37.1%）より女性（44.2%）の方が多い。

図 3-1-2　回答者の年齢





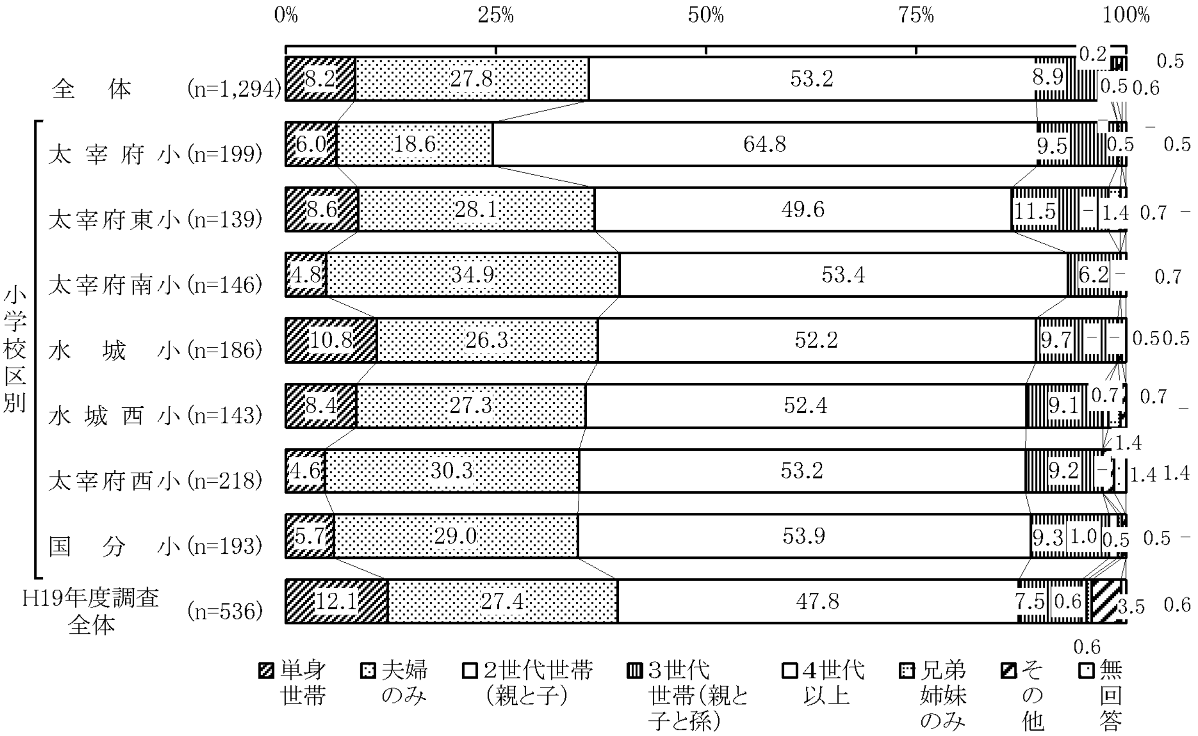
３．世帯構成（問３）

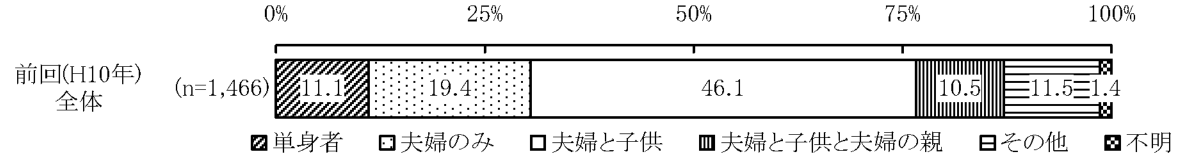
●全体では「２世代世帯（親と子）」「夫婦のみ」の核家族が多い。

回答者の世帯構成を見ると、「２世代世帯（親と子）」（53.2％）が５割を占めて最も多く、次いで「夫婦のみ」（27.8％）といった核家族が多く見られる。

校区別に見ると、各地区とも「２世代世帯（親と子）」が中心であるが、水城小では「単身のみ」も約１割いる。

図 3-1-3　回答者の世帯構成





４．職業（問４）

●全体では「会社員」の回答者が最も多く、「無職」、「家事専業」がこれに続いている。
●29 歳以下は「学生」が約３割、70 歳以上は「無職」が約６割を占める。

回答者の職業を見ると、「会社員」が 27.8％と最も高く、H19 年度調査の 21.6％をやや上回っている。以下、「無職」（22.6％）、「家事専業」（17.9％）と続いている。

校区別に見ると、「会社員」の割合は水城西小（32.2％）で他の地区に比べやや高い。

性別に見ると、男性は「会社員」（40.2％）、女性は「家事専業」（31.8％）が最も多い。

年代別に見ると、29 歳以下は「会社員」が 43.2％と最も多く、「学生」も 29.7％を占める。60 歳以上になると、「無職」が最も多く、70 歳代では約 6 割を占める。

図 3-1-4　回答者の職業

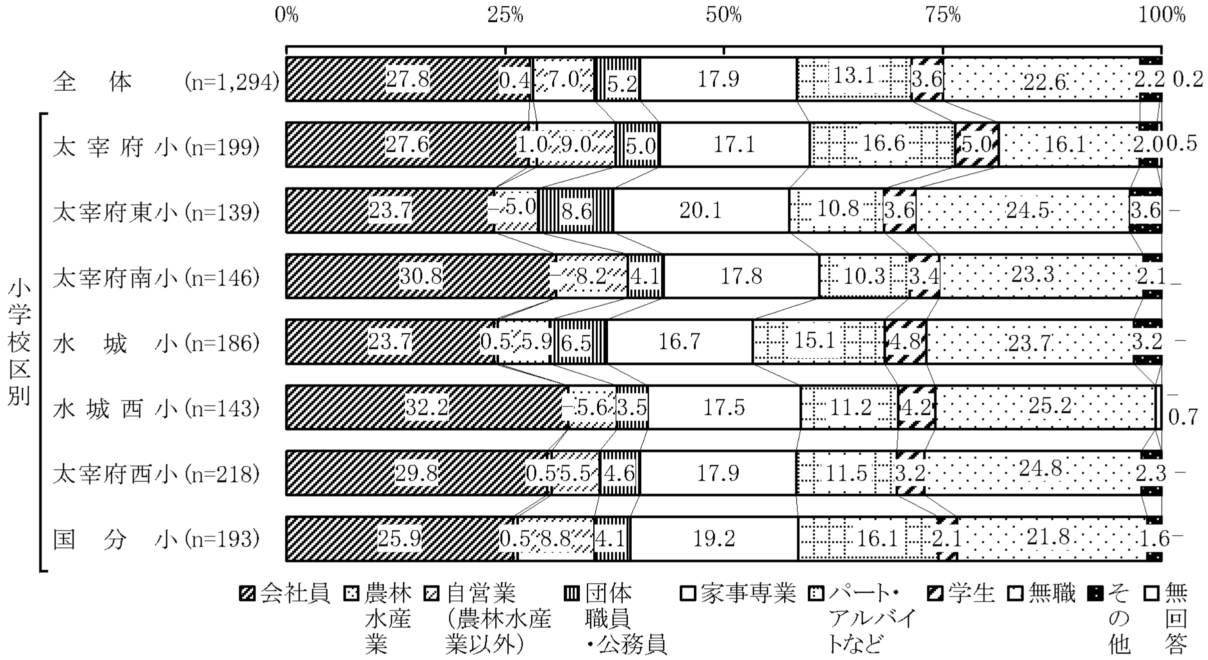


表 3-1-1　回答者の職業（性別・年代別・H19 年度調査との比較）

（%）

		標本数	会社員	農林水産業	自営業（農林水産業以外）	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全　体		1,294	360	5	91	67	232	170	46	293	28	2
		100.0	27.8	0.4	7.0	5.2	17.9	13.1	3.6	22.6	2.2	0.2
性別	男性	569	40.2	0.5	11.1	6.5	0.2	4.9	3.9	29.7	3.0	－
	女性	711	18.4	－	3.9	4.1	31.8	19.7	3.4	16.9	1.5	0.3
年代別	29 歳以下	148	43.2	－	0.7	3.4	1.4	11.5	29.7	8.8	1.4	－
	30 歳代	214	48.1	－	4.7	7.0	16.4	15.0	0.5	6.5	1.9	－
	40 歳代	165	40.6	－	8.5	7.9	12.1	23.6	0.6	3.6	3.0	－
	50 歳代	268	29.5	－	11.9	8.6	21.6	17.2	－	9.0	2.2	－
	60 歳代	302	13.9	1.0	8.3	3.0	24.2	9.3	－	37.1	2.6	0.7
	70 歳以上	197	2.5	1.0	4.6	1.0	22.3	4.1	－	62.9	1.5	－
H19年度調査全体		536	21.6	－	5.8	4.5	24.1	13.6	3.4	20.3	5.0	1.7

５．通勤・通学先（問４付問）

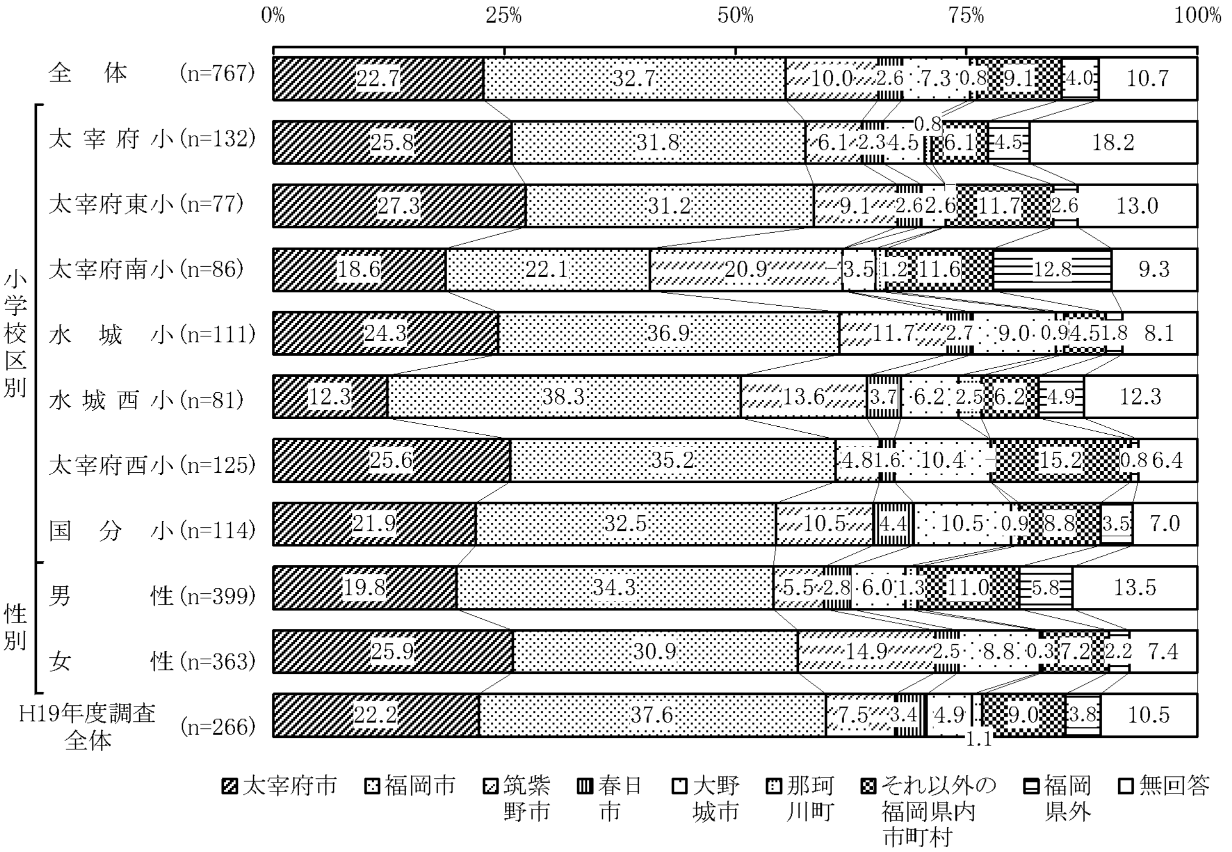
●全体では「福岡市」への通勤・通学者が３割を占める。

家事専業・無職の方以外の回答者に対して通勤・通学先を聞いたところ、「福岡市」が 32.7%と最も多く、次いで「太宰府市」(22.7%) となっている。なお、H19 年度調査と比較すると、太宰府市および福岡市への通勤・通学者の割合はあまり変化していない。

校区別に見ると、太宰府南小では「福岡市」の割合は 22.1%とやや低く、「筑紫野市」(20.9%) の割合が 2 割に達している。また、水城西小では「太宰府市」の割合 (12.3%) が他と比べてやや低くなっている。

性別に見ると、最も多いのは男女とも「福岡市」で、「太宰府市」は男性 19.8%に対し、女性は 25.9%となっている。また、女性は「筑紫野市」が 14.9%と男性 (5.5%) に比べて高い。

図 3-1-5　回答者の通勤・通学先



６．行政区（問５）

●「国分」が全体の１割弱を占める。

44ある行政区別の回答分布を見ると、「国分」が構成比で9.2%と最も高く、次いで「通古賀」（6.5%）、「五条」、「青葉台」（それぞれ5.4%）と続いている。

図 3-1-6　回答者の居住する行政区

	構成比（%）		
	今回（H20年）	前回（H10年）	H19年度調査
	n=1,294	n=1,466	n=536
1. 北　　谷	0.5	0.7	0.6
2. 内　　山	0.2	0.4	0.6
3. 松　　川	1.1	1.6	0.4
4. 三　　条	2.1	2.9	2.8
5. 三 条 台	0.3	1.2	0.2
6. 連 歌 屋	1.6	2.5	2.4
7. 馬　　場	1.5	1.4	1.7
8. 湯 の 谷	1.2	1.2	0.9
9. 湯の谷西	0.5	0.8	0.7
10. 大　　町	0.2	0.4	0.0
11. 新　　町	0.5	0.6	0.0
12. 白　　川	0.7	0.8	0.4
13. 五　　条	5.4	5.8	6.0
14. 秋　　山	0.9	0.6	0.7
15. 五 条 西	1.2	1.0	1.7
16. 五 条 台	1.3	1.9	2.4
17. 東 ヶ 丘	2.4	3.0	1.9
18. 星 ヶ 丘	4.0	4.4	3.2
19. 高　　雄	3.5	3.5	2.8
20. 梅 香 苑	3.9	3.3	2.2
21. 緑　　台	1.0	0.5	0.6
22. 梅 ヶ 丘	1.9	1.8	1.7
23. 高 雄 台	1.8	2.1	1.9
24. 水　　城	1.9	1.8	2.8
25. 水 城 台	1.6	1.6	1.1
26. 水城ヶ丘	2.1	1.4	1.5
27. 国　　分	9.2	8.2	7.1
28. 坂　　本	2.1	2.5	3.2
29. 観世音寺	5.2	5.5	4.1
30. 東 観 世	0.7	0.9	0.6
31. 桜　　町	0.4	1.2	0.9
32. 　榎	0.9	1.0	1.5
33. 榎　　寺	1.9	1.4	2.1
34. 芝　　原	0.8	1.1	0.2
35. 通 古 賀	6.5	6.5	6.5
36. 都 府 楼	5.2	4.6	6.5
37. 大 佐 野	3.4	1.6	4.5
38. 大佐野台	1.2	0.5	0.6
39. 向 佐 野	2.2	2.3	5.0
40. 長 浦 台	3.8	3.2	2.4
41. 吉　　松	5.2	3.7	3.5
42. 青 葉 台	5.4	4.3	4.5
43. つつじヶ丘	1.1	1.8	1.9
44. ひまわり台	1.0	1.2	1.7
45. わからない	0.3		0.9
無 回 答	0.2	1.4	1.3

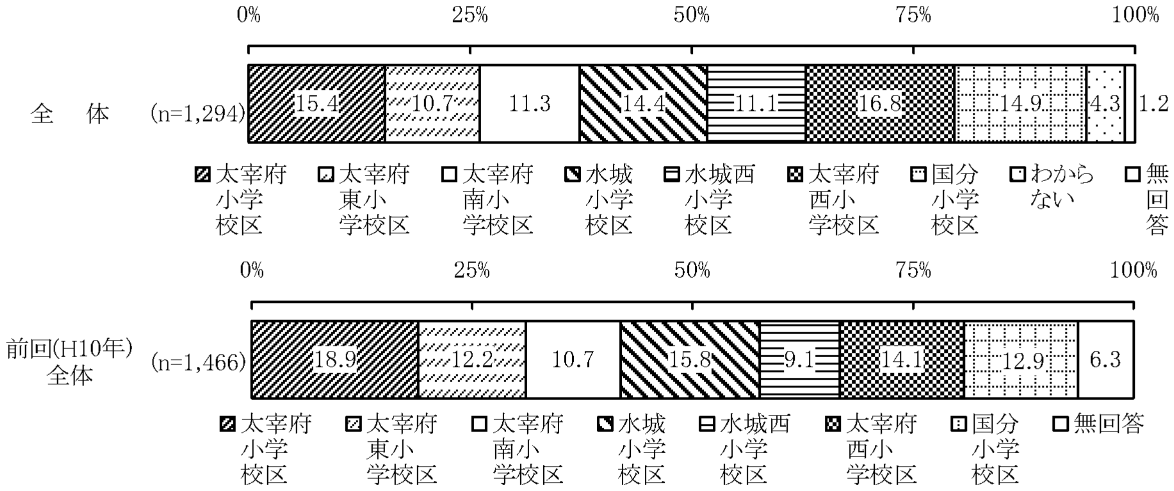
７．小学校区（問６）

●全体では「太宰府西小学校区」が最も多い。

回答者が居住する小学校区を見ると、「太宰府西小学校区」が 16.8%と最も多く、「太宰府小学校区」（15.4%）がこれに続いている。「太宰府東小学校区」が 10.7%と最も少ないが、割合は分散している。

なお、前回調査では「太宰府小学校区」が最も多かったが、今回はやや割合が低くなっている。

図 3-1-7　小学校区



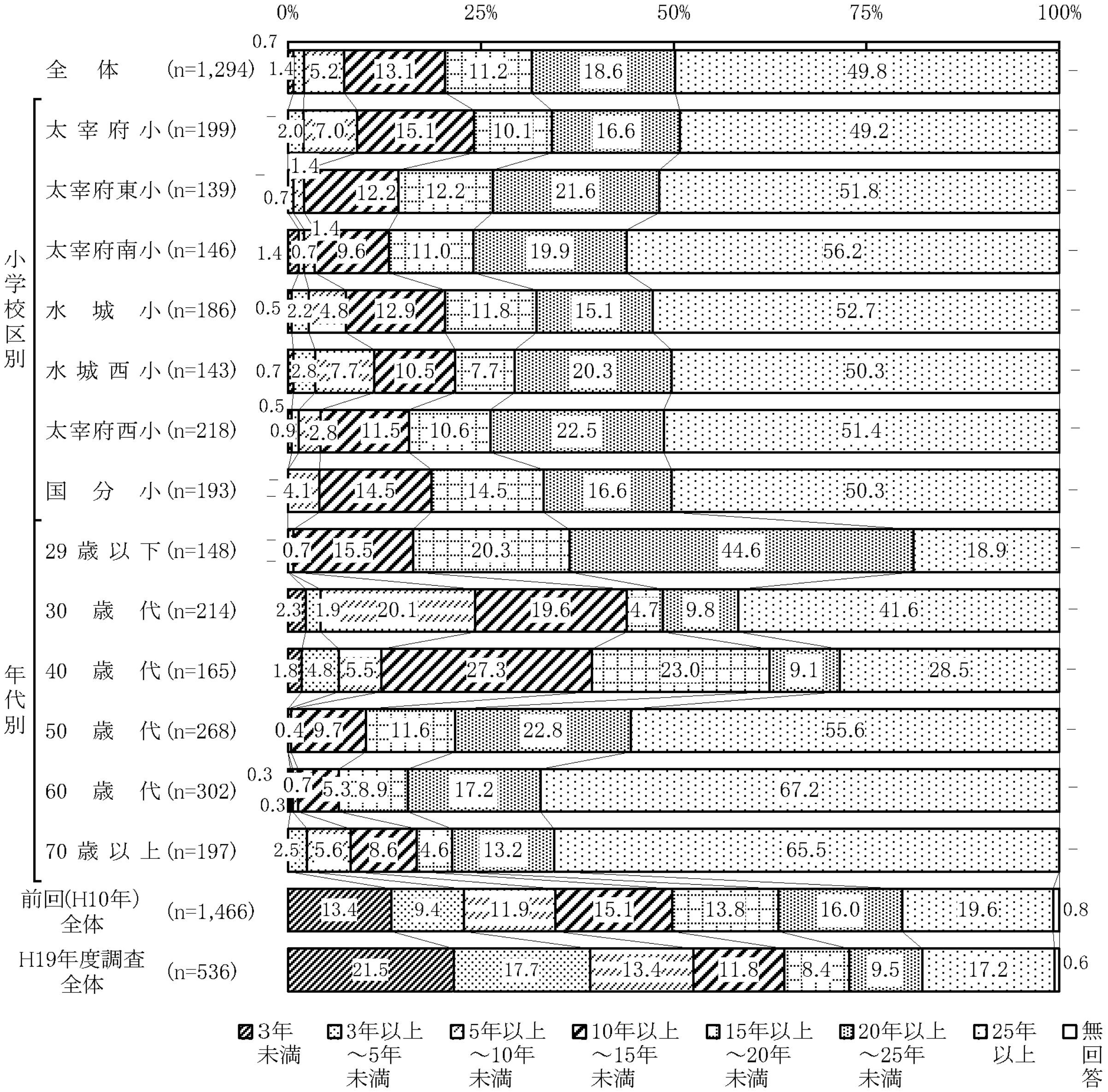
８．居住年数（問７）

●全体では「25 年以上」が約５割を占めている。

回答者の居住年数を見ると、「25 年以上」が 49.8％と最も多く、次いで「20 年以上～25 年未満」(18.6％)、「10 年以上～15 年未満」(13.1％) などとなっている。一方、「3 年未満」(0.7％)、「3 年以上 5 年未満」（1.4％）といった最近転居してきた市民の割合は低くなっている。

前回、H19 年度調査に比べると、「25 年以上」の割合が高くなっている。

図 3-1-8　居住年数



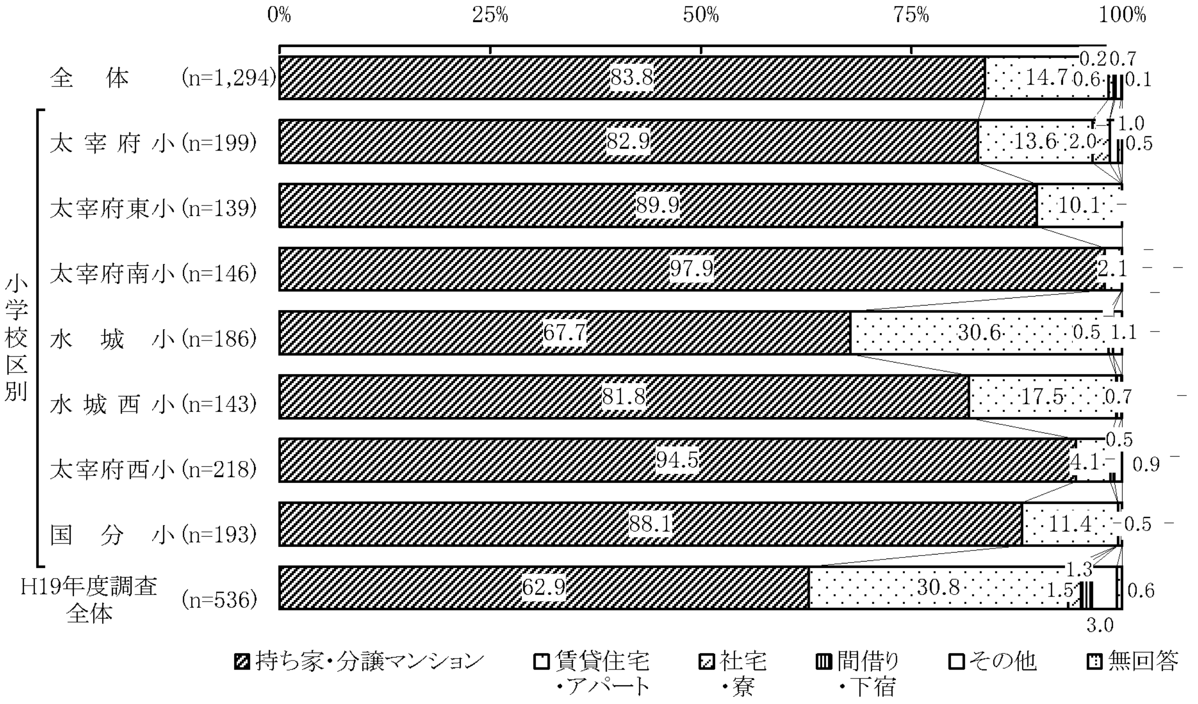
9．住まいの形態（問８）

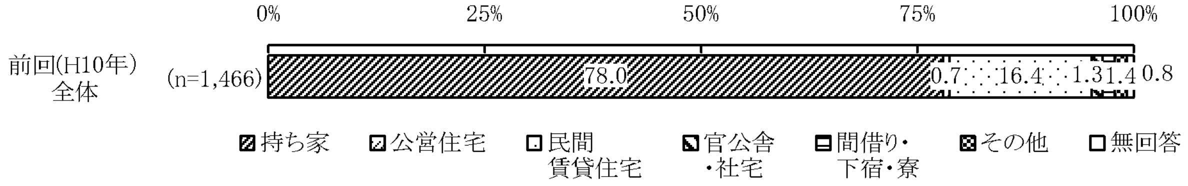
●全体では「持ち家・分譲マンション」が８割超。

回答者の住まいの形態を見ると、「持ち家・分譲マンション」（83.8%）が中心であり、次いで「賃貸住宅・アパート」（14.7%）となっている。前回（78.0%）、H19 年度調査（62.9%）と比較すると、「持ち家・分譲マンション」の割合は増加している。

校区別に見ると、各校区とも「持ち家・分譲マンション」が最も多いものの、水城小では「賃貸住宅・アパート」が約３割と他の校区に比べて高くなっている。

図 3-1-9　住まいの形態





第2節 住みやすさについて

1．太宰府市の住みやすさ（問９）

●全体では、住みやすいと感じている人（満足派）が約７割を占める。

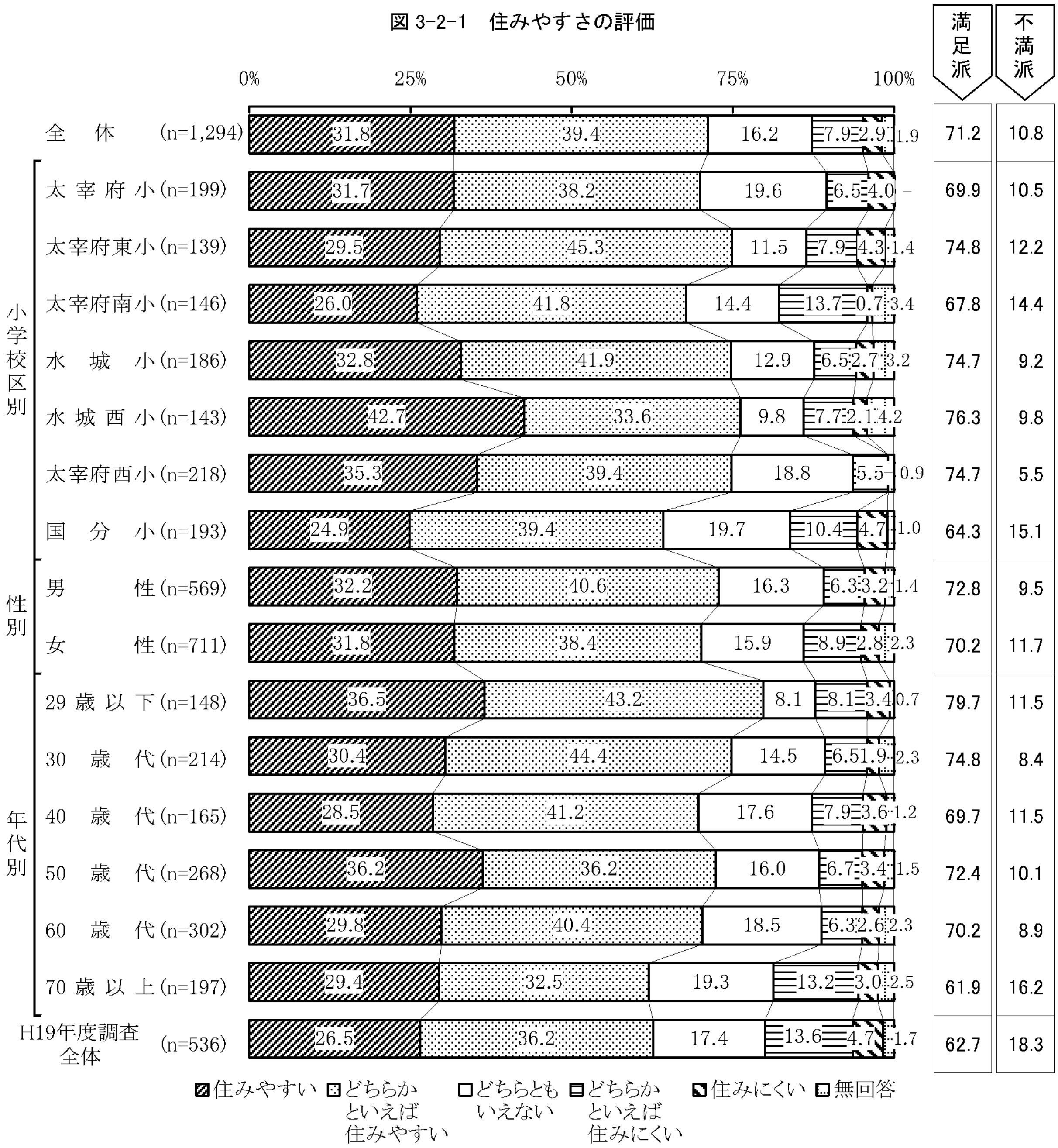
太宰府市の住みやすさを見ると、「住みやすい」は 31.8%、「どちらかといえば住みやすい」は 39.4%であり、これらをあわせた満足派は 71.2%となっている。一方、「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」と回答した不満足派は 1 割程度（10.8%）にとどまっている。H19 年度調査に比べると、満足派は 8.5 ポイント増加している。

校区別に見ると、満足派は水城西小（76.3%）でやや高く、国分小（64.3%）でやや低い。

性別に見ると、ともに約 7 割が満足としており、大きな差は見られない。

年代別に見ると、29 歳以下で満足派が 79.7%と高く、70 歳以上（61.9%）でやや低い。70 歳以上では、不満派が 16.2%と比較的高くなっている。

図 3-2-1　住みやすさの評価



２．継続居住意向（問 10）

●全体では、「住み続けたい」が「住み続けたくない」を大きく上回る。

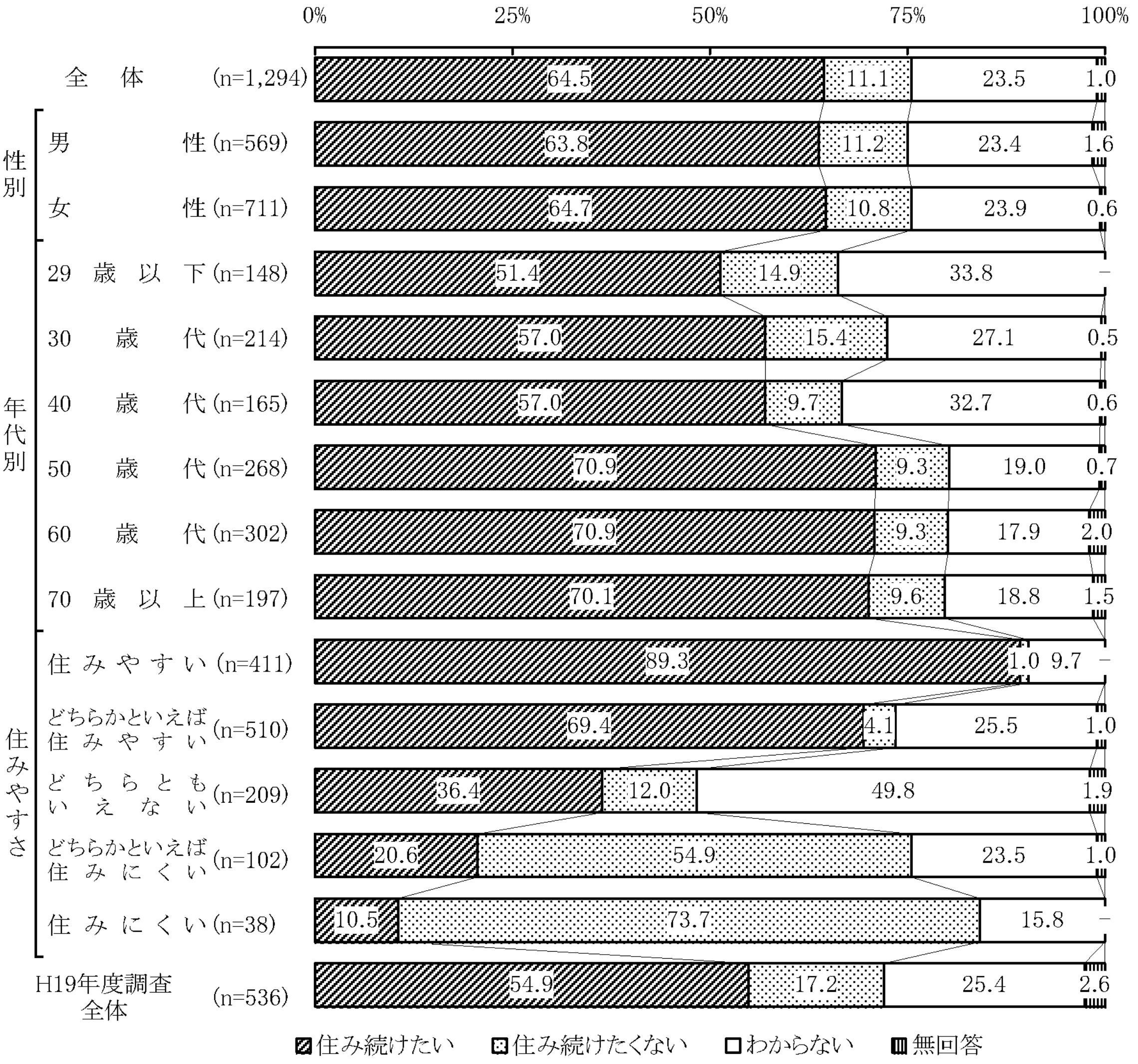
太宰府市での継続居住意向を見ると、「住み続けたい」が 64.5%となっており、「住み続けたくない」（11.1%）を大きく上回っている。H19 年度調査と比較すると、「住み続けたい」割合は約 9.6 ポイント増加している。

性別に見ると、ともに約 6 割が継続居住の意向があり、性別で傾向に差は見られない。

年代別に見ると、50 歳代以上で継続居住意向が 7 割に達している。

住みやすさ別に見ると、住みやすさの程度が高いほど、「住み続けたい」と回答しており、「住みやすい」と回答した人では継続居住意向が 89.3%と特に高い。

図 3-2-2　継続居住意向

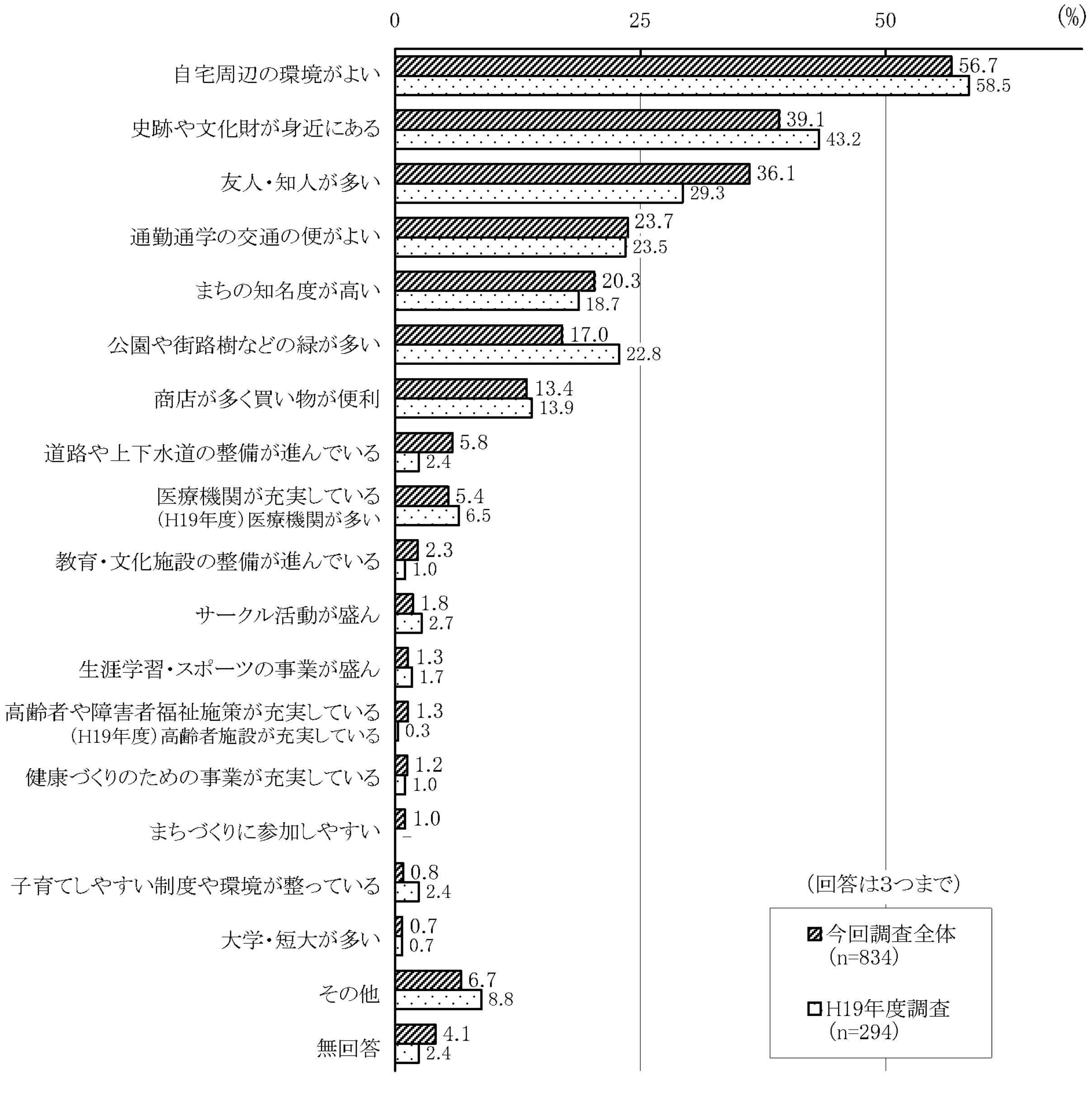


３．住み続けたい理由（問 10 付問１）

●住み続けたい理由としては、１位：「自宅周辺の環境がよい」、２位：「史跡や文化財が身近にある」、３位：「友人・知人が多い」となっている。

太宰府市に住み続けたいと回答した人（834 人）の理由を見ると、「自宅周辺の環境がよい」が 56.7％で最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」（39.1％）、「友人・知人が多い」（36.1％）などとなっている。H19 年度調査と比較しても、ほぼ同様の傾向を示している。

図 3-2-3　住み続けたい理由



校区別に見ると、いずれも「自宅周辺の環境がよい」が最も高い。太宰府東小・太宰府南小では「まちの知名度が高い」、水城小・水城西小では「通勤通学の交通の便がよい」という理由が、他校区と比べて高くなっている。

性別に見ると、男女とも「自宅周辺の環境がよい」という理由が最も多いが、女性は「友人・知人が多い」が 40.9％と男性（30.0％）に比べて 10.9 ポイント高い。

年代別に見ると、どの年代も「自宅周辺の環境がよい」という理由が最も多い。29 歳以下、30 歳代、40 歳代は「友人・知人が多い」や「通勤通学の交通の便がよい」という理由が 50 歳代以上に比べて高い。50 歳代以上は「史跡や文化財が身近にある」という理由をあげる人が多くなっている。

表 3-2-1　住み続けたい理由（小学校区別・性別・年代別）

（%）

		標本数	「住み続けたい」理由（３つまで）									
			自宅周辺の環境がよい	史跡や文化財が身近にある	友人・知人が多い	通勤通学の交通の便がよい	まちの知名度が高い	公園や街路樹などの緑が多い	商店が多く買い物が便利	道路や上下水道の整備が進んでいる	医療機関が充実している	教育・文化施設の整備が進んでいる
全　体		834	473	326	301	198	169	142	112	48	45	19
		100.0	56.7	39.1	36.1	23.7	20.3	17.0	13.4	5.8	5.4	2.3
小学校区別	太宰府小	132	59.8	42.4	44.7	23.5	15.2	14.4	8.3	3.0	4.5	3.8
	太宰府東小	92	63.0	47.8	35.9	19.6	26.1	14.1	10.9	6.5	7.6	1.1
	太宰府南小	87	60.9	43.7	28.7	18.4	31.0	9.2	9.2	5.7	6.9	2.3
	水城小	127	55.1	31.5	34.6	41.7	18.9	17.3	14.2	7.1	5.5	1.6
	水城西小	92	50.0	31.5	43.5	40.2	15.2	8.7	17.4	6.5	4.3	1.1
	太宰府西小	148	60.1	31.8	30.4	12.2	21.6	24.3	23.6	5.4	6.8	2.7
	国分小	116	50.0	46.6	36.2	12.1	20.7	25.0	5.2	5.2	3.4	2.6
性別	男性	363	54.5	41.3	30.0	25.6	22.0	14.9	13.5	7.4	5.5	2.8
	女性	460	58.9	37.2	40.9	22.6	18.7	18.5	13.5	4.3	5.2	2.0
年代別	29歳以下	76	48.7	28.9	44.7	35.5	23.7	14.5	11.8	2.6	3.9	－
	30歳代	122	54.1	33.6	41.0	32.8	11.5	17.2	9.8	4.1	1.6	3.3
	40歳代	94	47.9	26.6	44.7	38.3	19.1	9.6	10.6	－	2.1	3.2
	50歳代	190	63.2	44.2	38.4	27.4	17.4	21.6	12.6	5.8	5.3	2.1
	60歳代	214	62.1	45.8	29.0	13.1	24.8	18.2	15.9	6.5	5.1	2.3
	70歳以上	138	52.2	40.6	29.0	10.9	23.9	15.2	16.7	11.6	12.3	2.2

		標本数	「住み続けたい」理由（３つまで）								
			サークル活動が盛ん	生涯学習・スポーツの事業が盛ん	高齢者や障害者福祉施策が充実している	健康づくりのための事業が充実している	まちづくりに参加しやすい	子育てしやすい制度や環境が整っている	大学・短大が多い	その他	無回答
全　体		834	15	11	11	10	8	7	6	56	34
		100.0	1.8	1.3	1.3	1.2	1.0	0.8	0.7	6.7	4.1
小学校区別	太宰府小	132	2.3	0.8	3.0	1.5	－	1.5	0.8	5.3	5.3
	太宰府東小	92	3.3	3.3	－	1.1	1.1	－	－	7.6	3.3
	太宰府南小	87	5.7	2.3	2.3	－	－	1.1	2.3	9.2	2.3
	水城小	127	－	0.8	0.8	0.8	1.6	－	－	8.7	1.6
	水城西小	92	1.1	2.2	－	1.1	1.1	－	－	9.8	5.4
	太宰府西小	148	2.0	0.7	2.0	2.0	2.7	2.0	1.4	2.7	4.7
	国分小	116	－	0.9	－	0.9	－	－	0.9	6.0	5.2
性別	男性	363	1.4	1.1	1.1	1.4	0.6	0.6	0.8	7.2	3.6
	女性	460	2.2	1.5	1.5	1.1	1.3	1.1	0.7	6.5	4.3
年代別	29歳以下	76	－	－	－	－	1.3	－	1.3	7.9	6.6
	30歳代	122	0.8	－	－	0.8	－	1.6	－	9.0	0.8
	40歳代	94	2.1	1.1	2.1	－	－	2.1	－	11.7	1.1
	50歳代	190	0.5	1.6	1.6	0.5	0.5	1.1	0.5	5.3	2.6
	60歳代	214	3.7	2.8	0.9	2.3	1.9	0.5	0.9	6.5	4.7
	70歳以上	138	2.2	0.7	2.9	2.2	1.4	－	1.4	2.9	8.7

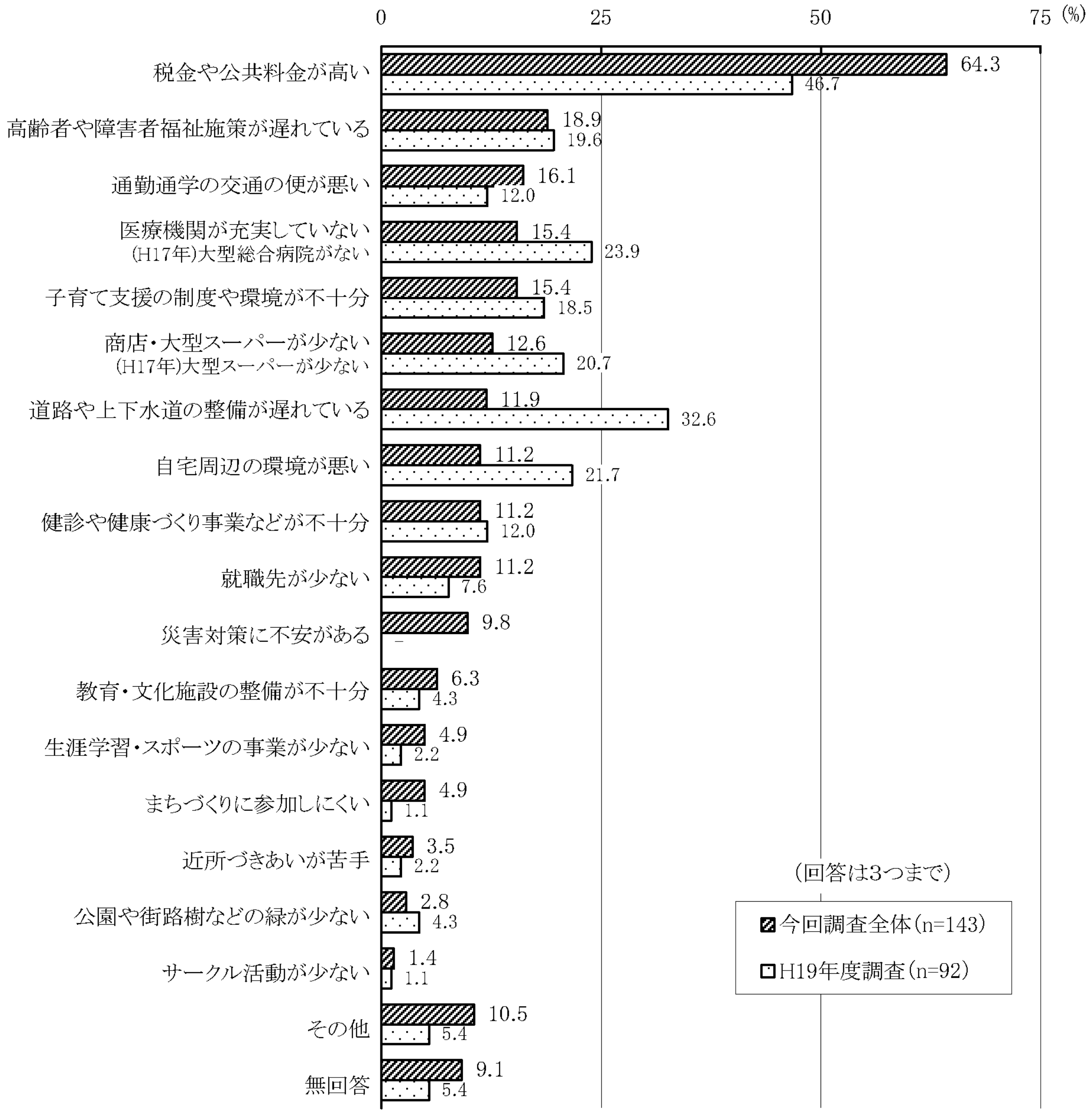
４．住み続けたくない理由（問10付問２）

●「住み続けたくない」という理由としては、１位：「税金や公共料金が高い」、２位：「高齢者や障害者福祉施策が遅れている」、３位：「通勤通学の交通の便が悪い」となっている。

太宰府市に住み続けたくない理由と回答した人（143人）の理由を見ると、「税金や公共料金が高い」が64.3%と最も高く、以下「高齢者や障害者福祉施策が遅れている」（18.9%）、「通勤通学の交通の便が悪い」（16.1%）と続いている。

H19年度調査と比較すると、サンプル数が少ない点を考慮に入れる必要があるが、H19年度調査では2番目に回答が多かった「道路や上下水道の整備が遅れている」は11.9%と全体で7番目に回答が多い項目となっている。

図 3-2-4　住み続けたくない理由

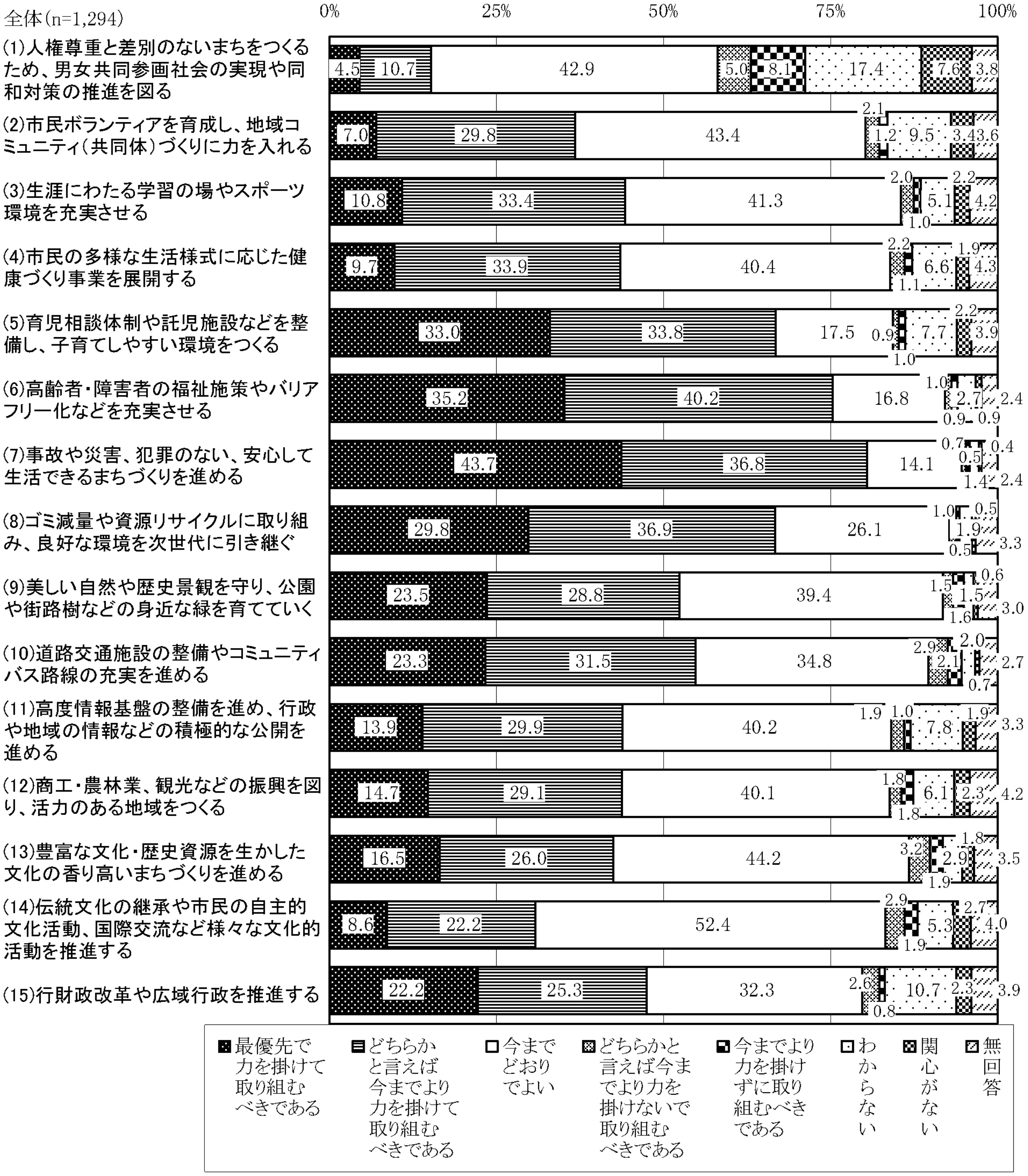


第3節　総合計画に掲げた施策の優先度（問 11）

●「最優先で」という意見が最も多いのは「安心して生活できるまちづくり」

第四次太宰府市総合計画で掲げた 15 の施策に対する考え方を聞いたところ、「最優先で力を掛けて取り組むべき」という割合が最も高かったのは「事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりをすすめる」の 43.7%で、「どちらかといえば」も含めると 80.5%の回答者がより力を掛けて取り組むことを望んでいる。H19 年度調査の結果と比べると、割合は下がっているものの、全選択肢の中で最も数値が高いのに変わりはない。

図 3-3-1　各種施策に対する考え方



「最優先で」という割合が全体で２番目に多いのは「高齢者・障害者の福祉施策やバリアフリー化などを充実させる」（35.2%）である。３番目に多い「育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境を作る」（33.0%）は、30 歳代だけに限って見ると、「最優先で」の割合が最も高い。その他、「行財政改革や広域行政を推進する」は 70 歳以上で 30.5%と高くなっているのが特徴的である。

「最優先で」と「どちらかといえば」を合計した『力を掛けて取り組むべき』という割合を見ると、上位３位に入るのは「最優先で」と同じである。

ただ、「高齢者・障害者の福祉施策やバリアフリー化などを充実させる」は全体では 75.4%で第２位だが、小学校区別で見ると、太宰府東小では 82.7%と 15 項目中で最も高くなっている。また、全体で第３位の「育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境を作る」（66.8%）は、水城小では 73.7%と７割を超え、他の校区と比べやや高くなっている。その他、「道路交通施設の整備やコミュニティバス路線の充実を進める」は太宰府南小で 69.2%と高くなっているのが特徴的である。

性別に見ると、「行財政改革や広域行政を推進する」を『力を掛けて取り組むべき』という割合は、男性（54.5%）の方が女性（41.7%）と比べて高くなっている。

『力を掛けて取り組むべき』を年齢別に見ると、「育児相談体制や託児施設を整備し、子育てしやすい環境をつくる」は 30 歳代（78.1%）、「ゴミ減量や資源リサイクルに取り組み、良好な環境を次世代に引き継ぐ」は 20 歳代（71.6%）と 30 歳代（71.0%）、「行財政改革や広域行政を推進する」は 60 歳代（57.0%）でそれぞれ高くなっているのが特徴的である。

表 3-3-1　各種施策に対する考え方について『力を掛けて取り組むべき』割合

（%）

		標本数	(1)男女共同参画社会の実現や同和対策の推進を図る		(2)市民ボランティアを育成し、地域コミュニティづくりに力を入れる		(3)生涯にわたる学習の場やスポーツ環境を充実させる		(4)多様な生活様式に応じた健康づくり事業を展開する		(5)育児相談体制や託児施設を整備し、子育てしやすい環境をつくる	
			最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]
全体		1,294	4.5	[redacted]	7.0	[redacted]	10.8	[redacted]	9.7	[redacted]	33.0	[redacted]
小学校区	太宰府小	199	6.0	[redacted]	7.0	[redacted]	11.6	[redacted]	12.6	[redacted]	39.7	[redacted]
	太宰府東小	139	2.9	[redacted]	5.8	[redacted]	15.1	[redacted]	9.4	[redacted]	28.8	[redacted]
	太宰府南小	146	5.5	[redacted]	7.5	[redacted]	10.3	[redacted]	6.8	[redacted]	24.7	[redacted]
	水城小	186	6.5	[redacted]	8.6	[redacted]	9.7	[redacted]	11.3	[redacted]	35.5	[redacted]
	水城西小	143	2.8	[redacted]	4.2	[redacted]	12.6	[redacted]	9.8	[redacted]	30.8	[redacted]
	太宰府西小	218	5.0	[redacted]	10.1	[redacted]	12.4	[redacted]	11.9	[redacted]	33.5	[redacted]
	国分小	193	2.6	[redacted]	6.7	[redacted]	8.3	[redacted]	6.7	[redacted]	34.7	[redacted]
性別	男性	569	5.4	[redacted]	6.7	[redacted]	11.1	[redacted]	9.3	[redacted]	31.1	[redacted]
	女性	711	3.7	[redacted]	7.3	[redacted]	10.7	[redacted]	10.1	[redacted]	34.7	[redacted]
年代別	29歳以下	148	4.7	[redacted]	4.1	[redacted]	14.2	[redacted]	4.7	[redacted]	36.5	[redacted]
	30歳代	214	3.3	[redacted]	6.1	[redacted]	6.1	[redacted]	6.1	[redacted]	49.1	[redacted]
	40歳代	165	6.1	[redacted]	4.8	[redacted]	15.2	[redacted]	13.3	[redacted]	40.0	[redacted]
	50歳代	268	5.6	[redacted]	6.3	[redacted]	11.2	[redacted]	10.1	[redacted]	27.2	[redacted]
	60歳代	302	2.3	[redacted]	9.6	[redacted]	9.9	[redacted]	11.3	[redacted]	28.5	[redacted]
	70歳以上	197	6.1	[redacted]	8.6	[redacted]	10.7	[redacted]	11.2	[redacted]	21.8	[redacted]
H19年度調査全体		536	4.3	[redacted]	6.7	[redacted]	10.6	[redacted]	9.0	[redacted]	28.9	[redacted]

（%）

		標本数	(6)高齢者・障害者の福祉施設やバリアフリー化などを充実させる		(7)事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりを進める		(8)ゴミ減量や資源リサイクルに取り組み、良好な環境を次世代に引き継ぐ		(9)美しい自然や歴史景観を守り、身近な緑を育てていく		(10)道路交通施設の整備やコミュニティバス路線の充実を進める	
			最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]
全体		1,294	35.2	[redacted]	43.7	[redacted]	29.8	[redacted]	23.5	[redacted]	23.3	[redacted]
小学校区	太宰府小	199	40.2	[redacted]	48.7	[redacted]	28.6	[redacted]	26.6	[redacted]	22.1	[redacted]
	太宰府東小	139	37.4	[redacted]	48.2	[redacted]	31.7	[redacted]	26.6	[redacted]	28.8	[redacted]
	太宰府南小	146	31.5	[redacted]	39.0	[redacted]	28.8	[redacted]	19.9	[redacted]	27.4	[redacted]
	水城小	186	33.9	[redacted]	41.9	[redacted]	31.2	[redacted]	21.0	[redacted]	15.6	[redacted]
	水城西小	143	39.9	[redacted]	44.8	[redacted]	30.8	[redacted]	25.2	[redacted]	25.2	[redacted]
	太宰府西小	218	32.6	[redacted]	41.3	[redacted]	30.7	[redacted]	24.3	[redacted]	22.9	[redacted]
	国分小	193	34.2	[redacted]	47.7	[redacted]	31.1	[redacted]	23.8	[redacted]	25.4	[redacted]
性別	男性	569	32.9	[redacted]	41.7	[redacted]	27.8	[redacted]	25.1	[redacted]	22.0	[redacted]
	女性	711	37.4	[redacted]	45.7	[redacted]	31.6	[redacted]	22.2	[redacted]	24.3	[redacted]
年代別	29歳以下	148	37.2	[redacted]	39.2	[redacted]	31.1	[redacted]	20.3	[redacted]	25.0	[redacted]
	30歳代	214	36.4	[redacted]	44.4	[redacted]	30.8	[redacted]	24.8	[redacted]	20.1	[redacted]
	40歳代	165	40.0	[redacted]	47.9	[redacted]	29.7	[redacted]	24.2	[redacted]	24.2	[redacted]
	50歳代	268	33.6	[redacted]	45.1	[redacted]	30.6	[redacted]	23.1	[redacted]	23.1	[redacted]
	60歳代	302	35.8	[redacted]	40.4	[redacted]	29.8	[redacted]	23.2	[redacted]	22.8	[redacted]
	70歳以上	197	29.9	[redacted]	46.2	[redacted]	26.9	[redacted]	24.9	[redacted]	25.9	[redacted]
H19年度調査全体		536	31.2	[redacted]	38.8	[redacted]	23.9	[redacted]	18.7	[redacted]	22.6	[redacted]

		標本数	(11)高度情報基盤の整備を進め、行政や地域の情報などの積極的な公開を進める		(12)商工・農林業、観光などの振興を図り、活力のある地域をつくる		(13)豊富な文化・歴史資源を生かした文化の香り高いまちづくりを進める		(14)伝統文化の継承や自主的文化活動、国際交流など文化的活動を推進する		(15)行財政改革や広域行政を推進する	
			最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]	最優先で力を掛けて取り組むべき	[redacted]
全体		1,294	13.9	[redacted]	14.7	[redacted]	16.5	[redacted]	8.6	[redacted]	22.2	[redacted]
小学校区	太宰府小	199	17.6	[redacted]	16.6	[redacted]	20.1	[redacted]	12.6	[redacted]	25.1	[redacted]
	太宰府東小	139	13.7	[redacted]	14.4	[redacted]	15.1	[redacted]	9.4	[redacted]	18.7	[redacted]
	太宰府南小	146	14.4	[redacted]	23.3	[redacted]	17.8	[redacted]	7.5	[redacted]	28.8	[redacted]
	水城小	186	15.1	[redacted]	14.0	[redacted]	15.1	[redacted]	8.1	[redacted]	24.7	[redacted]
	水城西小	143	14.7	[redacted]	10.5	[redacted]	23.8	[redacted]	10.5	[redacted]	18.2	[redacted]
	太宰府西小	218	10.1	[redacted]	12.8	[redacted]	15.6	[redacted]	6.9	[redacted]	22.5	[redacted]
	国分小	193	14.0	[redacted]	15.0	[redacted]	11.9	[redacted]	8.3	[redacted]	18.7	[redacted]
性別	男性	569	14.4	[redacted]	16.0	[redacted]	19.9	[redacted]	9.3	[redacted]	27.1	[redacted]
	女性	711	13.2	[redacted]	13.1	[redacted]	13.8	[redacted]	7.7	[redacted]	17.9	[redacted]
年代別	29歳以下	148	10.8	[redacted]	13.5	[redacted]	13.5	[redacted]	10.1	[redacted]	14.9	[redacted]
	30歳代	214	10.7	[redacted]	13.1	[redacted]	12.6	[redacted]	8.4	[redacted]	15.9	[redacted]
	40歳代	165	16.4	[redacted]	10.3	[redacted]	17.0	[redacted]	7.9	[redacted]	16.4	[redacted]
	50歳代	268	13.1	[redacted]	14.6	[redacted]	14.2	[redacted]	7.1	[redacted]	23.1	[redacted]
	60歳代	302	15.6	[redacted]	17.9	[redacted]	19.2	[redacted]	7.6	[redacted]	27.2	[redacted]
	70歳以上	197	16.2	[redacted]	16.2	[redacted]	21.8	[redacted]	11.7	[redacted]	30.5	[redacted]
H19年度調査全体		536	13.8	[redacted]	13.1	[redacted]	14.4	[redacted]	7.5	[redacted]	22.0	[redacted]

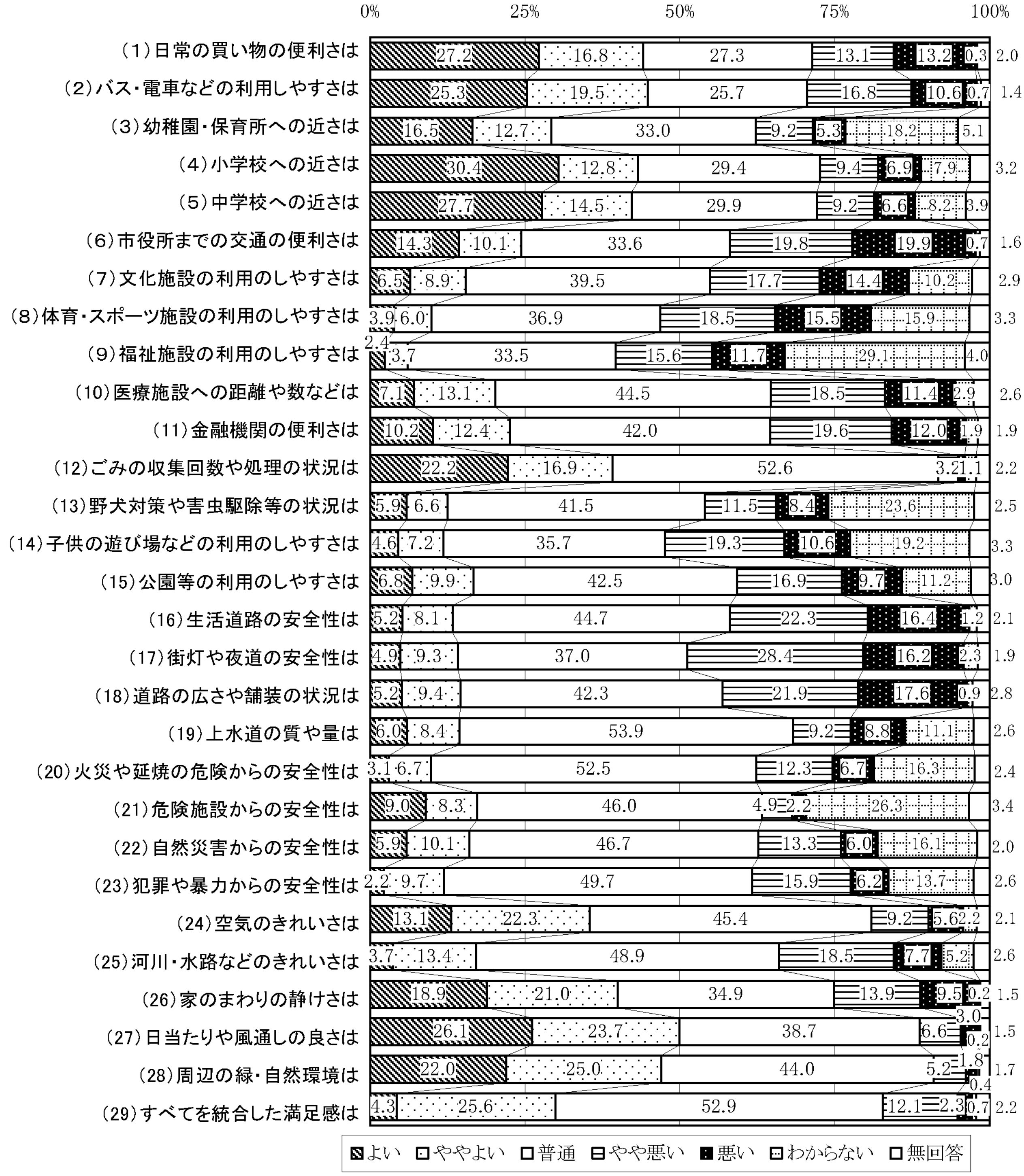
第4節　生活環境について（問 12）

1．全体的な傾向

●満足派が最も多いのは「日当たりや風通しの良さ」。

生活環境についてたずねたところ、「よい」の割合が最も高いのは「小学校への近さ」（30.4%）で、「ややよい」まで含めた満足派の割合が最も高いのは「日当たりや風通しの良さ」（49.8%）である。一方、「悪い」が最も高いのは「市役所までの交通の便利さ」（19.9%）で、「やや悪い」まで含めた不満派の割合が最も高いのは「街灯や夜道の安全性」（44.6%）となっている。

図 3-4-1　生活環境について



全 29 項目の生活環境について、それぞれ「よい」に５点、「ややよい」に４点、「普通」に３点、「やや悪い」に２点、「悪い」に１点を与え、回答数との加重平均をして満足度スコアの平均値を算出した（「わからない」と無回答は計算から除外）。

満足度スコアの平均値が最も高いのは「日当たりや風通しの良さ」（3.64）で、「周辺の緑・自然環境」（3.62）、「ごみの収集回数や処理の状況」（3.58）がこれに続いている。「すべてを統合した満足感」（以下「総合満足度」とする）のスコアは 3.18 と３点を上回っており、全体的には不満より満足を感じる傾向が強いことがわかる。また、全 29 項目のうち、スコアが３点を上回る（＝生活環境の評価が「普通」以上）のは 12 項目である。

なお、平均値に対するばらつきを示す標準偏差は「日常の買い物の便利さ」（1.36）、「バス・電車などの利用のしやすさ」（1.32）、「市役所までの交通の便利さ」（1.29）といった項目で高く、回答者の自宅の周辺環境や自宅から施設までの距離によって評価が左右される項目において回答のばらつきが見られることを示している。一方、標準偏差の値が最も低いのは「総合満足度」の 0.79 である。

満足度の平均値スコアを前回（H10 年）結果と比較すると、「上水道の質や量」（前回との差：+0.24）、「野犬対策や害虫駆除等の状況」（+0.16）などで前回のスコアを大きく上回っている。一方、「自然災害からの安全性」（−0.32）や「日常の買い物の便利さ」（−0.21）といった項目で前回からスコアを下げている。なお、「総合満足度」スコアの推移は増減なしであった。

表 3-4-1　生活環境スコア

問12 生活環境	全体 スコア平均値	順位	標準偏差	標本数	[redacted]
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	8	1.36	1,264	5
(2)バス・電車などの利用のしやすさは	3.33	7	1.32	1,267	
(3)幼稚園・保育所への近さは	3.34	6	1.14	992	
(4)小学校への近さは	3.57	**4**	1.27	1,151	**4**
(5)中学校への近さは	3.54	**5**	1.24	1,138	
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	22	1.29	1,264	
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72	23	1.09	1,125	
(8)体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56	**28**	1.04	1,045	**28**
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54	**29**	0.96	866	**25**
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	18	1.05	1,223	
(11)金融機関の便利さは	2.89	15	1.12	1,244	
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	**3**	0.92	1,242	**3**
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	16	1.00	957	
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	24	1.02	1,002	
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	19	1.03	1,110	
(16)生活道路の安全性は	2.62	**25**	1.03	1,252	**27**
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	**27**	1.04	1,240	**28**
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	**26**	1.06	1,247	**25**
(19)上水道の質や量は	2.92	14	0.94	1,117	
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	20	0.83	1,052	
(21)危険施設からの安全性は	3.24	11	0.87	910	
(22)自然災害からの安全性は	2.96	13	0.93	1,060	
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	21	0.82	1,083	
(24)空気のきれいさは	3.29	9	1.01	1,238	
(25)河川・水路などのきれいさは	2.86	17	0.91	1,193	
(26)家のまわりの静けさは	3.26	10	1.20	1,271	
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	**1**	1.04	1,271	**1**
(28)周辺の緑・自然環境は	3.62	**2**	0.95	1,267	**2**
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	12	0.79	1,257	
平均	3.03				

２．校区別に見た傾向

（１）太宰府小学校区

●周辺の緑・自然環境に評価　　+0.02（総合満足度の全体平均との差）

太宰府小学校区は、全体とほぼ同様の平均値で、「周辺の緑・自然環境」（3.73）、「市役所までの交通の便利さ」（3.56）、「ごみの収集回数や処理の状況」（3.55）の順に高い評価となっている。一方で最も低い評価だったのは「生活道路の安全性」（2.33）である。

７校区中に見ると、「市役所までの交通の便利さ」をはじめとした公共機関等への利便性に関する評価が他校区と比べて高い。一方で、「子供の遊び場などの利用のしやすさ」、「公園等の利用のしやすさ」、「生活道路の安全性」、「道路の広さや舗装の状況」、「危険施設からの安全性」、「自然災害からの安全性」は７校区中最も低い評価となっている。

前回調査と比較すると、特に「日常の買い物の便利さ」（前回との差：−0.68）で大きくスコアの値を落としており、総合満足度も前回と比べ 0.09 のマイナスとなっている。

表 3-4-2　生活環境について（太宰府小学校区）

問12 生活環境	全体	太宰府小				
	スコア平均値	スコア平均値	順位	標準偏差	全体平均との差	[redacted]
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	3.03		1.38	▲ 0.29	
(2)バス・電車などの利用のしやすさは	3.33	3.47		1.32	0.14	
(3)幼稚園・保育所への近さは	3.34	3.32		1.18	▲ 0.02	
(4)小学校への近さは	3.57	3.26		1.35	▲ 0.31	
(5)中学校への近さは	3.54	3.13		1.25	▲ 0.41	
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	[redacted]	**2**	1.19	0.77	
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72			1.06	0.47	
(8)体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56			1.07	0.32	
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54			0.90	0.37	
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	2.89		1.03	0.04	
(11)金融機関の便利さは	2.89	3.27		1.11	0.38	
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	3.55	**3**	0.99	▲ 0.03	
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	2.90		1.10	0.03	
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	2.46	**27**	0.99	▲ 0.23	
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	2.64	**25**	0.95	▲ 0.21	
(16)生活道路の安全性は	2.62	2.33	**29**	0.99	▲ 0.29	
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	2.49	**26**	1.01	▲ 0.07	
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	2.39	**28**	1.02	▲ 0.22	
(19)上水道の質や量は	2.92	2.92		0.92	▲ 0.01	
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	2.86		0.86	0.01	
(21)危険施設からの安全性は	3.24	3.16		0.87	▲ 0.08	
(22)自然災害からの安全性は	2.96	2.71		1.00	▲ 0.25	
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	2.79		0.76	▲ 0.04	
(24)空気のきれいさは	3.29	3.47	**5**	1.10	0.18	
(25)河川・水路などのきれいさは	2.86	2.81		0.89	▲ 0.05	
(26)家のまわりの静けさは	3.26	3.40		1.15	0.13	
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	3.55	**4**	1.14	▲ 0.10	
(28)周辺の緑・自然環境は	3.62	3.73	**1**	0.97	0.11	
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	3.20		0.83	0.02	
平均	3.03	3.04				

※校区別で最も高い値を■■で、最も低い値を白抜きで示している。

（２）太宰府東小学校区

●総合満足度は７校区の中で最も高い　　　+0.13（総合満足度の全体平均との差）

太宰府東小学校区は、全体より高い評価を示しており、「すべてを統合した満足感」は 3.31 で、７つの校区の中で最も高い評価となっている。「中学校への近さ」(4.05)、「日当たりや風通しの良さ」(3.82)、「ごみの収集回数や処理の状況」(3.74) の順に高い評価となっている。

７校区中に見ると、上記のほか「周辺の緑・自然環境」や「家のまわりの静けさ」、「空気のきれいさ」といった生活空間に関する項目の評価が高い傾向にある。一方、「道路の広さや舗装の状況」に対する評価は比較的低くなっている。

前回調査と比較すると、特に「河川・水路などのきれいさ」（前回との差：+0.39）で前回より上昇した一方で、「自然災害からの安全性」（-0.44）は評価を落としている。総合満足度スコアは前回比-0.01 とほとんど変わっていない。

表 3-4-3　生活環境について（太宰府東小学校区）

問12 生活環境	全体	太宰府東小			
	スコア平均値	スコア平均値	順位	標準偏差	全体平均との差
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	3.51		1.26	0.19
(2)バス・電車などの利用のしやすさは	3.33	3.48		1.32	0.15
(3)幼稚園・保育所への近さは	3.34	3.46		0.99	0.13
(4)小学校への近さは	3.57	3.67	5	1.23	0.11
(5)中学校への近さは	3.54	[illegible]	1	1.02	0.50
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	3.13		1.24	0.35
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72	2.95		1.14	0.23
(8)体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56	2.62	26	1.02	0.06
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54	2.71		0.87	0.17
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	3.08		1.09	0.23
(11)金融機関の便利さは	2.89	[illegible]		1.02	0.43
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	[illegible]	3	0.93	0.16
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	2.89		0.95	0.02
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	2.68	25	0.95	▲ 0.01
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	2.75		0.98	▲ 0.10
(16)生活道路の安全性は	2.62	2.61	28	1.05	▲ 0.01
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	2.61	27	1.01	0.05
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	2.46	29	1.09	▲ 0.16
(19)上水道の質や量は	2.92	2.93		0.88	0.01
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	2.79		0.76	▲ 0.05
(21)危険施設からの安全性は	3.24	3.17		0.81	▲ 0.07
(22)自然災害からの安全性は	2.96	3.00		0.81	0.04
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	2.83		0.87	0.00
(24)空気のきれいさは	3.29	[illegible]		0.94	0.24
(25)河川・水路などのきれいさは	2.86	[illegible]		0.90	0.19
(26)家のまわりの静けさは	3.26	[illegible]		1.12	0.33
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	3.82	2	1.04	0.17
(28)周辺の緑・自然環境は	3.62	[illegible]	4	0.89	0.12
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	[illegible]		0.80	0.13
平均	3.03	3.15			

※校区別で最も高い値を　　　で、最も低い値を 白抜き で示している。

（３）太宰府南小学校区

●幼稚園・保育所への近さに評価　　　-0.04（総合満足度の全体平均との差）

太宰府南小学校区は、「幼稚園・保育所への近さ」（3.87）、「小学校への近さ」（3.85）、「日当たりや風通しの良さ」（3.83）の順に高い評価となっている。

７校区中に見ると、「幼稚園・保育所への近さ」、「火災や延焼の危険からの安全性」、「犯罪や暴力からの安全性」、「日当たりや風通しの良さ」が最も高い。一方で、「市役所までの交通の便利さ」、「体育・スポーツ施設の利用のしやすさ」、「金融機関の便利さ」は最も低い評価となっている。

前回調査と比較すると、「日常の買い物の便利さ」（前回との差：-0.60）、「バス・電車などの利用のしやすさ」（-0.48）といった日常の利便性に関する項目では評価を落としている。総合満足度スコアの前回比は-0.05 とやや減少している。

表 3-4-4　生活環境について（太宰府南小学校区）

問12　生活環境	全体 スコア平均値	太宰府南小 スコア平均値	順位	標準偏差	全体平均との差
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	2.99		1.25	▲ 0.33
(2)バス・電車などの利用のしやすさは	3.33	3.14		1.34	▲ 0.19
(3)幼稚園・保育所への近さは	3.34	[redacted]	1	1.03	0.53
(4)小学校への近さは	3.57	3.85	2	1.16	0.28
(5)中学校への近さは	3.54	3.43		1.30	▲ 0.11
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	2.17	28	1.15	▲ 0.61
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72	2.38	26	1.05	▲ 0.34
(8)体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56	2.17	29	1.04	▲ 0.39
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54	2.27	27	1.04	▲ 0.27
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	2.68		0.95	▲ 0.17
(11)金融機関の便利さは	2.89	2.56	25	1.04	▲ 0.33
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	3.70	4	0.90	0.12
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	2.93		0.95	0.06
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	2.58		1.03	▲ 0.11
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	2.73		1.08	▲ 0.12
(16)生活道路の安全性は	2.62	2.71		1.00	0.08
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	2.66		1.03	0.09
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	2.65		1.05	0.04
(19)上水道の質や量は	2.92	2.95		0.86	0.03
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	[redacted]		0.70	0.06
(21)危険施設からの安全性は	3.24	3.30		0.81	0.06
(22)自然災害からの安全性は	2.96	3.19		0.80	0.23
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	[redacted]		0.77	0.18
(24)空気のきれいさは	3.29	3.44		1.03	0.14
(25)河川・水路などのきれいさは	2.86	2.86		0.84	0.00
(26)家のまわりの静けさは	3.26	3.39		1.25	0.12
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	[redacted]	3	1.01	0.18
(28)周辺の緑・自然環境は	3.62	3.65	5	0.94	0.03
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	3.14		0.79	▲ 0.04
平均	3.03	3.00			

※校区別で最も高い値を　　で、最も低い値を **白抜き** で示している。

（４）水城小学校区

●バス・電車などの利用のしやすさに評価　　　　+0.10（総合満足度の全体平均との差）

水城小学校区は、全体より高い平均値で、「バス・電車などの利用のしやすさ」(3.81)、「中学校への近さ」(3.77)、「小学校への近さ」(3.75) の順に高い評価となっている。

７校区中に見ると、「バス・電車などの利用のしやすさ」、「医療施設への距離や数など」、「野犬対策や害虫駆除等の状況」が最も高い。一方で、「街灯や夜道の安全性」、「犯罪や暴力からの安全性」、「河川・水路などのきれいさ」は最も低い評価となっている。

前回調査と比較すると、「自然災害からの安全性」(前回との差：-0.36)、「公園等の利用のしやすさ」(-0.35) で比較的満足度が落ちている。

総合満足度スコア (3.28) は今回調査では市全体と比べるとやや高いものの、前回結果と比べると-0.09 ポイント減少している。

表 3-4-5　生活環境について（水城小学校区）

問12 生活環境	全体 スコア平均値	水城小 スコア平均値	順位	標準偏差	全体平均との差
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	3.49		1.31	0.16
(2)バス・電車などの利用のしやすさは	3.33	[redacted]	1	1.24	0.48
(3)幼稚園・保育所への近さは	3.34	3.60		1.10	0.27
(4)小学校への近さは	3.57	3.75	3	1.21	0.18
(5)中学校への近さは	3.54	3.77	2	1.21	0.23
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	3.51		1.24	0.72
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72	3.07		1.08	0.35
(8)体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56	2.79		1.07	0.24
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54	2.82		1.05	0.28
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	[redacted]		1.04	0.28
(11)金融機関の便利さは	2.89	3.10		1.10	0.21
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	3.53		0.84	▲ 0.05
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	[redacted]		1.09	0.07
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	2.76		1.01	0.07
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	2.82		1.04	▲ 0.03
(16)生活道路の安全性は	2.62	2.67	26	1.07	0.05
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	2.40	29	1.11	▲ 0.17
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	2.59	28	1.05	▲ 0.02
(19)上水道の質や量は	2.92	2.85		0.98	▲ 0.07
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	2.84		1.07	▲ 0.00
(21)危険施設からの安全性は	3.24	3.34		1.02	0.10
(22)自然災害からの安全性は	2.96	3.08		1.01	0.12
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	2.66	27	0.90	▲ 0.17
(24)空気のきれいさは	3.29	3.18		1.01	▲ 0.12
(25)河川・水路などのきれいさは	2.86	2.75	25	1.00	▲ 0.11
(26)家のまわりの静けさは	3.26	2.97		1.22	▲ 0.29
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	3.62	4	1.05	▲ 0.03
(28)周辺の緑・自然環境は	3.62	3.61	5	0.98	▲ 0.01
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	3.28		0.80	0.10
平均	3.03	3.13			

※校区別で最も高い値を[redacted]で、最も低い値を白抜きで示している。

（５）水城西小学校区

●日常の買物の便利さに評価　　-0.06（総合満足度の全体平均との差）

水城西小学校区は、「日常の買い物の便利さ」（3.87）、「バス・電車などの利用のしやすさ」（3.68）、「ごみの収集回数や処理の状況」（3.62）の順に高い評価となっている。

７校区中に見ると、「日常の買い物の便利さ」が最も高い。一方で、「上水道の質や量」、「空気のきれいさ」、「家のまわりの静けさ」、「日当たりや風通しの良さ」、「周辺の緑・自然環境」といった評価が他と比べて低くなっている。

前回調査と比較すると、「河川・水路などのきれいさ」（前回との差：+0.30）、「バス、電車などの利用のしやすさ」（+0.27）で満足度が上昇している一方で、「自然災害からの安全性」（-0.47）の満足度は減少している。

総合満足度スコア（3.12）は今回調査では市全体と比べるとやや低いものの、前回結果と比べると+0.07 とやや増加している。

表 3-4-6　生活環境について（水城西小学校区）

問12 生活環境	全体	水城西小				
	スコア平均値	スコア平均値	順位	標準偏差	全体平均との差	[redacted]
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	[redacted]	1	1.31	0.55	[redacted]
(2)バス･電車などの利用のしやすさは	3.33	3.68	2	1.27	0.35	[redacted]
(3)幼稚園･保育所への近さは	3.34	3.52	4	1.13	0.19	[redacted]
(4)小学校への近さは	3.57	3.43		1.21	▲ 0.14	[redacted]
(5)中学校への近さは	3.54	3.37		1.18	▲ 0.18	[redacted]
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	2.31	29	1.14	▲ 0.48	[redacted]
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72	2.43	26	1.03	▲ 0.29	[redacted]
(8)体育･スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56	2.54		0.95	▲ 0.02	[redacted]
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54	2.41	27	0.81	▲ 0.13	[redacted]
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	2.79		1.02	▲ 0.06	[redacted]
(11)金融機関の便利さは	2.89	2.58		1.17	▲ 0.31	[redacted]
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	3.62	3	0.95	0.04	[redacted]
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	2.89		1.01	0.03	[redacted]
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	2.82		1.11	0.13	[redacted]
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	3.01		1.05	0.16	[redacted]
(16)生活道路の安全性は	2.62	2.53	25	1.06	▲ 0.09	[redacted]
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	2.41	28	1.12	▲ 0.16	[redacted]
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	2.56		1.08	▲ 0.05	[redacted]
(19)上水道の質や量は	2.92	2.83		1.06	▲ 0.10	[redacted]
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	2.87		0.85	0.03	[redacted]
(21)危険施設からの安全性は	3.24	3.25		0.90	0.00	[redacted]
(22)自然災害からの安全性は	2.96	2.91		0.98	▲ 0.05	[redacted]
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	2.70		0.85	▲ 0.13	[redacted]
(24)空気のきれいさは	3.29	3.00		0.90	▲ 0.29	[redacted]
(25)河川･水路などのきれいさは	2.86	2.78		0.89	▲ 0.08	[redacted]
(26)家のまわりの静けさは	3.26	2.80		1.13	▲ 0.46	[redacted]
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	3.50	5	1.06	▲ 0.15	[redacted]
(28)周辺の緑･自然環境は	3.62	3.42		0.94	▲ 0.19	[redacted]
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	3.12		0.80	▲ 0.06	[redacted]
平均	3.03	2.96				[redacted]

※校区別で最も高い値を　　　で、最も低い値を **白抜き** で示している。

（６）太宰府西小学校区

●小中学校への近さに評価で総合満足度も前回より上昇 +0.10（総合満足度の全体平均との差）

太宰府西小学校区は、全体より高い平均値となっており、前回より評価が最も増加している。「小学校への近さ」、「中学校への近さ」（ともに 4.04）、「日常の買い物の便利さ」（3.81）の順に高い評価となっている。

７校区中に見ると、「小学校への近さ」をはじめ 9 項目で満足度が最も高い。一方で、「文化施設の利用のしやすさ」、「福祉施設の利用のしやすさ」、「火災や延焼の危険からの安全性」は最も低い評価となっている。

前回調査と比較すると、「日常の買い物の便利さ」（前回との差：+0.43）などで満足度が上昇している一方、「空気のきれいさ」（−0.25）の満足度はやや減少している。

総合満足度スコア（3.28）は前回結果と比べると+0.18 増加している。

表 3-4-7　生活環境について（太宰府西小学校区）

問12 生活環境	全体 スコア平均値	太宰府西小 スコア平均値	順位	標準偏差	全体平均との差	
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	3.81	3	1.27	0.48	[redacted]
(2)バス・電車などの利用のしやすさは	3.33	3.19		1.24	▲ 0.14	[redacted]
(3)幼稚園・保育所への近さは	3.34	3.01		1.10	▲ 0.33	[redacted]
(4)小学校への近さは	3.57	[redacted]	1	1.04	0.48	[redacted]
(5)中学校への近さは	3.54	4.04	1	1.07	0.50	[redacted]
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	2.29	28	1.14	▲ 0.50	[redacted]
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72	2.33	27	0.98	▲ 0.39	[redacted]
(8)体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56	2.43	26	1.00	▲ 0.13	[redacted]
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54	2.24	29	0.91	▲ 0.30	[redacted]
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	2.92		1.10	0.06	[redacted]
(11)金融機関の便利さは	2.89	2.87		1.10	▲ 0.02	[redacted]
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	3.58	5	0.91	▲ 0.00	[redacted]
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	2.83		0.96	▲ 0.04	[redacted]
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	[redacted]		0.96	0.43	[redacted]
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	[redacted]		1.05	0.49	[redacted]
(16)生活道路の安全性は	2.62	[redacted]		1.03	0.33	[redacted]
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	[redacted]		1.04	0.29	[redacted]
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	[redacted]		1.03	0.42	[redacted]
(19)上水道の質や量は	2.92	[redacted]		0.98	0.19	[redacted]
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	2.79	25	0.79	▲ 0.05	[redacted]
(21)危険施設からの安全性は	3.24	[redacted]		0.84	0.13	[redacted]
(22)自然災害からの安全性は	2.96	[redacted]		0.88	0.23	[redacted]
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	2.98		0.83	0.15	[redacted]
(24)空気のきれいさは	3.29	3.18		0.97	▲ 0.12	[redacted]
(25)河川・水路などのきれいさは	2.86	2.83		0.87	▲ 0.03	[redacted]
(26)家のまわりの静けさは	3.26	3.35		1.16	0.08	[redacted]
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	3.68	4	0.99	0.03	[redacted]
(28)周辺の緑・自然環境は	3.62	3.56		0.93	▲ 0.06	[redacted]
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	3.28		0.80	0.10	[redacted]
平均	3.03	3.11				[redacted]

※校区別で最も高い値を [redacted] で、最も低い値を **白抜き** で示している。

（７）国分小学校区

●総合満足度は他の校区より低いが前回よりは上昇　　-0.19（総合満足度の全体平均との差）

国分小学校区は、全 29 項目のスコアの平均は 7 校区中最も低く、総合満足度スコア（2.99）も最も低くなっている。

「周辺の緑・自然環境」(3.64)、「日当たりや風通しの良さ」(3.58)、「ごみの収集回数や処理の状況」(3.52）の順に高い評価となっている。一方、7 校区中に見ると、総合満足度や「日常の買物の便利さ」など日常生活の利便性に関わるような項目で満足度が他の校区よりも低い傾向にある。

前回調査と比較すると、「市役所までの交通の便利さ」（前回との差：+0.70）など、比較的満足度が上昇している項目が多い。一方、「日当たりや風通しの良さ」の満足度は前回比-0.46 とやや減少している。

総合満足度スコア（3.28）は前回結果と比べると+0.07 で、やや増加している。

表 3-4-8　生活環境について（国分小学校区）

問12 生活環境	全体 スコア平均値	国分小 スコア平均値	順位	標準偏差	全体平均との差	[redacted]
(1)日常の買い物の便利さは	3.32	2.69		1.29	▲ 0.64	
(2)バス・電車などの利用のしやすさは	3.33	2.69		1.18	▲ 0.64	
(3)幼稚園・保育所への近さは	3.34	2.81		1.13	▲ 0.53	
(4)小学校への近さは	3.57	3.02		1.32	▲ 0.55	
(5)中学校への近さは	3.54	3.05		1.22	▲ 0.50	
(6)市役所までの交通の便利さは	2.79	2.51	26	1.08	▲ 0.28	
(7)文化施設の利用のしやすさは	2.72	2.64		0.98	▲ 0.08	
(8)体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	2.56	2.48	27	0.95	▲ 0.08	
(9)福祉施設の利用のしやすさは	2.54	2.45	29	0.89	▲ 0.09	
(10)医療施設への距離や数などは	2.85	2.58		0.98	▲ 0.27	
(11)金融機関の便利さは	2.89	2.65		0.99	▲ 0.24	
(12)ごみの収集回数や処理の状況は	3.58	3.52	3	0.88	▲ 0.06	
(13)野犬対策や害虫駆除等の状況は	2.87	2.82		0.93	▲ 0.05	
(14)子供の遊び場などの利用のしやすさは	2.69	2.46	28	0.94	▲ 0.23	
(15)公園等の利用のしやすさは	2.85	2.66		0.94	▲ 0.19	
(16)生活道路の安全性は	2.62	2.57		0.93	▲ 0.05	
(17)街灯や夜道の安全性は	2.57	2.55	25	0.99	▲ 0.02	
(18)道路の広さや舗装の状況は	2.61	2.58		1.02	▲ 0.03	
(19)上水道の質や量は	2.92	2.84		0.89	▲ 0.09	
(20)火災や延焼の危険からの安全性は	2.84	2.88		0.78	0.03	
(21)危険施設からの安全性は	3.24	3.20		0.84	▲ 0.04	
(22)自然災害からの安全性は	2.96	2.74		0.88	▲ 0.22	
(23)犯罪や暴力からの安全性は	2.83	2.89		0.82	0.06	
(24)空気のきれいさは	3.29	3.32	5	1.01	0.02	
(25)河川・水路などのきれいさは	2.86	2.98		0.88	0.13	
(26)家のまわりの静けさは	3.26	3.33	4	1.19	0.07	
(27)日当たりや風通しの良さは	3.64	3.58	2	0.96	▲ 0.07	
(28)周辺の緑・自然環境は	3.62	3.64	1	0.98	0.03	
(29)すべてを統合した満足感は	3.18	2.99		0.69	▲ 0.19	
平均	3.03	2.87				

※校区別で最も高い値を■■■で、最も低い値を**白抜き**で示している。

第5節　市・地区の将来について

１．太宰府市のイメージ（問 13）

●全体では、「歴史のまち」が７割強を占める。

太宰府市のイメージを見ると、「歴史のまち」が 77.3%と最も多く、次いで「住宅のまち」（5.9%）となっており、前回とほぼ同様の傾向にある。

属性別に見てもほぼ同様の傾向にあるが、小学校区別に見ると太宰府西小では「住宅のまち」が 11.9%と１割を超える。太宰府小では「文化のまち」が 9.5%と比較的高い。

図 3-5-1　太宰府市のイメージ

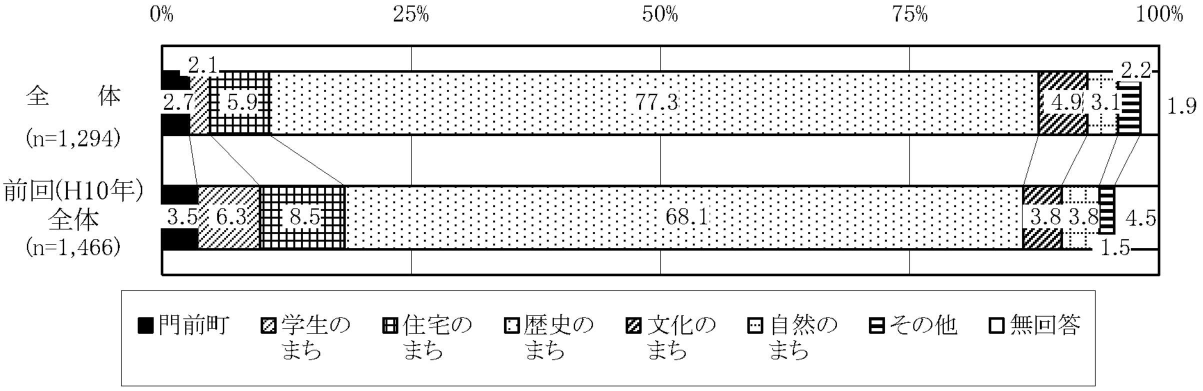


表 3-5-1　太宰府市のイメージ（小学校区別・性別・年代別）

(%)

		標本数	太宰府市のイメージ							
			門前町	学生のまち	住宅のまち	歴史のまち	文化のまち	自然のまち	その他	無回答
全　体		1,294	35	27	76	1,000	63	40	28	25
		100.0	2.7	2.1	5.9	77.3	4.9	3.1	2.2	1.9
小学校区別	太宰府小	199	6.0	3.0	3.0	72.9	9.5	1.0	3.0	1.5
	太宰府東小	139	5.0	2.9	7.9	76.3	2.2	0.7	2.2	2.9
	太宰府南小	146	2.1	4.8	8.9	72.6	4.1	4.8	2.1	0.7
	水城小	186	2.2	2.7	2.7	79.0	3.8	5.4	2.2	2.2
	水城西小	143	1.4	1.4	4.2	79.7	5.6	2.8	2.1	2.8
	太宰府西小	218	1.4	0.5	11.9	76.1	3.7	2.8	1.4	2.3
	国分小	193	1.0	0.5	3.1	85.0	3.1	4.7	1.6	1.0
性別	男性	569	3.9	1.6	7.4	74.3	5.1	3.3	2.8	1.6
	女性	711	1.8	2.4	4.5	80.0	4.8	2.7	1.7	2.1
年代別	29歳以下	148	－	1.4	4.7	79.1	9.5	1.4	2.0	2.0
	30歳代	214	1.9	2.3	5.1	85.0	2.3	0.9	0.9	1.4
	40歳代	165	1.8	3.6	1.8	77.0	8.5	1.2	3.0	3.0
	50歳代	268	1.5	2.2	5.6	80.2	4.9	1.9	3.0	0.7
	60歳代	302	5.3	1.0	8.6	70.9	4.0	5.3	2.6	2.3
	70歳以上	197	4.1	2.5	7.1	73.6	2.5	6.6	1.0	2.5

２．太宰府市の将来像（問 14）

●1 位「文教都市」、２位「住宅都市」、３位「観光都市」が上位３項目。

太宰府市が将来どんなまちになってほしいかたずねたところ、「教育と伝統に育まれた教育と文化のまち（文教都市）」が 49.8％と最も高く、次いで「住宅都市」（40.3％）、「観光都市」（38.5％）と続いている。一方で「産業都市」や「情報都市」は１割に満たない。なお、前回調査とは質問形態が異なるが、上位３項目の順位に変動はない。

校区別に見ると、いずれも「文教都市」が最も多いが、太宰府小と水城西小では「観光都市」の割合が「住宅都市」を上回っている。

年代別に見ると、70 歳代は「観光都市」が 45.2％と最も高いが、他の年齢層は「文教都市」が最も高い。

図 3-5-2　太宰府市の将来像

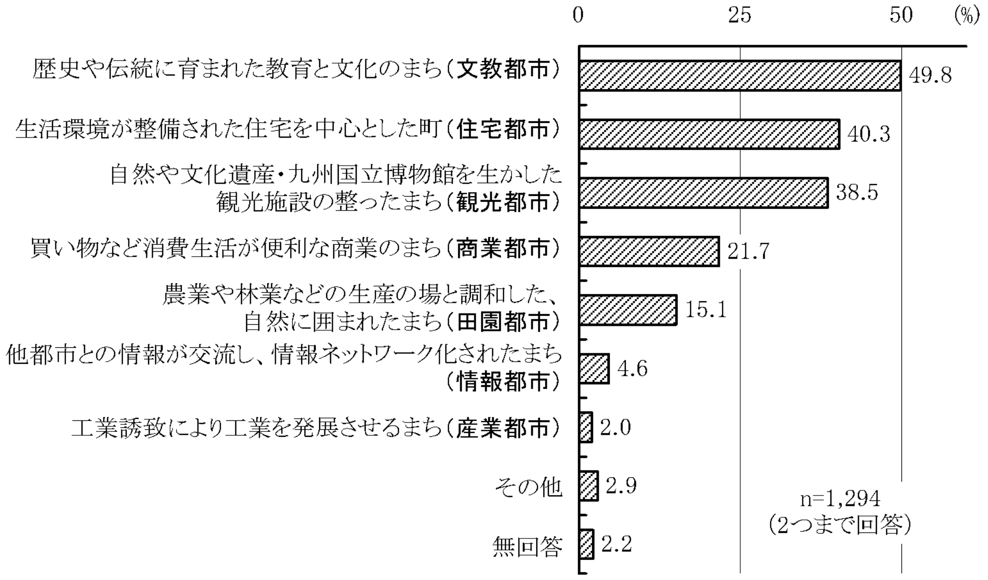


表 3-5-2　太宰府市の将来像（小学校区別・性別・年代別）

（%）

		標本数	太宰府市の将来像（回答は２つまで） 文教都市	住宅都市	観光都市	商業都市	田園都市	情報都市	産業都市	その他	無回答
全体		1,294	645	522	498	281	196	59	26	38	28
		100.0	49.8	40.3	38.5	21.7	15.1	4.6	2.0	2.9	2.2
小学校区別	太宰府小	199	58.8	37.7	40.7	15.6	14.1	6.0	3.0	4.0	1.5
	太宰府東小	139	48.2	41.7	35.3	18.7	15.8	5.0	2.2	3.6	3.6
	太宰府南小	146	50.0	43.2	42.5	17.8	17.8	4.1	2.7	2.7	0.7
	水城小	186	46.8	44.1	35.5	23.1	15.6	4.8	2.2	2.2	2.7
	水城西小	143	47.6	38.5	42.0	20.3	13.3	4.9	0.7	2.1	4.2
	太宰府西小	218	50.5	41.3	36.2	23.4	14.7	5.0	1.4	2.3	1.8
	国分小	193	45.1	40.4	36.3	29.0	14.0	3.6	2.1	3.6	1.6
性別	男性	569	52.2	39.2	40.8	18.6	13.2	5.1	1.9	1.8	1.9
	女性	711	48.4	41.2	36.3	24.2	16.7	4.2	1.8	3.9	2.3
年代別	29 歳以下	148	52.0	37.2	35.1	29.1	11.5	5.4	−	4.7	2.0
	30 歳代	214	48.1	37.9	39.3	25.2	16.4	2.8	4.7	4.7	1.9
	40 歳代	165	47.9	41.2	30.3	23.0	17.6	7.3	1.2	6.7	1.8
	50 歳代	268	56.0	39.2	40.3	18.3	15.7	4.5	0.7	1.9	1.9
	60 歳代	302	49.0	46.0	38.1	18.2	16.2	5.0	2.3	1.0	2.6
	70 歳以上	197	44.7	37.6	45.2	21.3	12.2	3.0	2.5	1.0	2.5
前回(H10年)全体		1,466	29.4	25.2	24.0	9.1	6.1	4.8	0.4	1.0	−

(注)前回調査では回答は1つのみ

３．住んでいる地区の現在の土地利用状況と、将来望ましい土地利用（問 15）

●現在、将来ともに「低層居住型」が最も多いが、将来としては「商業居住共存型」を望む声も増えてきている。

土地利用の現況は、「低層居住型」が 60.7％と最も高く、以下「郊外農村地区」（10.9％）、「商業居住共存型」（8.7％）などとなっている。前回調査とほぼ同様の傾向にある。

校区別に見ると、いずれも「低層居住型」が最も高く、太宰府東小（70.5％）では 7 割に達する。太宰府南小では「郊外農村地区」（19.2％）が約２割で、太宰府小では「商業居住共存型」（13.1％）が、また水城小では「都市居住型」（11.8％）がそれぞれ１割に達している。

性別・年代別に見ると、特に大きな差は見られない。

図 3-5-3　住んでいる地区の現在の土地利用状況

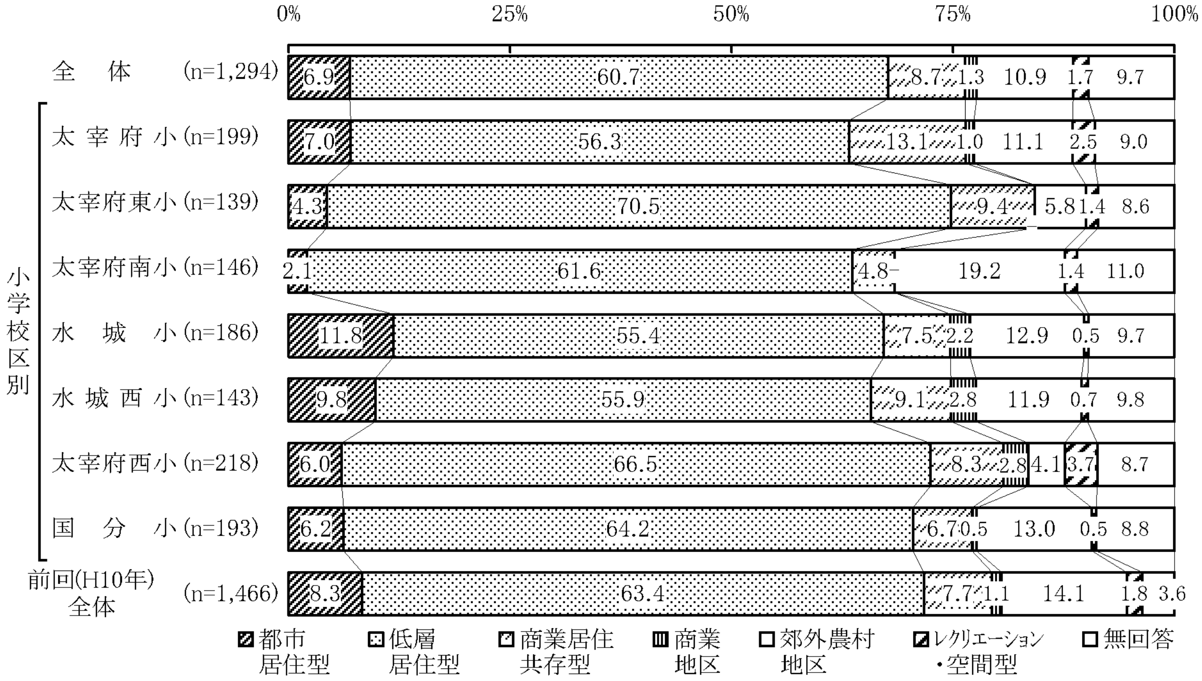


表 3-5-3　住んでいる地区の現在の土地利用状況（性別・年代別）

（％）

		標本数	都市居住型（都市中高層住宅を中心とした居住地区）	低層居住型（戸建て住宅を中心とした良好な居住環境のある地区）	商業居住共存型（商業と居住がある程度調和した地区）	商業地区（業務、商業、公共サービスを中心とした地区）	郊外農村地区（田畑、戸建て住宅を中心とした地区）	レクリエーション・空間型（自然休養や公園レクリエーションを中心とした地区）	無回答
全　体		1,294	89	786	113	17	141	22	126
		100.0	6.9	60.7	8.7	1.3	10.9	1.7	9.7
性別	男　性	569	7.4	62.2	8.4	1.8	10.4	1.8	8.1
	女　性	711	6.3	59.8	9.1	1.0	11.4	1.7	10.7
年代別	29 歳以下	148	4.7	66.9	10.1	1.4	8.1	2.7	6.1
	30 歳代	214	8.9	53.7	12.1	2.3	12.1	1.4	9.3
	40 歳代	165	8.5	54.5	9.7	2.4	13.9	－	10.9
	50 歳代	268	6.0	66.0	9.7	－	9.3	1.1	7.8
	60 歳代	302	5.6	59.9	6.0	1.3	12.9	2.3	11.9
	70 歳以上	197	8.1	62.9	6.1	1.0	8.1	2.5	11.2

将来の土地利用を見ると、「低層居住型」が 39.8％と最も高いが、現在の土地利用と比べると 20.9 ポイント低くなっている。現在に比べて将来の土地利用の割合が高くなっているものとしては、「商業居住共存型」（8.7％→21.6％）や「レクリエーション・空間型」（1.7％→12.1％）があげられる。

なお、前回調査と比べると、第２位と第３位が入れかわっており、第２位の「商業居住共存型」の増加がめだっている。

図 3-5-4 将来望ましい土地利用

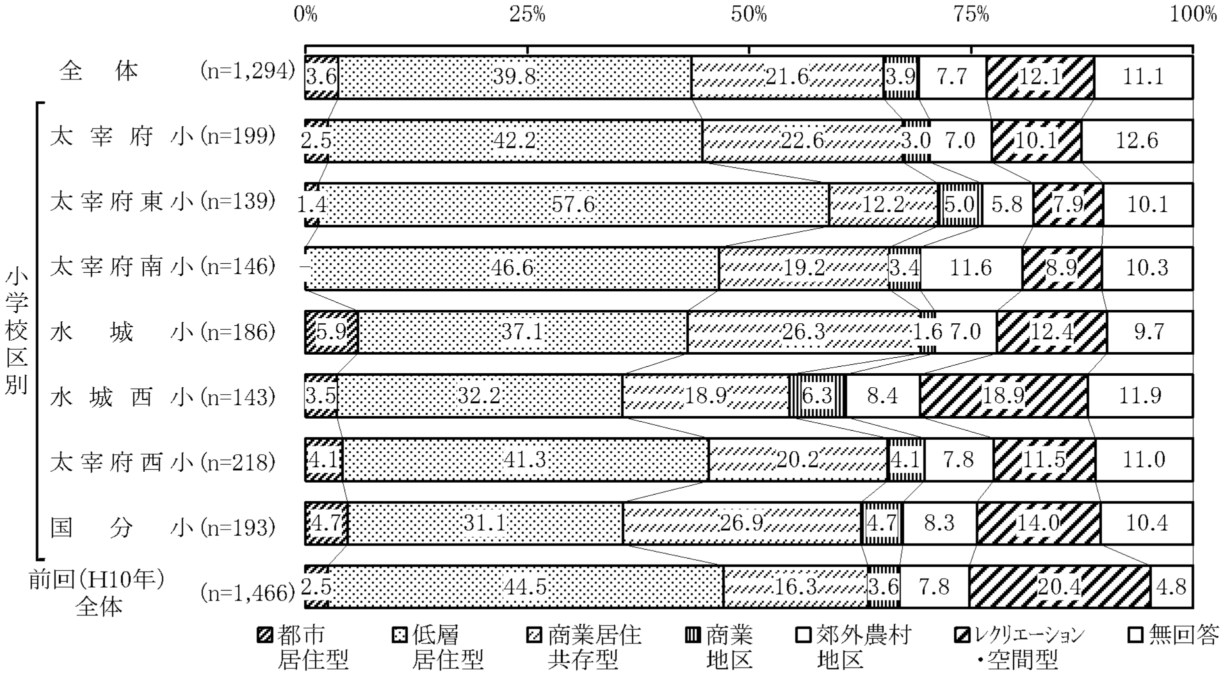


表 3-5-4 将来望ましい土地利用（性別・年代別）

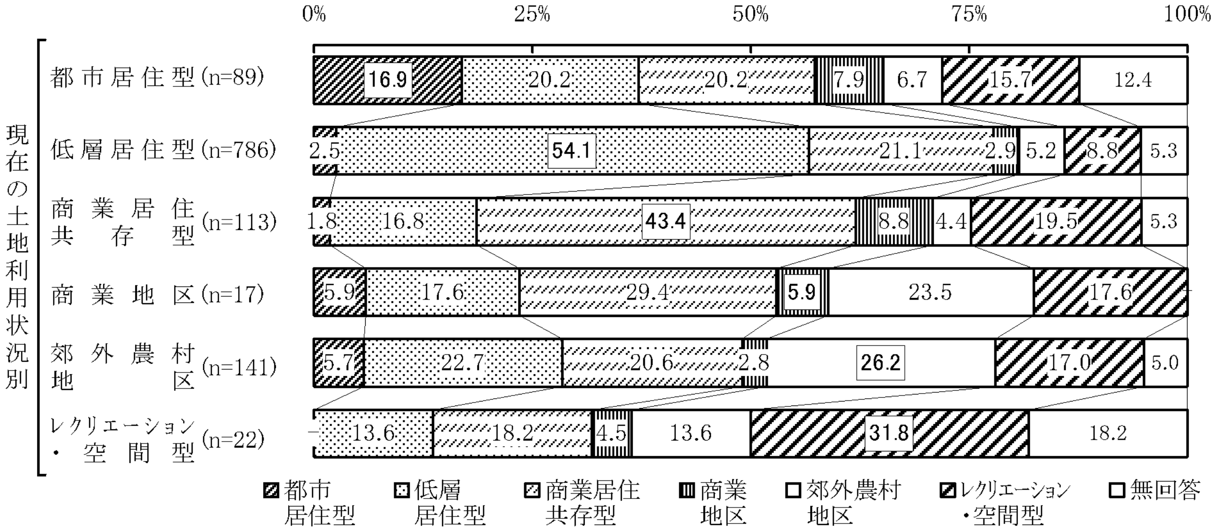
（%）

		標本数	将来望ましい土地利用						
			都市居住型（都市型の中高層住宅を中心とした居住地区）	低層居住型（戸建て住宅を中心とした良好な居住環境のある地区）	商業居住共存型（商業と居住がある程度調和した地区）	商業地区（業務、商業、公共サービスを中心とした地区）	郊外農村地区（田畑、戸建て住宅を中心とした地区）	レクリエーション・空間型（自然休養や公園レクリエーションを中心とした地区）	無回答
全 体		1,294	47	515	280	51	100	157	144
		100.0	3.6	39.8	21.6	3.9	7.7	12.1	11.1
性別	男 性	569	3.7	46.7	21.3	3.3	4.6	10.4	10.0
	女 性	711	3.7	34.3	21.8	4.5	10.3	13.6	11.8
年代別	29 歳 以 下	148	6.1	42.6	23.0	4.7	6.1	10.8	6.8
	30 歳 代	214	6.1	28.0	29.4	3.3	8.4	16.8	7.9
	40 歳 代	165	3.6	39.4	24.2	3.6	8.5	11.5	9.1
	50 歳 代	268	2.6	41.8	18.3	4.9	10.1	11.9	10.4
	60 歳 代	302	2.6	45.0	18.2	3.6	7.3	11.9	11.3
	70 歳 以 上	197	2.0	40.1	19.8	3.6	5.1	9.1	20.3

また、現在の土地利用状況別に、将来望ましい土地利用の姿を見てみると、現在は「低層居住型」という人の半数強（54.1%）、「商業居住共存型」だという人の 4 割強（43.4%）は、現在の土地利用を将来も望んでいることがわかる。

これに対し、現在は「都市居住型」あるいは「郊外農村地区」だという人の場合、将来望ましい土地利用としては現在の姿だけでなく「低層居住型」や「商業居住共存型」、「レクリエーション・空間型」にも一定程度の割合があるのが特徴的だといえる。

図 3-5-5　「現在の土地利用状況」別に見た「将来望ましい土地利用」



（注）太字は、現在と同じ土地利用状況を望んでいる人の割合を示す

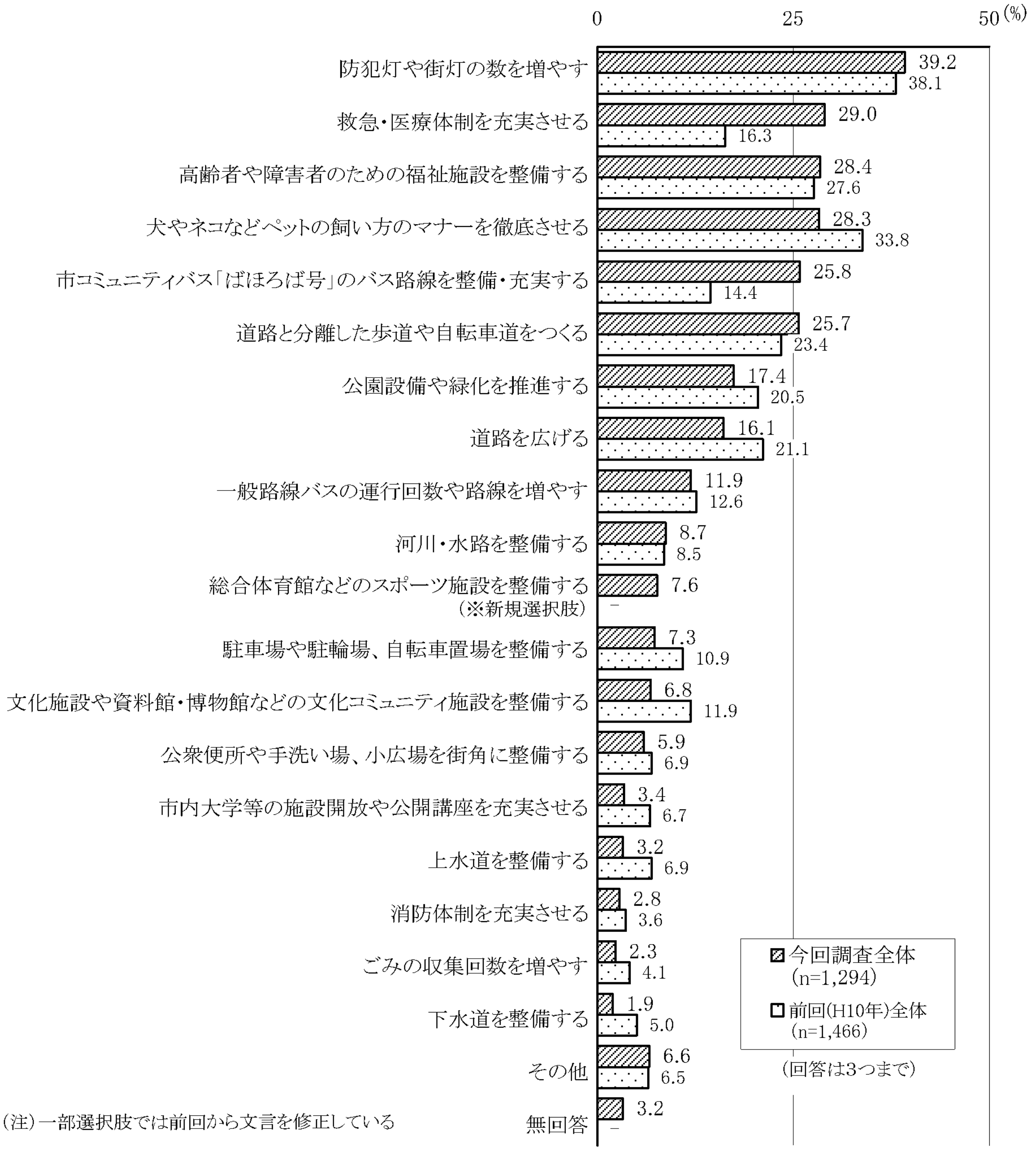
４．生活環境改善・充実に必要なこと（問 16）

●1 位は「防犯灯や街灯の数を増やす」だが、２位の「救急・医療体制を充実させる」が前回調査と比べて大幅に増加している。
●校区別に見ると、太宰府南小・国分小では「まほろば号」の整備・充実を望む声が高い。

生活環境を改善し、充実させるために必要なことは「防犯灯や街灯の数を増やす」が 39.2%と最も高く、以下「救急・医療体制を充実させる」（29.0%）、「高齢者や障害者のための福祉施設を整備する」（28.4%）などとなっている。前回２位の「犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる」（28.4%）は今回４番目に位置している。

前回に比べて、「救急・医療体制を充実させる」、「市コミュニティバス「まほろば号」のバス路線を整備・充実する」の割合が特に増加している。

図 3-5-6　生活環境改善・充実に必要なこと



（注）一部選択肢では前回から文言を修正している

小学校区別に見ると、各校区の第１位は太宰府西小が「高齢者や障害者のための福祉施設を整備する」(36.2%)、国分小が「市コミュニティバス「まほろば号」のバス路線を整備・充実する」(38.9%) となっており、他の校区では「防犯灯や街灯の数を増やす」が１位となっている（太宰府東小では「「まほろば号」のバス路線を整備・充実」が同率１位)。

全体で２位の「救急・医療体制を充実させる」は太宰府西小（35.8%）で比較的高く、７校区の中で唯一単独２位となっている。また、全体では６位である「道路と分離した歩道や自転車道をつくる」は太宰府小（32.7%）と水城西小（30.8%）で３割を超えており、それぞれ第２位となっているのが特徴的である。なお第３位以下では、「犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる」がすべての校区で５位以内に入っている。

表 3-5-5　生活環境改善・充実に必要なこと（小学校区別上位５項目）

[redacted]	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
[redacted]	防犯灯や街灯の数を増やす 40.2	道路と分離した歩道や自転車道をつくる 32.7	犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる 28.6	救急・医療体制を充実させる 25.6	道路を広げる 23.6
[redacted]	防犯灯や街灯の数を増やす 38.8	救急・医療体制を充実させる／高齢者や障害者のための福祉施設を整備する 30.2		犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる 27.3	道路と分離した歩道や自転車道をつくる 26.6
[redacted]	防犯灯や街灯の数を増やす／市コミュニティバス「ばほろば号」のバス路線を整備・充実する 35.6		犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる 33.6	高齢者や障害者のための福祉施設を整備する 30.1	救急・医療体制を充実させる 28.1
[redacted]	防犯灯や街灯の数を増やす 47.3	高齢者や障害者のための福祉施設を整備する 26.3	犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる 24.2	救急・医療体制を充実させる 23.7	道路と分離した歩道や自転車道をつくる／公園設備や緑化を推進する 22.6
[redacted]	防犯灯や街灯の数を増やす 41.3	道路と分離した歩道や自転車道をつくる 30.8	救急・医療体制を充実させる 29.4	高齢者や障害者のための福祉施設を整備する 28.7	犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる 26.6
[redacted]	高齢者や障害者のための福祉施設を整備する 36.2	救急・医療体制を充実させる 35.8	防犯灯や街灯の数を増やす 33.0	犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる 31.2	市コミュニティバス「ばほろば号」のバス路線を整備・充実する 28.9
[redacted]	市コミュニティバス「ばほろば号」のバス路線を整備・充実する 38.9	防犯灯や街灯の数を増やす 37.3	救急・医療体制を充実させる 31.1	高齢者や障害者のための福祉施設を整備する 30.1	犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる 26.9

その他の属性別で、まず性別に見ると、「防犯灯や街灯の数を増やす」は女性（42.1%）の方が男性（36.0%）よりやや高い。一方「道路を広げる」は男性（18.1%）の方が女性（14.3%）よりやや高くなっている。

年代別に見ると、29 歳以下、30～50 歳代は「防犯灯や街灯の数を増やす」が最も高く、60 歳代、70 歳以上は「犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる」が最も高い。50 歳代以上は「高齢者や障害者のための福祉施設を整備する」が３割を占めている。また、30～40 歳代、60 歳代では「道路と分離した歩道や自転車道をつくる」が比較的高くなっている。

表 3-5-6　生活環境改善・充実に必要なこと（小学校区別・性別・年代別）

（%）

生活環境を改善し、充実させるために必要なこと（回答は３つまで）

		標本数	防犯灯や街灯の数を増やす	救急・医療体制を充実させる	高齢者や障害者のための福祉施設を整備する	犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる	市コミュニティバス「まほろば号」のバス路線を整備・充実する	道路と分離した歩道や自転車道をつくる	公園設備や緑化を推進する	道路を広げる	一般路線バスの運行回数や路線を増やす	河川・水路を整備する	総合体育館などのスポーツ施設を整備する
全　体		1,294	507	375	367	366	334	332	225	208	154	113	98
		100.0	39.2	29.0	28.4	28.3	25.8	25.7	17.4	16.1	11.9	8.7	7.6
小学校区別	太宰府小	199	40.2	25.6	19.1	28.6	18.1	32.7	15.6	23.6	8.0	12.1	7.5
	太宰府東小	139	38.8	30.2	30.2	27.3	23.7	26.6	16.5	18.0	15.8	2.2	7.9
	太宰府南小	146	35.6	28.1	30.1	33.6	35.6	18.5	13.7	11.6	15.8	5.5	5.5
	水城小	186	47.3	23.7	26.3	24.2	14.0	22.6	22.6	16.1	10.2	16.7	7.5
	水城西小	143	41.3	29.4	28.7	26.6	23.8	30.8	21.7	23.1	5.6	7.7	9.8
	太宰府西小	218	33.0	35.8	36.2	31.2	28.9	22.5	12.8	6.9	14.2	5.0	11.0
	国分小	193	37.3	31.1	30.1	26.9	38.9	23.3	19.7	14.5	13.5	7.3	4.7
性別	男性	569	36.0	29.7	27.6	27.9	24.6	25.1	17.8	18.1	10.0	9.1	8.3
	女性	711	42.1	28.1	28.8	28.3	26.4	26.0	17.3	14.3	13.2	8.6	7.2
年代別	29歳以下	148	48.6	29.1	24.3	17.6	25.7	15.5	23.0	20.3	17.6	5.4	12.2
	30歳代	214	45.8	28.0	17.3	25.2	22.9	29.0	24.8	13.6	12.6	10.3	5.6
	40歳代	165	47.9	25.5	23.0	17.0	20.6	30.3	23.0	17.0	12.1	6.7	12.1
	50歳代	268	36.9	24.3	35.1	30.6	28.4	22.0	14.9	13.8	10.1	10.8	8.2
	60歳代	302	33.1	31.8	31.5	33.4	25.5	28.1	13.9	17.2	11.3	8.3	6.0
	70歳以上	197	29.9	35.0	34.0	38.1	30.5	26.9	9.1	16.2	10.2	9.1	4.1

		標本数	駐車場や駐輪場、自転車置場を整備する	文化施設や資料館・博物館などの文化コミュニティ施設を整備する	公衆便所や手洗い場、小広場を街角に整備する	市内大学等の施設開放や公開講座を充実させる	上水道を整備する	消防体制を充実させる	ごみの収集回数を増やす	下水道を整備する	その他	無回答
全　体		1,294	94	88	76	44	41	36	30	24	85	42
		100.0	7.3	6.8	5.9	3.4	3.2	2.8	2.3	1.9	6.6	3.2
小学校区別	太宰府小	199	9.0	8.0	5.5	5.0	3.5	4.0	2.5	2.5	7.5	3.5
	太宰府東小	139	1.4	7.9	3.6	3.6	2.2	3.6	1.4	1.4	8.6	5.0
	太宰府南小	146	6.2	5.5	8.9	2.7	2.7	3.4	－	2.1	4.8	4.8
	水城小	186	9.7	6.5	3.8	3.8	2.7	4.8	1.6	2.2	8.1	3.8
	水城西小	143	7.7	6.3	4.2	3.5	3.5	2.1	3.5	2.1	4.9	2.1
	太宰府西小	218	7.8	6.9	7.3	3.7	3.2	2.3	1.8	0.9	6.0	3.2
	国分小	193	7.3	6.7	5.7	1.6	4.1	0.5	3.6	1.0	7.3	1.0
性別	男性	569	7.0	8.4	7.4	3.3	4.2	2.1	3.9	2.3	5.8	3.0
	女性	711	7.6	5.6	4.5	3.5	2.4	3.4	1.1	1.5	7.2	3.5
年代別	29歳以下	148	12.8	10.1	4.7	1.4	1.4	－	2.0	0.7	6.1	3.4
	30歳代	214	12.1	6.1	6.5	3.7	4.2	2.3	2.3	2.8	6.5	2.3
	40歳代	165	4.2	7.9	4.2	3.0	2.4	3.0	1.2	1.2	15.2	2.4
	50歳代	268	7.5	7.8	5.6	5.2	4.1	1.9	3.7	3.0	6.0	2.6
	60歳代	302	4.0	6.0	6.3	3.6	3.3	5.0	2.0	1.7	5.3	4.3
	70歳以上	197	5.1	4.1	7.1	2.0	2.5	3.0	2.0	1.0	2.5	4.1

第６節　地域活動や行政活動への参加について

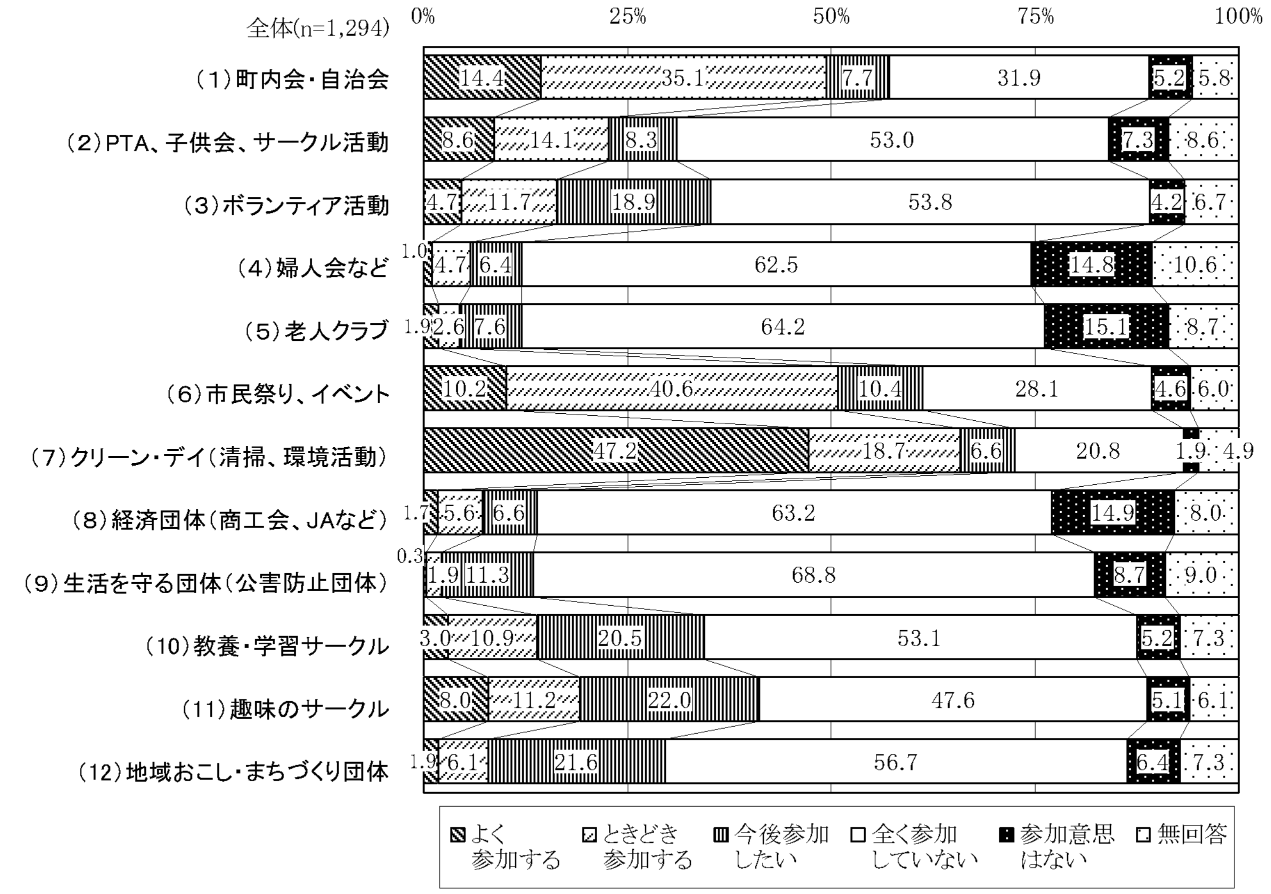
１．地域活動や行政活動の参加状況（問 17）

●前回同様「クリーン・デイ（清掃、環境活動）」への参加率が６割強。
●趣味や教養・学習サークル、地域おこし・まちづくり団体については、それぞれ約２割の回答者が「今後参加したい」としている。

地区における日常的に活動のある町内会や共同体などへの参加について聞いたところ、「よく参加する」という割合は「クリーン・デイ（清掃、環境活動）」が 47.2%と最も高く、以下は２番目に高い「町内会・自治会」（14.4%）でも１割台にとどまっている。

「クリーン・デイ」の「よく参加する」と「ときどき参加する」をあわせた割合（以下「参加率」とする）は 65.9%と６割を超え、前回調査の 63.7%から 2.2 ポイント増加している。以下、参加率が高い項目は「市民祭り・イベント」（50.8%）、「町内会・自治会」（49.5%）の順になっている。また、「今後参加したい」ものは、「趣味のサークル」（22.0%）、「地域おこし・まちづくり団体」（21.6%）、「教養・学習サークル」（20.5%）の順になっている。

図 3-6-1　地域活動や行政活動の参加状況



「よく参加する」と「ときどき参加する」をあわせた割合（参加率）を小学校区別に見ると、「クリーン・デイ」の参加率は国分小（73.1%）、太宰府南小（70.5%）で7割に達するほか、他の校区でもすべて6割台の参加率となっている。また、「市民祭り、イベント」については、水城小（59.2%）、水城西小（58.1%）、国分小（57.0%）で6割弱の参加率がある。一方「町内会・自治会」については、国分小の参加率が61.2%であるのに対し、水城小では42.5%と、地域間でやや参加率に開きが見られるのが現状である。

性別に見ると、「クリーン・デイ」（男性:60.6%、女性:70.4%）、「市民祭り、イベント」（男性:44.7%、女性:56.5%）、「町内会・自治会」（男性:44.6%、女性:53.7%）の上位3項目はいずれも女性の参加率が男性よりも10ポイント前後高くなっている。

年代別に見ると、「クリーン・デイ」の参加率は50～60歳代では8割を超えるのに対し、30歳代では44.4%、29歳以下では19.0%と、若年層の参加率は著しく減少している。一方、「市民祭り、イベント」は各年代とも4割以上の参加率がある。また「町内会・自治会」の参加率は50歳代以上の年齢層で6割前後に達している。

表 3-6-1　地域活動や行政活動の参加状況（参加率）

（%）

		標本数	地域活動や行政活動・参加率（「よく参加する」＋「ときどき参加する」）											
			(1) 町内会・自治会	(2) PTA、子供会、サークル活動	(3) ボランティア活動	(4) 婦人会など	(5) 老人クラブ	(6) 市民祭り、イベント	(7) クリーン・デイ（清掃、環境活動）	(8) 経済団体（商工会、JAなど）	(9) 生活を守る団体（公害防止団体）	(10) 教養・学習サークル	(11) 趣味のサークル	(12) 地域おこし・まちづくり団体
全体		1,294	49.5	22.7	16.4	5.7	4.5	50.8	65.9	7.3	2.2	13.9	19.2	8.0
小学校区別	太宰府小	199	52.8	30.2	19.6	4.5	7.5	52.8	68.3	13.0	4.5	17.1	24.6	11.0
	太宰府東小	139	49.7	21.6	17.2	10.1	5.0	46.8	66.2	7.2	2.1	15.8	20.2	8.6
	太宰府南小	146	45.2	13.7	18.5	6.8	4.8	45.9	70.5	4.1	1.4	11.7	14.4	6.2
	水城小	186	42.5	24.2	18.3	6.5	3.3	59.2	63.4	10.3	2.2	16.7	17.8	8.1
	水城西小	143	48.3	25.9	16.8	2.8	5.6	58.1	69.3	7.7	4.2	10.5	19.6	4.9
	太宰府西小	218	52.3	21.6	16.5	5.0	3.2	47.7	61.5	4.1	1.0	11.1	17.4	8.2
	国分小	193	61.2	27.4	13.4	6.7	3.1	57.0	73.1	7.3	1.6	18.2	23.8	9.4
性別	男性	569	44.6	15.3	16.5	3.3	4.7	44.7	60.6	5.5	2.4	8.1	12.5	7.7
	女性	711	53.7	29.0	16.4	7.4	3.7	56.5	70.4	8.7	2.1	18.7	24.7	8.3
年代別	29歳以下	148	14.2	6.7	5.5	1.4	－	41.2	19.0	2.0	－	4.1	6.1	1.4
	30歳代	214	31.3	28.0	8.0	1.4	－	46.7	44.4	6.0	1.0	13.1	12.1	2.3
	40歳代	165	50.9	45.4	16.9	4.8	1.2	57.6	70.3	8.5	1.2	16.3	15.7	4.8
	50歳代	268	59.7	23.9	18.3	8.6	1.4	51.9	80.6	7.9	1.8	13.1	16.5	7.8
	60歳代	302	62.5	18.3	20.8	8.3	3.3	58.3	81.8	8.2	3.9	17.5	28.8	15.2
	70歳以上	197	60.4	15.2	23.9	6.6	20.8	44.2	76.7	9.6	4.1	15.8	28.5	10.6

２．市役所と話し合ったり、考えたりする機会があれば参加するか（問 18）

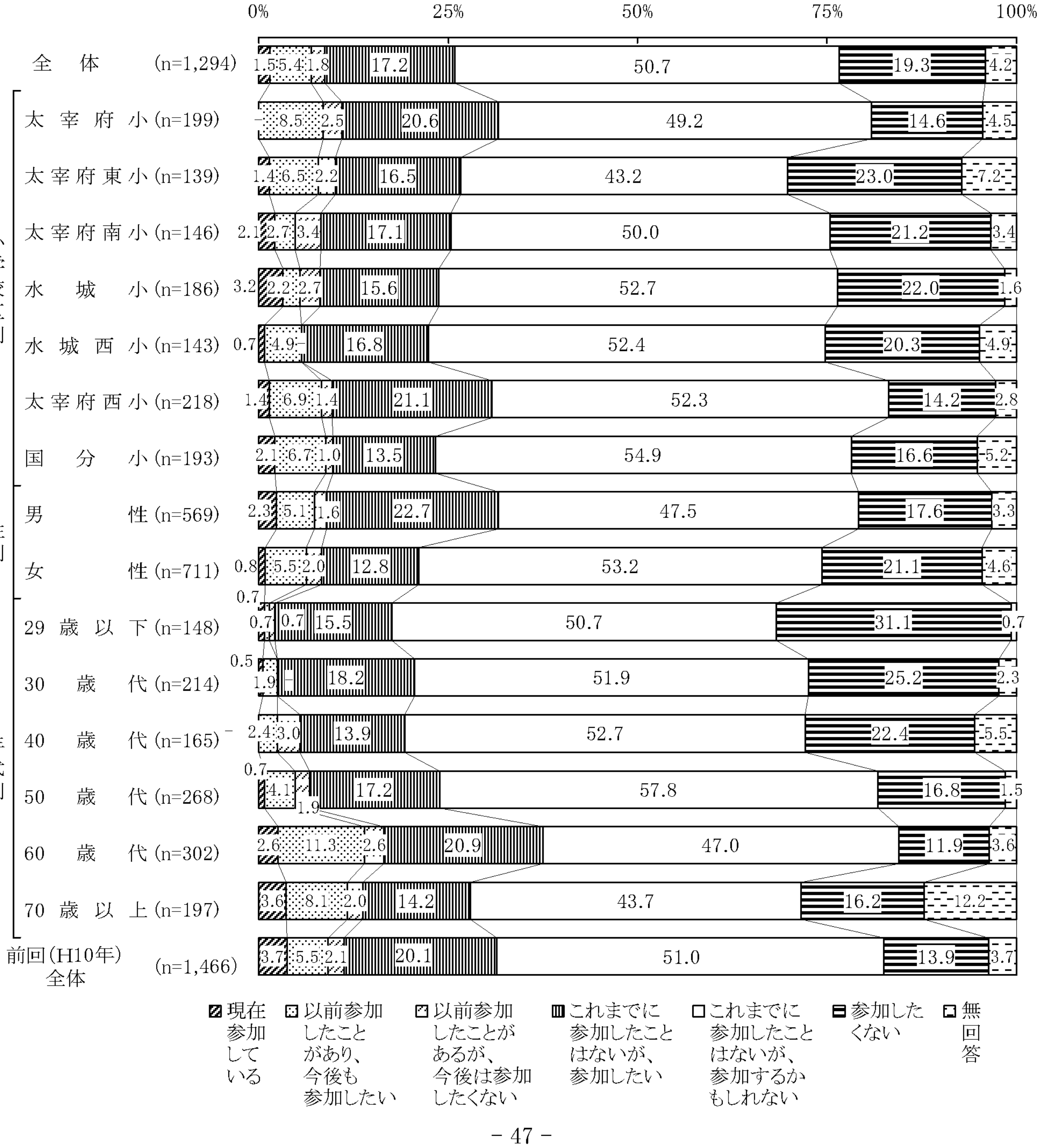
●今後「参加したい」という意見は合計で 22.6％で、前回の 25.6％からやや減少。
●明確に「参加したくない」と表明しているのは約２割で、約半数の回答者は「参加するかもしれない」と、今後の参加を意識している。

「地区のまちづくりについて、市役所と話し合ったり、考えたりする機会があれば参加するか」という質問に対し、「現在参加している」（1.5%）と「以前参加したことがあり、今後も参加したい」（5.4%）の合計は 6.9%である。逆に、「以前参加したことがあるが、今後は参加したくない」（1.8%）、「参加したくない」（19.3%）をあわせると 21.1%となっている。

小学校別に見ると、「参加したくない」は太宰府西小、太宰府小で他と比べてやや低い。

性別に見ると、男性は「これまでに参加したことはないが、参加したい」（22.7%）が女性（12.8%）と比べ高い。また年代別に見ると、『参加したい』は 60 歳代で３割を超える。

図 3-6-2　市役所と話し合ったり、考えたりする機会があれば参加するか



３．参加したくない理由（問 18 付問１）

●理由の１位は「市役所がそもそも意見を聞いてくれるとは思えない」となっている。

まちづくりの参加について「以前参加したことがあるが、今後は参加したくない」(23 人)、「参加したくない」(250 人）と回答した人に、その理由を聞いたところ、「皆の前で意見を言うのが苦手である」(38.1%）が最も多くなっている。前回調査では 1 位だった「市役所がそもそも意見を聞いてくれるとは思えない」は、10 年前の 31.9%から今回は 28.2%とやや減少している。その他、「要望しても、財政的に無理だと思う」(20.9%）は前回から９ポイント増加し、「話し合いをするより投書など別の方法で市役所に意向を伝えたい」(18.7%）は前回から 9.4 ポイント減少している。

性別に見ると、男性は「市役所がそもそも意見を聞いてくれるとは思えない」が 35.8%、女性は「皆の前で意見を言うのが苦手である」が 43.3%と最も多い。また年代別に見ると、40 歳代以下では「仕事や家事の都合で参加できない時間ばかりである」が４割を超える。

図 3-6-3　参加したくない理由

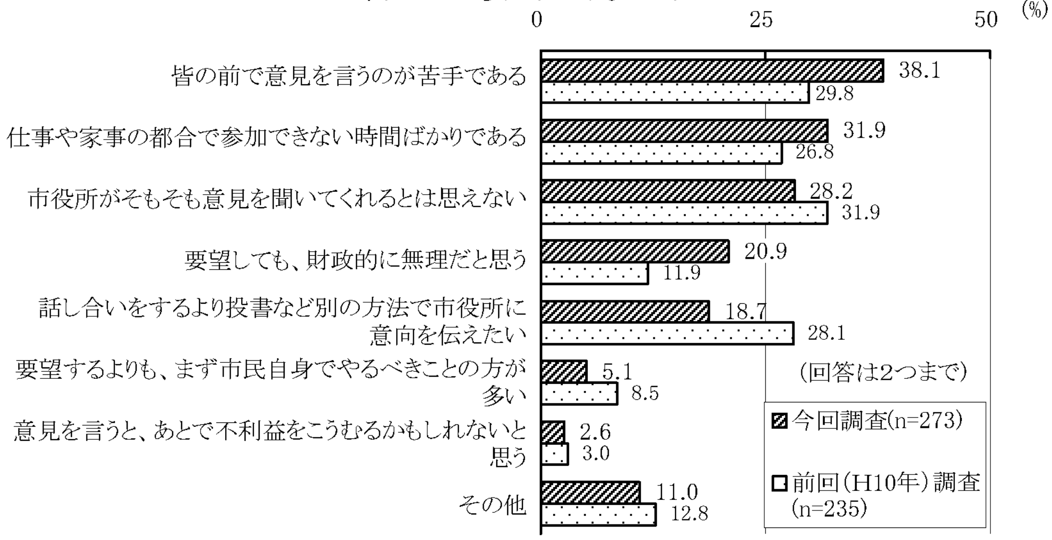


表 3-6-2　参加したくない理由（性別・年代別）

(%)

		標本数	参加したくない理由（回答は２つまで） 皆の前で意見を言うのが苦手である	仕事や家事の都合で参加できない時間ばかりである	市役所がそもそも意見を聞いてくれるとは思えない	要望しても、財政的に無理だと思う	話し合いをするより投書など別の方法で市役所に意向を伝えたい	要望するよりも、まず市民自身でやるべきことの方が多い	意見を言うと、あとで不利益をこうむるかもしれないと思う	その他	無回答
全体		273	104	87	77	57	51	14	7	30	6
		100.0	38.1	31.9	28.2	20.9	18.7	5.1	2.6	11.0	2.2
性別	男性	109	30.3	31.2	35.8	21.1	11.9	5.5	1.8	7.3	2.8
	女性	164	43.3	32.3	23.2	20.7	23.2	4.9	3.0	13.4	1.8
年代別	29 歳以下	47	34.0	42.6	17.0	14.9	10.6	4.3	－	17.0	4.3
	30 歳代	54	37.0	46.3	29.6	22.2	16.7	1.9	1.9	7.4	－
	40 歳代	42	33.3	47.6	28.6	21.4	23.8	2.4	2.4	9.5	2.4
	50 歳代	50	56.0	24.0	34.0	14.0	18.0	4.0	4.0	4.0	2.0
	60 歳代	44	38.6	15.9	38.6	29.5	20.5	6.8	4.5	6.8	2.3
	70 歳以上	36	25.0	8.3	19.4	25.0	25.0	13.9	2.8	25.0	2.8

第７節　行政について

１．太宰府市の市政への関心度（問 19）

●市政に『関心あり』が 71.4%。一方 29 歳以下では 45.2%が『関心なし』。

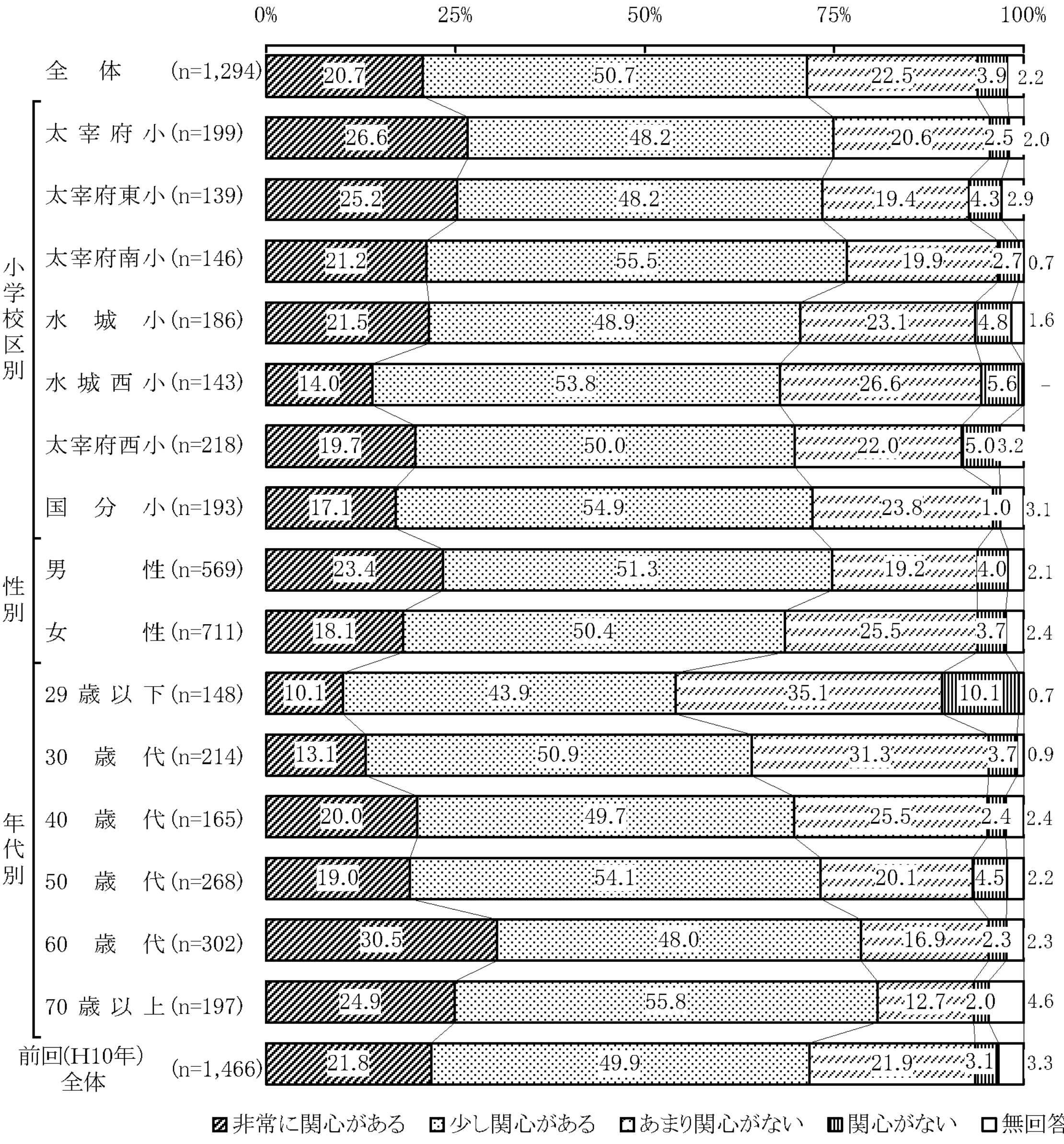
市政への関心度は、「非常に関心がある」（20.7%）、「少し関心がある」（50.7%）となっており、『関心あり』は 71.4%に達しており、前回調査とほぼ同様の傾向である。

小学校区別に見ると、『関心あり』は太宰府南小（76.7%）でやや高く、水城西小（67.8%）でやや低い。

性別に見ると、女性に比べて男性の方が市政への関心は高い傾向にある。

年代別に見ると、年齢層が高くなるほど関心も高くなっており、70 歳以上では『関心あり』が８割を超えるのに対し、29 歳以下では 54.0%にとどまっている。一方『関心なし』は 29 歳以下では４割を超えている。

図 3-7-1　市政への関心度



	関心あり	関心なし
全体	71.4	26.4
太宰府小	74.8	23.1
太宰府東小	73.4	23.7
太宰府南小	76.7	22.6
水城小	70.4	27.9
水城西小	67.8	32.2
太宰府西小	69.7	27.0
国分小	72.0	24.8
男性	74.7	23.2
女性	68.5	29.2
29 歳以下	54.0	45.2
30 歳代	64.0	35.0
40 歳代	69.7	27.9
50 歳代	73.1	24.6
60 歳代	78.5	19.2
70 歳以上	80.7	14.7
前回(H10年)全体	71.7	25.0

２．市役所の仕事内容を知る方法（問 20）

● 「太宰府市広報・ホームページ」が圧倒的多数を占める。

市が行っている仕事の内容を知る方法は、「太宰府市広報・ホームページで」が 80.2％と圧倒的多数を占めている。前回（84.9％）とほぼ同様の結果である。次いで「新聞・テレビで」（4.8％）、「町内会・自治会を通じて」（4.5％）などとなっている。

小学校、性別、年代別に見ても、ほぼ同様の傾向であるが、年代別に見ると、29 歳以下では「太宰府市広報・ホームページで」の割合が 71.6％と他の年齢層に比べて低い一方で、「新聞・テレビ」の割合が 8.8％とやや高い。

図 3-7-2　市役所の仕事内容を知る方法

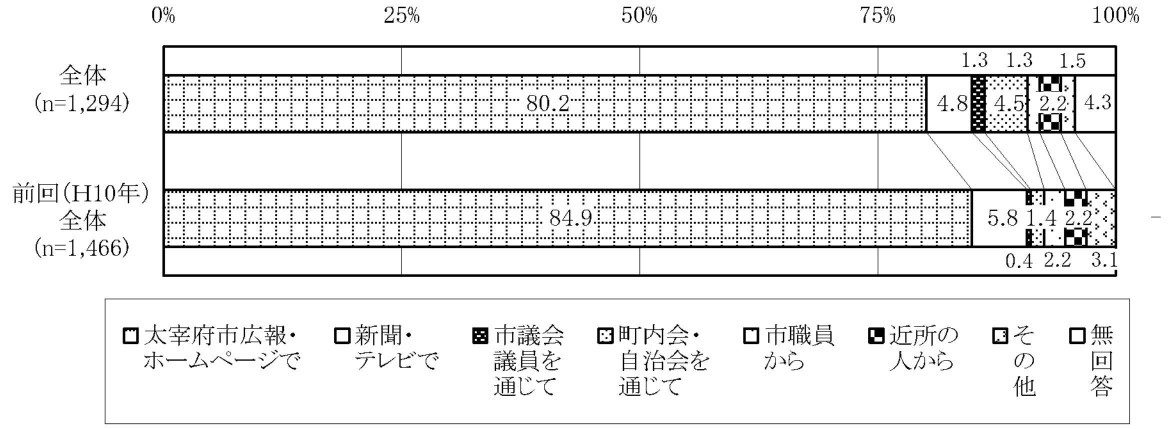


表 3-7-1　市役所の仕事内容を知る方法（小学校区別・性別・年代別）

（％）

		標本数	市役所の仕事内容を知る方法：太宰府市広報・ホームページで	新聞・テレビで	市議会議員を通じて	町内会・自治会を通じて	市職員から	近所の人から	その他	無回答
全体		1,294	1,038	62	17	58	17	28	19	55
		100.0	80.2	4.8	1.3	4.5	1.3	2.2	1.5	4.3
小学校区別	太宰府小	199	79.9	4.0	2.0	3.5	2.5	2.5	2.0	3.5
	太宰府東小	139	83.5	3.6	0.7	5.8	－	－	1.4	5.0
	太宰府南小	146	83.6	2.7	2.1	3.4	2.1	1.4	0.7	4.1
	水城小	186	83.3	4.3	0.5	1.6	2.2	2.2	2.2	3.8
	水城西小	143	79.0	5.6	1.4	4.9	1.4	3.5	0.7	3.5
	太宰府西小	218	80.3	5.0	0.9	6.0	0.9	2.8	0.9	3.2
	国分小	193	76.2	7.3	1.0	4.7	0.5	2.6	1.6	6.2
性別	男性	569	78.2	5.6	1.6	4.9	1.6	3.0	1.4	3.7
	女性	711	82.0	4.2	1.0	4.1	1.1	1.4	1.5	4.6
年代別	29歳以下	148	71.6	8.8	1.4	2.0	2.7	4.1	6.8	2.7
	30歳代	214	78.5	6.1	0.9	1.9	1.9	4.7	2.8	3.3
	40歳代	165	81.8	7.9	0.6	3.0	0.6	1.2	－	4.8
	50歳代	268	84.0	3.0	0.7	4.5	1.9	1.9	0.4	3.7
	60歳代	302	81.8	2.3	2.0	7.6	0.7	1.0	0.3	4.3
	70歳以上	197	79.7	4.1	2.0	5.6	0.5	1.0	0.5	6.6

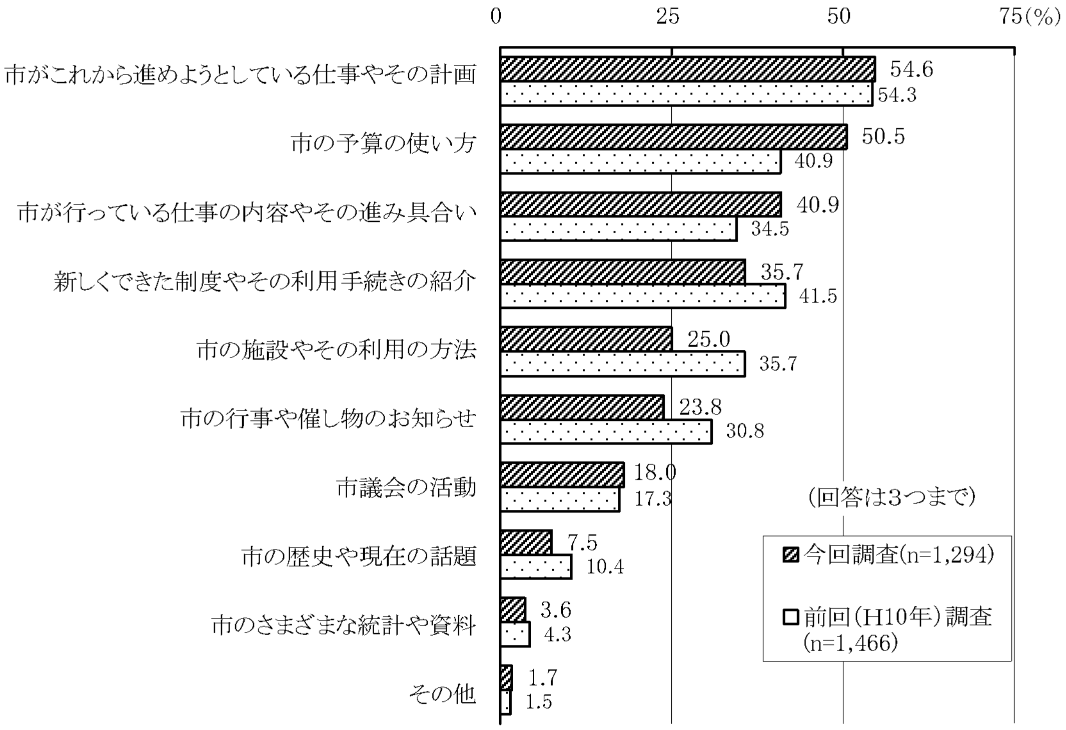
３．最も知りたい市役所の仕事内容や計画（問 21）

●「市がこれから進めようとしている仕事やその計画」が最も高いが、前回と比べ「市の予算の使い方」や「市が行っている仕事の内容やその進み具合い」に対する市民の関心が高まってきている。

最も知りたい市の仕事内容や計画は、「市がこれから進めようとしている仕事やその計画」が 54.6%と最も多く、次いで「市の予算の使い方」(50.5%)、「市が行っている仕事の内容やその進み具合い」(40.9%) などとなっている。

前回調査と比較すると、「市がこれから進めようとしている仕事やその計画」の割合はほとんど変化がないが、「市の予算の使い方」は今回 9.6 ポイント、「市が行っている仕事の内容やその進み具合い」といった具体的な中身についても 6.4 ポイント増加している。４位以下の「新しくできた制度やその利用手続きの紹介」や「市の施設やその利用の方法」などの割合は前回と比べ減少している。

図 3-7-3　最も知りたい市役所の仕事内容や計画



性別に見ると、行政運営の中身に関連する上位３項目はいずれも、男性の方が女性より割合が高くなっている。一方、「新しくできた制度やその利用手続きの紹介」など４位以下のお知らせ・紹介関連の項目は、女性の方が男性より割合が高くなっている。「市議会の活動」は男性の方が女性よりやや高い。

年代別に見ると、「市がこれから進めようとしている仕事やその計画」は 60 歳代（61.9%）で特に高い。一方「市の予算の使い方」は、29 歳以下（58.1%）を筆頭に、年齢が若いほど割合が高くなっている。また、「新しくできた制度やその利用手続きの紹介」は子育ての中心世代でもある 30 歳代（43.0%）、40 歳代（42.4%）で比較的高い。

また、太宰府市政への関心度別に見ると、上位３項目は関心度が高くなるにつれ割合も高くなっている。特に、市政について「非常に関心がある」という人では、「市がこれから進めようとしている仕事やその計画」(63.4%)、「市の予算の使い方」(62.3%) の割合が 6 割を超えている。

表 3-7-2　最も知りたい市役所の仕事内容や計画

(%)

		標本数	最も知りたい市役所の仕事内容や計画（回答は３つまで）：市がこれから進めようとしている仕事やその計画	市の予算の使い方	市が行っている仕事の内容やその進み具合い	新しくできた制度やその利用手続きの紹介	市の施設やその利用の方法	市の行事や催し物のお知らせ	市議会の活動	市の歴史や現在の話題	市のさまざまな統計や資料	その他	無回答
全体		1,294	707	653	529	462	323	308	233	97	46	22	47
		100.0	54.6	50.5	40.9	35.7	25.0	23.8	18.0	7.5	3.6	1.7	3.6
性別	男性	569	59.8	53.6	45.0	29.0	19.9	15.8	21.1	8.3	4.2	1.9	3.2
	女性	711	51.2	47.8	38.0	41.1	29.3	30.5	15.3	6.9	3.1	1.5	3.9
年代別	29歳以下	148	48.6	58.1	37.8	36.5	23.0	23.0	15.5	7.4	4.7	2.7	2.0
	30歳代	214	54.7	57.5	44.4	43.0	27.6	24.3	9.3	7.5	4.7	0.5	1.9
	40歳代	165	53.9	55.2	39.4	42.4	27.3	19.4	12.7	4.8	1.2	3.6	3.6
	50歳代	268	57.8	48.1	44.4	34.3	28.0	26.9	14.9	10.4	4.5	1.5	2.6
	60歳代	302	61.9	46.0	42.7	31.5	22.8	22.8	25.8	6.0	2.3	1.7	3.6
	70歳以上	197	44.2	43.1	33.0	29.9	20.8	24.9	25.9	8.1	4.1	1.0	8.1
市政への関心度別	非常に関心がある	268	63.4	62.3	48.5	25.7	16.4	14.9	31.3	5.2	4.1	3.7	1.1
	少し関心がある	656	57.8	49.5	42.7	39.3	25.5	26.2	16.3	8.2	3.7	0.8	1.1
	あまり関心がない	291	45.7	47.4	33.3	38.5	35.4	28.2	12.4	9.6	2.7	1.7	2.7
	関心がない	50	40.0	40.0	32.0	38.0	18.0	24.0	12.0	2.0	4.0	4.0	14.0

4．今の市政に市民の意見が反映されていると思うか（問 22）

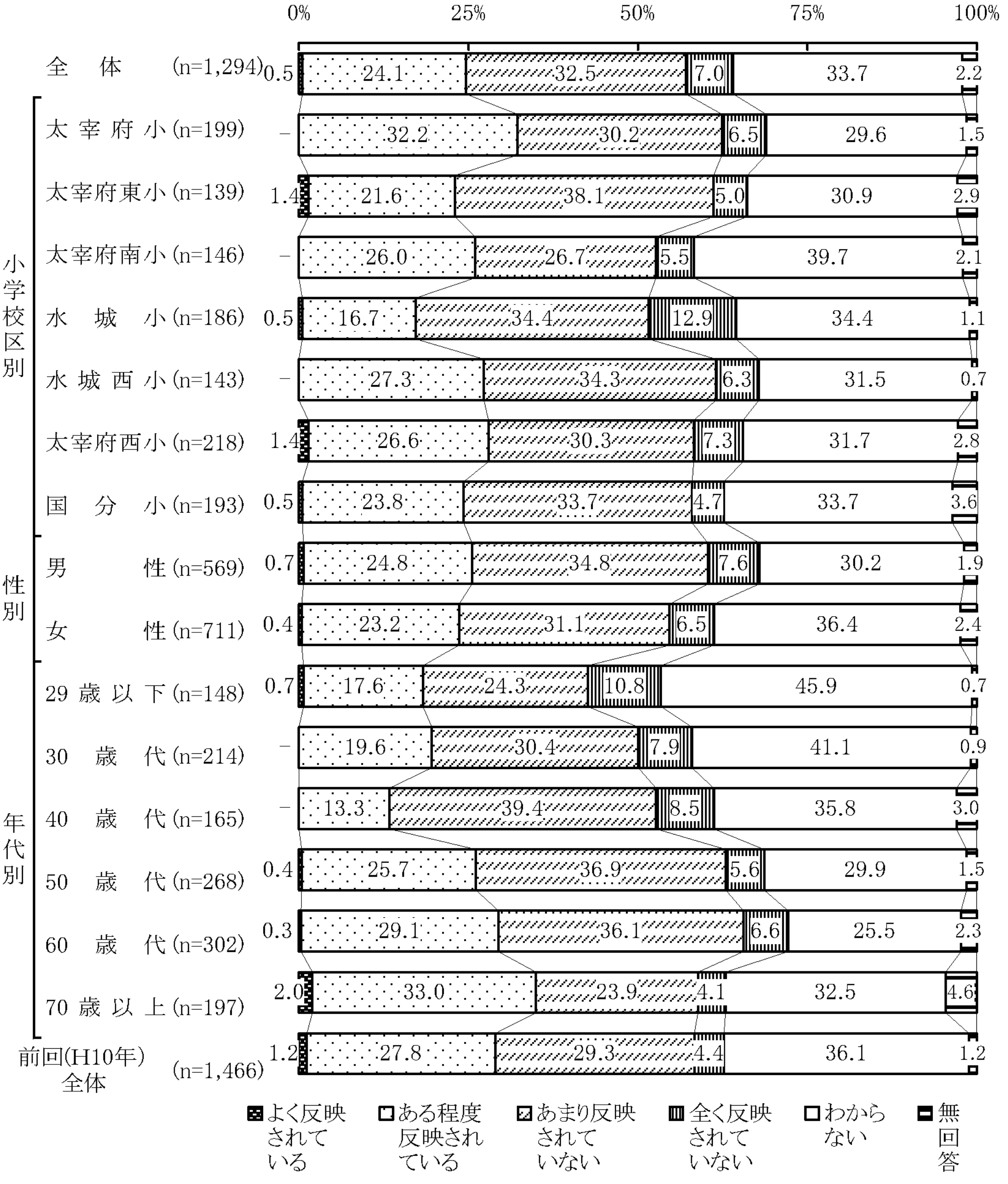
●市政に市民の意見が『反映されている』は 24.6%で、『反映されていない』の 39.5%を下回っている。

今の市政に市民意見が『反映されている』（「よく反映されている」0.5%＋「ある程度反映されている」24.1%）という割合は 24.6%で、『反映されていない』（「あまり反映されていない」32.5%＋「全く反映されていない」7.0%）の 39.5%を下回っている。なお前回は、前者は 29.0%、後者は 33.7%であった。

小学校区別に見ると、『反映されていない』は水城小で 47.3%と特に高い。また性別に見ると、『反映されている』『反映されていない』ともに男性の方が女性よりやや割合が高い。

年代別に見ると、『反映されていない』は 40 歳代（47.9%）で特に高くなっている。一方で 70 歳以上では『反映されている』（35.0%）が『反映されていない』（28.0%）を上回っている。

図 3-7-4　今の市政に市民の意見が反映されていると思うか



	反映されている	反映されていない
全体	24.6	39.5
太宰府小	32.2	36.7
太宰府東小	23.0	43.1
太宰府南小	26.0	32.2
水城小	17.2	47.3
水城西小	27.3	40.6
太宰府西小	28.0	37.6
国分小	24.3	38.4
男性	25.5	42.4
女性	23.6	37.6
29歳以下	18.3	35.1
30歳代	19.6	38.3
40歳代	13.3	47.9
50歳代	26.1	42.5
60歳代	29.4	42.7
70歳以上	35.0	28.0
前回(H10年)全体	29.0	33.7

５．自由意見

●「まほろば号」などの公共交通、道路・歩道に関する意見が特に多い。

最後に、まちづくりについて自由に意見を記入してもらったところ、489 人の回答者から900 件弱の意見が寄せられた。そこで、第四次太宰府市総合計画・後期基本計画の施策の体系をもとにキーワードを抽出し、自由意見内容をおおまかに分類したのが図 3-7-5 である。

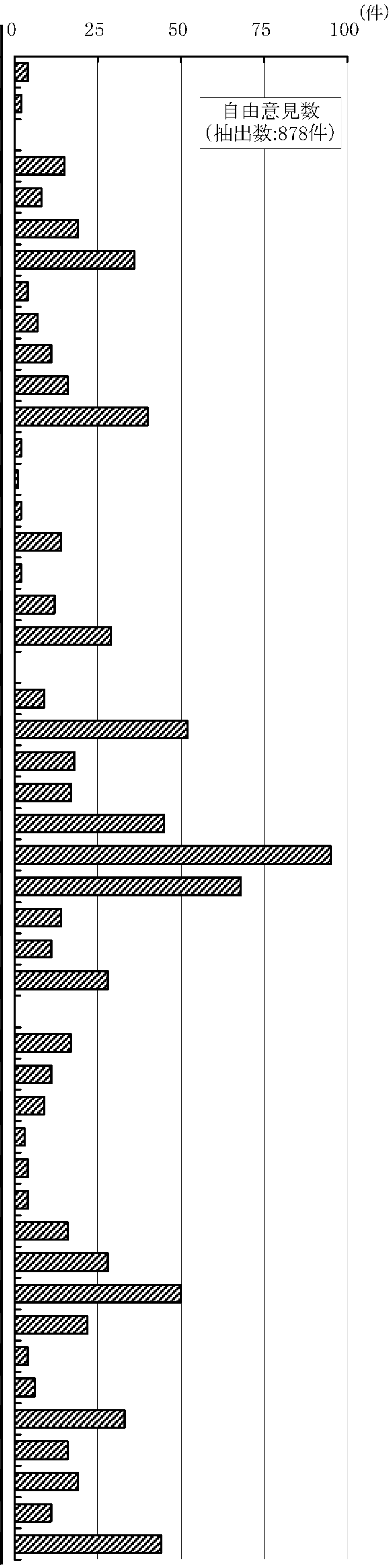
これによると、特に意見が多かったのは「交通体系の整備」関連施策にかかわるもので、中でも「コミュニティバス（まほろば号）がすごく利用しにくいです（20 歳代・女性)」といった公共交通に関するものや、「五条駅周辺の道路整備。歩道が狭くて危険（40 歳代・女性)」といった道路・歩道の整備に関する声が特に多くあがっている。

また、「近くに安心して遊べる公園が少ない（30 歳代・女性)」、「太宰府の自然環境は素晴らしい。これは是非守っていってもらいたい（70 歳代・男性)」といった、緑の保全や緑の創造、特に公園に関する意見も非常に多く寄せられている。

その他、市の財政に対する意見や子育て支援、有効な土地利用等に関する意見も多く見られている。

図 3-7-5　キーワードで見た自由意見の分類

目　標	施　策	キーワード
人を大切に豊かな心を育むまちづくり	(1) 人権の尊重と同和対策の充実	人権　同和対策
		[redacted]
	(2) 男女共同参画の推進	男女共同参画
	(3) 地域コミュニティづくり	[redacted]
	(4) 生涯学習社会の創造	生涯学習
		[redacted]
		社会教育　公民館　図書館
	(5) 市民ボランティアの育成	[redacted]
健やかで安心して暮らせるまちづくり	(6) 健康づくりと保健予防	健康　保健
	(7) 社会福祉の充実	[redacted]
		高齢者福祉　介護保険
	(8) 子育て環境の整備	[redacted]
	(9) 社会保障の充実	労働　就労支援
		[redacted]
		生活保護
	(10) 安全なまちづくり	[redacted]
		消防　救急
		[redacted]
		防犯
	(11) 消費生活の安定	[redacted]
自然と環境を大切にするまちづくり	(12) 環境行政の総合的推進	地球環境　地域環境
	(13) 緑の保全と創造	[redacted]
	(14) 生活環境の向上	ごみ処理　リサイクル
		[redacted]
快適で魅力あるまちづくり	(15) 快適な生活空間づくり	生活空間　市街地
	(16) 交通体系の整備	[redacted]
		道路　歩道
		[redacted]
	(17) 上下水道の整備	上水道　下水道
	(18) 景観づくり	[redacted]
	(19) 情報通信基盤の整備	地域情報　個人情報保護
	(20) 観光基盤の整備	[redacted]
	(21) 産業の振興	商工業　農林業
文化の香り高いまちづくり	(22) 歴史と国立博物館を生かしたまちづくり	[redacted]
		文化財
	(23) 市民文化の創造	[redacted]
	(24) 国際化の推進	国際化
市民との協働のまちづくり	(25) 協働のまちづくりの推進	[redacted]
		広報　情報公開　意識調査
市民のための行政運営	(26) 行財政改革	[redacted]
	(27) 人材育成の推進	市役所職員について
	(28) 組織・機構の改革	[redacted]
	(29) 広域行政の推進	周辺自治体との関係
その他		[redacted]
		市議会　議員
		[redacted]
		市民のマナー
		[redacted]



（資料）使用した調査票

第五次太宰府市総合計画策定のための 市民意識調査

アンケートご協力のお願い

太宰府市では、平成２３年度から始まる第五次太宰府市総合計画に向けて、市民の皆様の生活の実態や問題意識を把握し、さらに市の取り組みについての考えをお聞きして、それを計画の策定に反映させていきたいと考えています。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に〇印で回答をご記入いただき、12月19日（金）までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの20歳以上の方2,000人を無作為に抽出し、お願いしています。
※この調査は西日本新聞社総合メディア本部に委託して実施しております。
※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。

平成２０年１１月

太宰府市長　井　上　保　廣

ご記入にあたって

① あて名のご本人がお答えください。
※ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
② お答えは、あてはまる回答の番号に〇印をつけてください。
③ たとえば、「〇は１つ」や「〇は３つ」と回答の数が指定されている質問がありますので、それぞれ指定の数を選んでください。
④ ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。
◎この調査に関してのお問い合わせは、次のところにお願いします。

太宰府市総務部経営企画課企画係
電話　９２１－２１２１　内線５４８

（まず、あなた自身についておたずねします）

問１．あなたの性別についてお選びください。

１．男
２．女

問２．あなたの年齢を次の中からお選びください。（平成２０年１０月末時点で）

１．20～24 歳
２．25～29 歳
３．30～34 歳
４．35～39 歳
５．40～44 歳
６．45～49 歳
７．50～54 歳
８．55～59 歳
９．60～64 歳
10．65～69 歳
11．70～74 歳
12．75～79 歳
13．80 歳以上

問３．あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

１．単身世帯
２．夫婦のみ
３．２世代世帯（親と子）
４．３世代世帯（親と子と孫）
５．４世代以上
６．兄弟姉妹のみ
７．その他（　　　　　　　　）

問４．あなたのご職業を次の中からお選びください。（２つ以上あるときは主なもの１つ）

１．会社員
２．農林水産業
３．自営業（農林水産業以外）
４．団体職員・公務員
５．家事専業
６．パート・アルバイトなど
７．学生
８．無職
９．その他（　　　　　　　　）

付問（問４で５・８・９と答えた方以外で）通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。

１．太宰府市
２．福岡市
３．筑紫野市
４．春日市
５．大野城市
６．那珂川町
７．１から６以外の福岡県内市町村
８．福岡県外

問５．あなたの住んでいる行政区を次の中からお選びください。

１．北谷	11．新町	21．緑台	31．桜町	41．吉松
2．内山	12．白川	22．梅ヶ丘	32．榎	42．青葉台
3．松川	13．五条	２３．高雄台	33．榎寺	43．つつじヶ丘
4．三条	14．秋山	24．水城	34．芝原	44．ひまわり台
5．三条台	15．五条西	25．水城台	35．通古賀	45．わからない
6．連歌屋	16．五条台	26．水城ヶ丘	36．都府楼	
7．馬場	17．東ヶ丘	27．国分	37．大佐野	
8．湯の谷	18．星ヶ丘	28．坂本	38．大佐野台	
9．湯の谷西	19．高雄	29．観世音寺	39．向佐野	
10．大町	20．梅香苑	30．東観世	40．長浦台	

問６．あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。

１．太宰府小学校区
2．太宰府東小学校区
3．太宰府南小学校区
4．水城小学校区
5．水城西小学校区
6．太宰府西小学校区
7．国分小学校区
8．わからない

問７．あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（平成２０年１０月末時点で）
次の中からお選びください。

１．３年未満
2．３年以上～５年未満
3．５年以上～10 年未満
4．10 年以上～15 年未満
5．15 年以上～20 年未満
6．20 年以上～25 年未満
7．25 年以上

問８．あなたのお住まいを次の中からお選びください。

１．持ち家･分譲マンション
2．賃貸住宅・アパート
3．社宅･寮
4．間借り・下宿
5．その他（　　　　　　　　）

（まちの住みやすさについておたずねします）

問９．太宰府市は住みやすいまちだと思いますか。（○は１つ）

１．住みやすい
２．どちらかといえば住みやすい
３．どちらともいえない
４．どちらかといえば住みにくい
５．住みにくい

問 10．あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。（○は１つ）

１．住み続けたい　２．住み続けたくない　３．わからない

付問１．問 10 で「１」と答えた方におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。（○は３つまで）

１．友人・知人が多い	10．生涯学習・スポーツの事業が盛ん
２．自宅周辺の環境がよい	11．高齢者や障害者福祉施策が充実している
３．サークル活動が盛ん	12．子育てしやすい制度や環境が整っている
４．まちづくりに参加しやすい	13．医療機関が充実している
５．史跡や文化財が身近にある	14．教育・文化施設の整備が進んでいる
６．まちの知名度が高い	15．健康づくりのための事業が充実している
７．大学・短大が多い	16．道路や上下水道の整備が進んでいる
８．通勤通学の交通の便がよい	17．公園や街路樹などの緑が多い
９．商店が多く買い物が便利	18．その他（　　　　　　　　　　）

付問２．問 10 で「２」と答えた方におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（○は３つまで）

１．近所づきあいが苦手	10．生涯学習・スポーツの事業が少ない
２．自宅周辺の環境が悪い	11．高齢者や障害者福祉施策が遅れている
３．サークル活動が少ない	12．子育て支援の制度や環境が不十分
４．まちづくりに参加しにくい	13．医療機関が充実していない
５．税金や公共料金が高い	14．教育・文化施設の整備が不十分
６．災害対策に不安がある	15．健診や健康づくり事業などが不十分
７．通勤通学の交通の便が悪い	16．道路や上下水道の整備が遅れている
８．商店・大型スーパーが少ない	17．公園や街路樹などの緑が少ない
９．就職先が少ない	18．その他（　　　　　　　　　　）

（あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします）

問 11. 住みよいまちにしていくために、第四次太宰府市総合計画後期基本計画に掲げた次の項目について、今後どの程度取り組むべきだと思いますか。（○はあてはまる番号をそれぞれ１つずつ）

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までどおりでよい	4. どちらかと言えば今までより力を掛けないで取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない	7. 関心がない
人権尊重と差別のないまちをつくるため、男女共同参画社会の実現や同和対策の推進を図る	1	2	3	4	5	6	7
市民ボランティアを育成し、地域コミュニティ（共同体）づくりに力を入れる	1	2	3	4	5	6	7
生涯にわたる学習の場やスポーツ環境を充実させる	1	2	3	4	5	6	7
市民の多様な生活様式に応じた健康づくり事業を展開する	1	2	3	4	5	6	7
育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境をつくる	1	2	3	4	5	6	7
高齢者・障害者の福祉施策やバリアフリー化などを充実させる	1	2	3	4	5	6	7
事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりを進める	1	2	3	4	5	6	7
ゴミ減量や資源リサイクルに取り組み、良好な環境を次世代に引き継ぐ	1	2	3	4	5	6	7
美しい自然や歴史景観を守り、公園や街路樹などの身近な緑を育てていく	1	2	3	4	5	6	7
道路交通施設の整備やコミュニティバス路線の充実を進める	1	2	3	4	5	6	7
高度情報基盤の整備を進め、行政や地域の情報などの積極的な公開を進める	1	2	3	4	5	6	7

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである	3. 今までどおりでよい	4. どちらかと言えば今までより力を掛けないで取り組むべきである	5. 今までより力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない	7. 関心がない
商工・農林業、観光などの振興を図り、活力のある地域をつくる	1	2	3	4	5	6	7
豊富な文化・歴史資源を生かした文化の香り高いまちづくりを進める	1	2	3	4	5	6	7
伝統文化の継承や市民の自主的文化活動、国際交流など様々な文化的活動を推進する	1	2	3	4	5	6	7
行財政改革や広域行政を推進する	1	2	3	4	5	6	7

[redacted]

問 12. あなたがお住まいの地区について、どのように感じておられますか。（○はあてはまる番号をそれぞれ１つずつ）

項　　目	よい	やや よい	普通	やや 悪い	悪い	わから ない
（１）日常の買い物の便利さは	1	2	3	4	5	6
（２）バス・電車などの利用しやすさは	1	2	3	4	5	6
（３）幼稚園・保育所への近さは	1	2	3	4	5	6
（４）小学校への近さは	1	2	3	4	5	6
（５）中学校への近さは	1	2	3	4	5	6
（６）市役所までの交通の便利さは	1	2	3	4	5	6
（７）文化施設の利用のしやすさは	1	2	3	4	5	6
（８）体育・スポーツ施設の利用のしやすさは	1	2	3	4	5	6
（９）福祉施設の利用のしやすさは	1	2	3	4	5	6
（10）医療施設への距離や数などは	1	2	3	4	5	6
（11）金融機関の便利さは	1	2	3	4	5	6
（12）ごみの収集回数や処理の状況は	1	2	3	4	5	6
（13）野犬対策や害虫駆除等の状況は	1	2	3	4	5	6
（14）子供の遊び場などの利用のしやすさは	1	2	3	4	5	6
（15）公園等の利用のしやすさは	1	2	3	4	5	6
（16）生活道路の安全性は	1	2	3	4	5	6
（17）街灯や夜道の安全性は	1	2	3	4	5	6
（18）道路の広さや舗装の状況は	1	2	3	4	5	6
（19）上水道の質や量は	1	2	3	4	5	6
（20）火災や延焼の危険からの安全性は	1	2	3	4	5	6
（21）危険施設からの安全性は	1	2	3	4	5	6
（22）自然災害からの安全性は	1	2	3	4	5	6
（23）犯罪や暴力からの安全性は	1	2	3	4	5	6
（24）空気のきれいさは	1	2	3	4	5	6
（25）河川・水路などのきれいさは	1	2	3	4	5	6
（26）家のまわりの静けさは	1	2	3	4	5	6
（27）日当たりや風通しの良さは	1	2	3	4	5	6
（28）周辺の緑・自然環境は	1	2	3	4	5	6
（29）すべてを統合した満足感は	1	2	3	4	5	6

[redacted]

問 13. 太宰府市のまちのイメージを一言でいうと何だと思いますか。（○は１つ）

１．門前町
２．学生のまち
３．住宅のまち
４．歴史のまち
５．文化のまち
６．自然のまち
７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 14. あなたは太宰府市が将来どんなまちになってほしいと思いますか。（○は２つ）

１．生活環境が整備された住宅を中心としたまち　（住宅都市）
２．工業誘致により工業を発展させるまち　（産業都市）
３．買い物など消費生活が便利な商業のまち　（商業都市）
４．歴史や伝統に育まれた教育と文化のまち　（文教都市）
５．自然や文化遺産・九州国立博物館を生かした観光施設の整ったまち　（観光都市）
６．農業や林業などの生産の場と調和した、自然に囲まれたまち　（田園都市）
７．他都市との情報が交流し、情報ネットワーク化されたまち　（情報都市）
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 15. あなたの地区は、現在どのような土地利用がなされていると思いますか。また、将来どのような土地利用が望ましいと思いますか。（○はあてはまる番号をそれぞれ１つずつ）

土地利用	現在	将来
都市居住型 （都市型の中高層住宅を中心とした居住地区）	1	1
低層居住型 （戸建て住宅を中心とした良好な居住環境のある地区）	2	2
商業居住共存型 （商業と居住がある程度調和した地区）	3	3
商業地区 （業務、商業、公共サービスを中心とした地区）	4	4
郊外農村地区 （田畑、戸建て住宅を中心とした地区）	5	5
レクリエーション・空間型 （自然休養や公園レクリエーション施設を中心とした地区）	6	6

問 16. あなたの住んでおられる地区の生活環境を改善し、さらに充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つ）

１．道路を広げる
２．防犯灯や街灯の数を増やす
３．道路と分離した歩道や自転車道をつくる
４．河川・水路を整備する
５．上水道を整備する
６．下水道を整備する
７．公衆便所や手洗い場、小広場を街角に整備する
８．公園設備や緑化を推進する
９．ごみの収集回数を増やす
10．消防体制を充実させる
11．救急・医療体制を充実させる
12．高齢者や障害者のための福祉施設を整備する
13．犬やネコなどペットの飼い方のマナーを徹底させる
14．一般路線バスの運行回数や路線を増やす
15．市コミュニティバス「まほろば号」のバス路線を整備・充実する
16．市内大学等の施設開放や公開講座を充実させる
17．駐車場や駐輪場、自転車置場を整備する
18．文化施設や資料館・博物館などの文化コミュニティ施設を整備する
19．総合体育館などのスポーツ施設を整備する
20．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

[redacted]

問 17. あなたが住んでおられる地区で、日常的に活動のある町内会や共同体などへの参加についてお聞きします。（○はあてはまる番号をそれぞれ１つずつ）

項　　目	よく参加する	ときどき参加する	今後参加したい	全く参加していない	参加意志はない
（1）町内会・自治会	1	2	3	4	5
（2）PTA、子供会、サークル活動	1	2	3	4	5
（3）ボランティア活動	1	2	3	4	5
（4）婦人会など	1	2	3	4	5
（5）老人クラブ	1	2	3	4	5
（6）市民祭り、イベント	1	2	3	4	5
（7）クリーン・デイ（清掃、環境活動）	1	2	3	4	5
（8）経済団体（商工会、JA など）	1	2	3	4	5
（9）生活を守る団体（公害防止団体）	1	2	3	4	5
（10）教養・学習サークル	1	2	3	4	5
（11）趣味のサークル	1	2	3	4	5
（12）地域おこし・まちづくり団体	1	2	3	4	5

問 18. あなたは、地区のまちづくりについて、市役所と話し合ったり、考えたりする機会があれば参加しますか。（○は１つ）

１．現在参加している
２．以前参加したことがあり、今後も参加したい
３．以前参加したことがあるが、今後は参加したくない
４．これまで参加したことはないが、参加したい
５．これまで参加したことはないが、参加するかもしれない
６．参加したくない

付問１．問 18 で「３」または「６」と答えた方におたずねします。その理由は何ですか。（○は２つ）

１．話し合いをするより投書など別の方法で市役所に意向を伝えたい
２．皆の前で意見を言うのが苦手である
３．市役所に意見を言うと、あとで何か不利益をこうむるかもしれないと思う
４．市役所に要望するより、まず市民自身でやるべきことの方が多い
５．市役所に要望しても、財政的に無理だと思う
６．市役所がそもそも我々の意見を聞いてくれるとは思えない
７．話し合いの時間は、仕事や家事の都合で参加できない時間ばかりである
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

[redacted]

問 19.　あなたは太宰府市の市政に関心をお持ちですか。（○は１つ）

１．非常に関心がある
２．少し関心がある
３．あまり関心がない
４．関心がない

問 20. 市役所が行っている仕事の内容について、主にどういう方法でお知りになりますか。（○は１つ）

１．太宰府市広報・ホームページで
２．新聞・テレビで
３．市議会議員を通じて
４．町内会・自治会を通じて
５．市職員から
６．近所の人から
７．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 21.　あなたが最も知りたい市役所の仕事内容や計画はどんなことですか。（○は３つ）

１．市議会の活動
２．市の予算の使い方
３．市が行っている仕事の内容やその進み具合い
４．市がこれから進めようとしている仕事やその計画
５．新しくできた制度やその利用手続きの紹介
６．市の施設やその利用の方法
７．市の行事や催し物のお知らせ
８．市の歴史や現在の話題
９．市のさまざまな統計や資料
10．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 22.　あなたは、今の市政には市民の意見が反映されていると思いますか。（○は１つ）

１．よく反映されている
２．ある程度反映されている
３．あまり反映されていない
４．全く反映されていない
５．わからない

（最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください）

≪自由意見欄≫

貴重なご意見をありがとうございました。
今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、
12月19日（金）までに投函してください。

第五次太宰府市総合計画策定のための市民意識調査
報　告　書

発行年月日　　平成 21 年３月
編集・発行　　太宰府市　総務部　経営企画課

〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目１番１号
TEL　092-921-2121
FAX　092-921-1601

編 集 協 力　　㈱西日本新聞社　総合メディア本部